



## 操作・設定ガイド

# TRIFORA

## フルHDネットワーク PTZ カメラ

操作・設定ガイドは、以下の説明をします。

- Web ブラウザーを使ったネットワークカメラの設定とライブ映像の確認を行える Web ビューアー機能
- 付属 CD 内の IP 設定ツール
- 付属 CD 内の SD カードパスワード解除ツール

カメラの設置のしかたについては、各取扱説明書をご覧ください。

### ● 本書で説明の対象となる機器

N-C5500、N-C5500A、N-C5700、N-C5700A

このたびは、TOA フル HD ネットワーク PTZ カメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、必ずこの操作・設定ガイドをお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

はじめに .....	5
個人情報について .....	5
ネットワーク使用時のセキュリティ対策について .....	5
設定の流れ .....	6
<b>第1章 映像を見るには</b>	
ライブ映像を見るための準備 .....	1-2
使用する前に .....	1-2
IP アドレスを割り当てる .....	1-2
Web ビューアーを表示する .....	1-4
操作のしかた .....	1-8
Web ビューアーで映像を見る .....	1-8
複数のカメラの映像を見る .....	1-13
SD カードに録画する .....	1-16
録画映像を再生・ダウンロードする .....	1-17
<b>第2章 設定のしかた</b>	
設定画面の名称について .....	2-2
設定項目一覧 .....	2-3
基本 .....	2-7
システム .....	2-7
日 時 .....	2-9
ユーザー .....	2-11
アクセス制限 .....	2-13
ストリーム .....	2-15
映像・音声 .....	2-17
圧縮方式 .....	2-17
プライバシーマスク .....	2-24
画面内文字表示 .....	2-26
音 声 .....	2-30
画質調整 .....	2-32
画質・露光 .....	2-32
PTZ .....	2-38
基本 .....	2-38
プリセット .....	2-40
オートパン .....	2-42

ツアー .....	2-44
セクター .....	2-45
SD カード .....	2-48
SD カード録画について .....	2-48
録 画 .....	2-50
メンテナンス .....	2-55
イベント .....	2-56
接点入力 .....	2-56
モーションディテクト .....	2-58
いたずら検知 .....	2-61
タイマー .....	2-62
イベント連動動作 .....	2-64
接点出力 .....	2-64
FTP .....	2-67
メール .....	2-72
HTTP .....	2-77
SNMP .....	2-80
画面内文字表示 .....	2-84
PTZ 連動 .....	2-86
Web ビューアー .....	2-88
基本 .....	2-88
多画面表示 .....	2-89
アドバンス .....	2-90
RTMP .....	2-90
HTTPS .....	2-91
ONVIF .....	2-97
クラウドサービス .....	2-98

## 第3章 メンテナンスのしかた

メンテナンス .....	3-2
ロ グ .....	3-2
ファームウェア .....	3-10
設 定 .....	3-15
動作状況 .....	3-19
ネットワーク .....	3-21
設定値一覧 .....	3-23

## 第4章 ツールの使いかた

IP 設定ツール .....	4-2
使用する前に .....	4-2

名称とはたらき .....	4-2
設定ファイルをアップロードする .....	4-6
設定ファイルをダウンロードする .....	4-7
ファームウェアをアップデートする .....	4-8
<b>SD カードパスワード解除ツール .....</b>	<b>4-9</b>
使用する前に .....	4-9
SD カードパスワード解除ツールを起動する .....	4-10
SD カードのパスワードを解除する .....	4-11
SD カードのパスワードを削除する .....	4-13
<b>第5章 その他</b>	
Web ビューアーの起動時間短縮について .....	5-2
TRIFORA VIEW の設定について .....	5-3
TRIFORA VIEW をアンインストールする .....	5-4
自己署名証明書を PC にインストールする .....	5-5
アクティベーションファイルを入手する .....	5-11
工場出荷時設定に戻す .....	5-11
故障かな？と思ったら（設定編） .....	5-12

# はじめに

操作・設定ガイドは、以下の説明をします。

- Web ブラウザーを使ったネットワークカメラの設定方法
- ライブ映像、録画映像の確認を行う Web ビューアー機能
- IP 設定ツールの機能
- SD カードパスワード解除ツールの機能

映像ネットワークシステムを組むときは、以下を参照してください。

接続のしかた : 各カメラの取扱説明書  
IP 設定ツールの使い方 : 本書  
初期設定、ライブ映像、および録画映像の確認をする : 本書

※ 本書は、Internet Explorer 11 の画面を使用して説明しています。  
ご使用のブラウザによっては表示が異なる場合があります。

## ■ 個人情報について

本機または本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。\*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

\* 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

## ■ ネットワーク使用時のセキュリティ対策について

- お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。  
不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害・損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本機への不正アクセスを防ぐために、機器の ID、およびパスワードは、初期設定から変更して運用してください。  
設定方法等、詳細については本書を参照してください。
- パスワードの管理には十分ご注意ください。

## ■ 設定の流れ

カメラの映像を見る手順は以下のとおりです。



# 第1章

---

映像を見るには

# ライブ映像を見るための準備

## ■ 使用する前に

付属 CD を PC (パーソナルコンピュータ) に挿入し、「IPSettingTool.exe (IP 設定ツール)」をデスクトップなどに保存してください。

## ■ IP アドレスを割り当てる

1 PC に保存した「IPSettingTool.exe」をダブルクリックする。

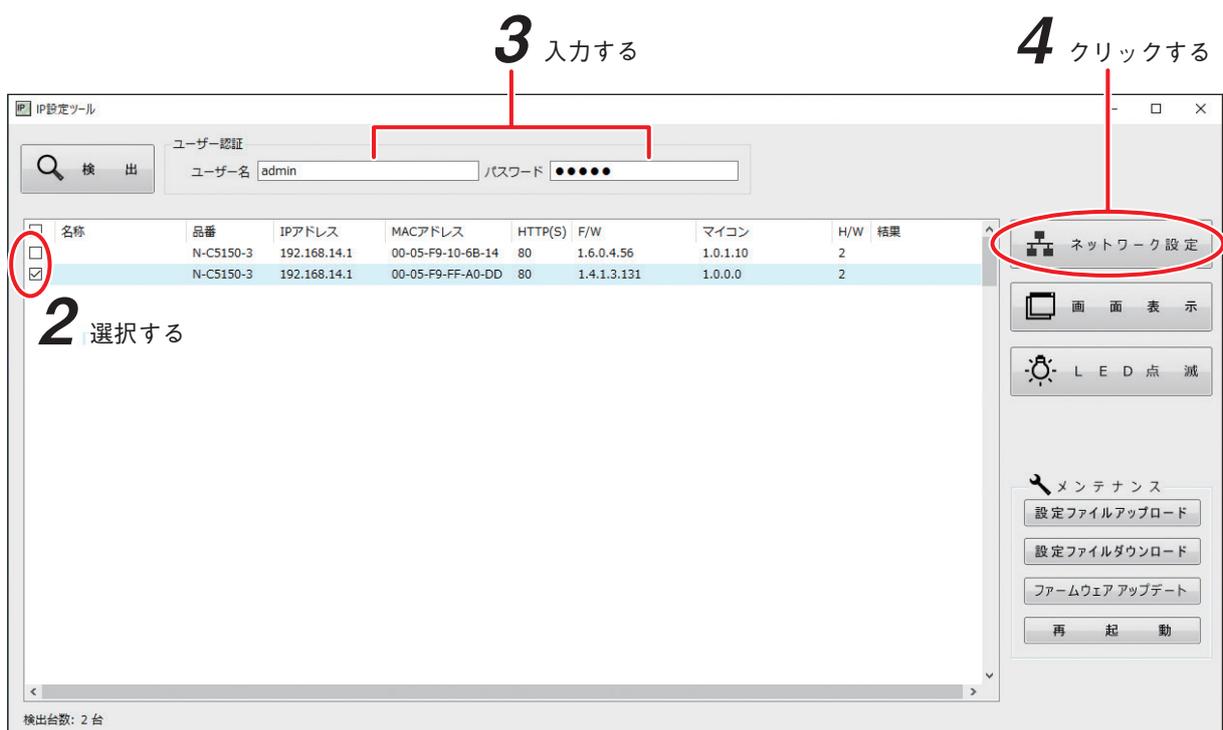


以下のメイン画面が表示されます。

工場出荷時の IP アドレスは「192.168.14.1」に設定されています。

### メモ

- 「検出」ボタンは、再度検出するときにクリックしてください。
- ファイアウォールによって検出できないときがあります。PC のファイアウォールを無効にしてから、「検出」ボタンをクリックしてください。
- IP 設定ツールは、ルーター等を経由したカメラを検出・設定できません。また、IP 設定ツール使用時は、ファイアウォール (ソフト含む) を導入している場合、UDP のすべてのポートに対してアクセスを許可してください。
- PC にネットワークアダプターが複数ある場合、IP 設定ツール起動時にネットワークアダプターの選択ダイアログが表示されます。使用するネットワークアダプターを選択してください。



## 2 IPアドレスを変更したいカメラのチェックボックスを選択する。

メモ

IPアドレスは、複数のカメラを選択し、順番でIPアドレスを割り当てることもできます。

## 3 操作を行うカメラのユーザー名とパスワードを入力する。

メモ

IP設定ツールを起動したときは、カメラの工場出荷時のユーザー名とパスワードが入力されています。

ユーザー名：admin

パスワード：guest

## 4 「ネットワーク設定」ボタンをクリックする。

## 5 [IP] タブで、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどを入力し、「設定」ボタンをクリックする。

入力した項目が更新されます。

ネットワーク設定

個別設定  
一括設定

IP 外部サーバー

IP

名称

IPアドレス取得方法  手動  自動(DHCP)

IPアドレス 192.168.14.1

サブネットマスク 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ 0.0.0.0

HTTP(S)ポート 80

IPアドレスの照合を確認する

設定

## 6 [外部サーバー] タブで、DNSサーバー、NTPサーバーなどを入力し、「設定」ボタンをクリックする。

自動で調時させるときは、NTPサーバーを設定してください。

ネットワーク設定

個別設定  
一括設定

IP 外部サーバー

DNSサーバー

アドレス取得方法  手動  自動(DHCP)

プライマリ-DNSサーバー . . .

セカンダリ-DNSサーバー . . .

NTPサーバー

調時機能  オフ  オン

アドレス取得方法  手動  自動(DHCP)

プライマリ-NTPサーバー

セカンダリ-NTPサーバー

設定

メモ

- IP設定ツールの詳細は、第4章 P.4-2 [IP設定ツール] を参照してください。
- 検出した画面でチェックボックスが表示されていないカメラは、本手順でネットワーク設定はできません。
- 外部サーバーの設定は、PCとカメラのネットワークアドレスが一致した環境で行ってください。

## ■ Web ビューアーを表示する

**1** PC の Web ブラウザーを起動する。

**2** Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して Enter キーを押す。

HTTP でアクセスする場合 : http://IP アドレス

HTTPS でアクセスする場合 : https://IP アドレス

メモ

- 工場出荷時の IP アドレスは「192.168.14.1」に設定されています。
- Web サーバー動作モード (P. 2-91) の設定によりアクセスする URL が変わります。

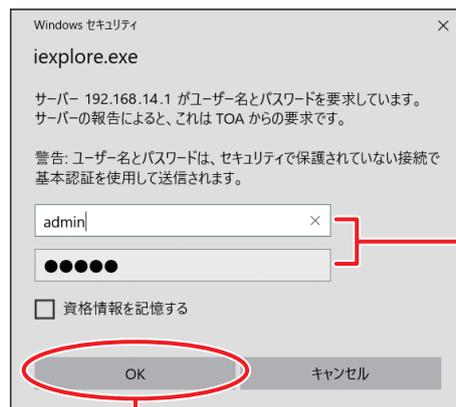
**3** ユーザー名とパスワードを入力する。

メモ

工場出荷時は以下のユーザー名とパスワードが設定されています。

ユーザー名 : admin

パスワード : guest



**3** 入力する

**4** クリックする

**4** 「OK」をクリックする。

カメラにログインして Web ビューアー (P. 1-8 「Web ビューアーで映像を見る」) が表示されます。

Internet Explorer を使用して Web ビューアーを開いた初回時は、映像を表示するための「TRIFORA VIEW」のインストールが要求されます。(P. 1-5)

### ご注意

- 認証に失敗すると、再びパスワード入力画面が表示されます。「×」を押すと終了します。
- 初めて Web ビューアーにログインしたときは、設定画面の [基本 (メニュー) → ユーザー (タブ)] (P. 2-11) でパスワードを変更してください。  
また、パスワードは他人に推測されにくいものを設定してください。

## ● TRIFORA VIEW をインストールする

Internet Explorer を使用する場合のみ「TRIFORA VIEW」のインストールが必要です。TOP 画面を開いた初回時にインストールが要求されます。次回からは、インストール作業は要求されません。

### ご注意

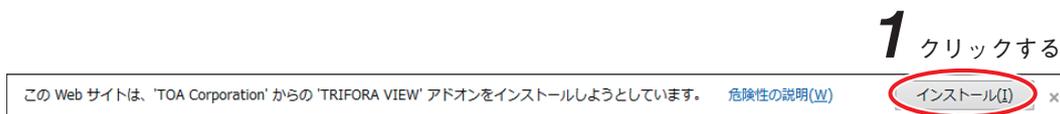
- インストールには PC の管理者権限が必要です。
- PC の設定によっては、インストールの開始までに数十秒かかる場合がありますが、インストールは正常に行うことができます。事前に PC の設定を変更しておくこと、インストールにかかる時間を短縮できます。詳しくは、[P. 5-2 「Web ビューアーの起動時間短縮について」](#)を参照してください。

### メモ

アンインストールについては、[P. 5-4 「TRIFORA VIEW をアンインストールする」](#)を参照してください。

以下の手順は Windows 10 で説明します。

## 1 Internet Explorer に以下のメッセージが表示されるので「インストール」をクリックする。



## 2 PC 内のセキュリティソフトが起動し、以下のポップアップで「はい」をクリックする。

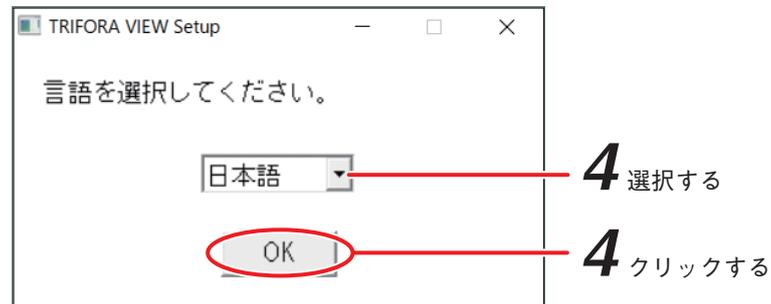


### ご注意

Internet Explorer を閉じるように促されることがあります。表示に従い、Internet Explorer を閉じてください。ただし、繰り返して表示されるときは、PC を再起動させてください。

## 3 タスクバーにインストーラーのアイコンが表示されるので、アイコンをクリックする。

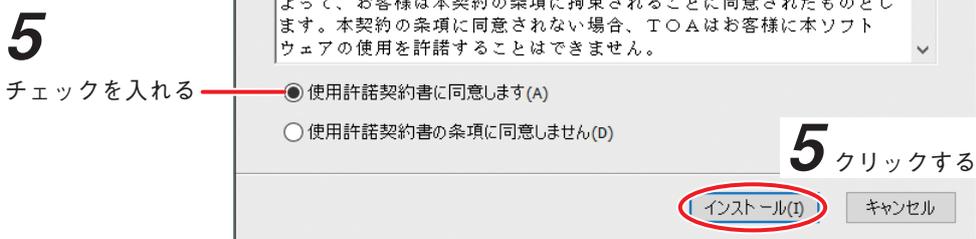
- 4** インストールに使用する言語を「日本語」または「English」から選択し、「OK」をクリックする。



- 5** 使用許諾契約の条項を読み、「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れて「インストール」をクリックする。

メモ

以下の画面が最前面に表示されないことがあります。



- 6** 「閉じる」をクリックする。  
映像が表示されます。



- 6** クリックする

# 操作のしかた

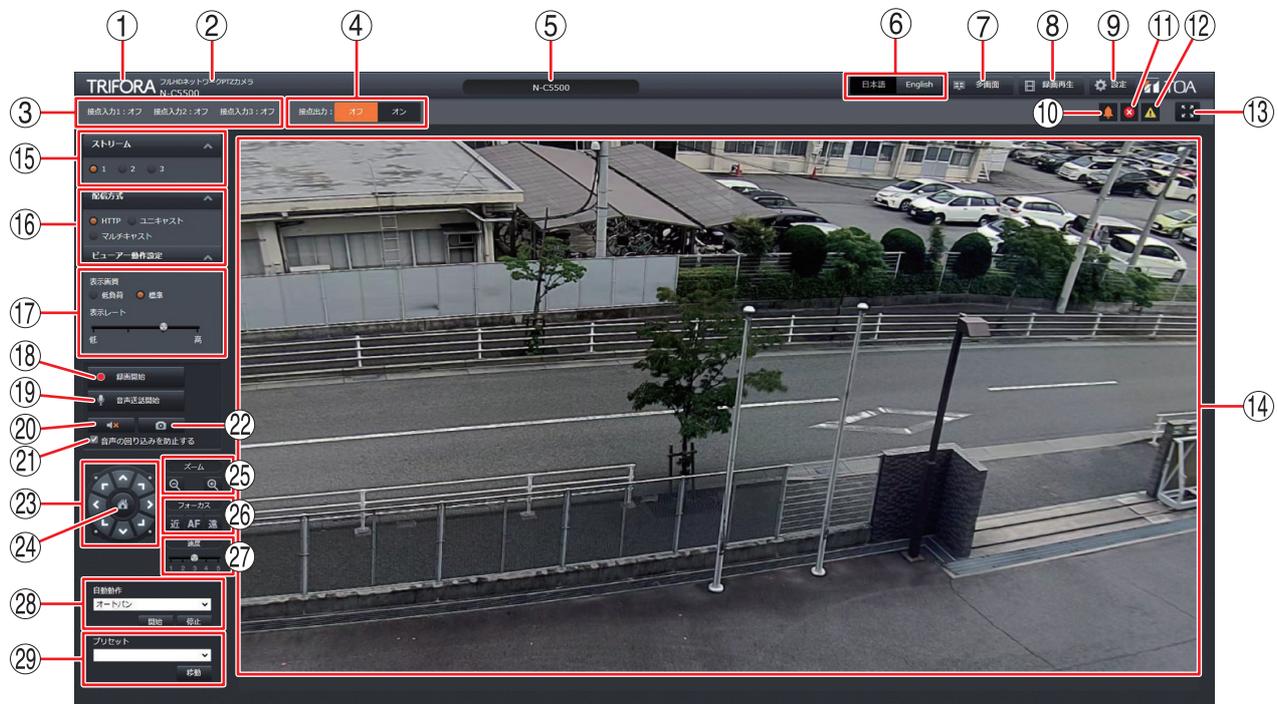
## Web ビューアーで映像を見る

### ご注意

- 1台の PC で、複数の Web ビューアーを同時に起動して映像を表示しようとしたとき、PC の性能により映像が表示されないことがあります。
- PC のスリープモード、休止モードには対応していません。スリープモードや休止モードに入らないように PC を設定するまたはスリープモード、休止モードに入る前に Web ビューアーを終了してください。
- 映像を長時間表示し続けると、ブラウザの動作が遅くなったり、映像が表示されなくなったりすることがあります。その場合はブラウザを終了し、再度起動してください。

### メモ

- 「カメラ操作者」、「モニタリングユーザー」のアカウントでログインしたとき、⑨  (設定ボタン) は表示されません。
- 「モニタリングユーザー」のアカウントでログインしたとき、④ 接点出力ボタンの操作はできません。



- ① **TRIFORA ボタン**  
TOP 画面を表示します。
- ② **品名、品番表示**  
品名と品番を表示します。
- ③ **接点入力**  
カメラの接点入力の状態を表示します。設定画面 [イベント (メニュー) → 接点入力 (タブ)] (P. 2-56) の接点入力で、任意の端子名と状態名に表示を変更することができます。
- ④ **接点出力ボタン**  
カメラの接点出力の状態を表示します。クリックすると接点出力の状態を切り換えることができます。設定画面 [イベント連動動作 (メニュー) → 接点出力 (タブ)] (P. 2-64) の接点出力で、任意の端子名と状態名に表示を変更することができます。
- ⑤ **名称**  
カメラの名称を表示します。  
名称の変更は、設定画面 [基本 (メニュー) → システム (タブ)] (P. 2-7) の基本で行います。

## ⑥ 言語

表示言語の設定をします。

Webビューアーを閉じて、再度Webビューアーを起動すると「日本語」に戻ります。

常に「English」で使用する際の言語設定は、設定画面 [基本 (メニュー) → システム (タブ)] (P. 2-7) の基本で行います。

[選択] 日本語 / English

⑦ 多画面ボタン  多画面

多画面表示します。

複数のカメラの映像を分割 (4 分割、16 分割) して表示することができます。

**ご注意**

本画面に HTTPS でアクセスしているときは、多画面ボタンは表示されません。多画面表示を使用する場合は、HTTP でアクセスしてください。(P. 1-4)

⑧ 録画再生ボタン  録画再生

録画再生画面を表示します。

SD カードに保存されている録画データの再生とダウンロードを行います。

⑨ 設定ボタン  設定

設定画面を表示します。

メ モ

「カメラ操作者」と「モニタリングユーザー」のアカウントでログインしたとき、設定ボタンは表示されません。ユーザー権限レベルについては、設定画面 [基本 (メニュー) → ユーザー (タブ)] (P. 2-11) を参照してください。

⑩ イベント発生通知アイコン 

カメラが「接点入力」、「リモート接点入力」、「モーションディテクト」、「いたづら検知」を検知したときにイベント発生通知アイコンが表示されます。イベントの内容を確認後、クリックして非表示にしてください。検知したイベントの詳細を調べるときは、設定画面 [メンテナンス (メニュー) → ログ (タブ)] (P. 3-2) で確認してください。

⑪ エラー発生通知アイコン 

システム内のエラーが発生したときに、エラー発生通知アイコンが表示され、数秒間点滅したあとで点灯します。

アイコンにカーソルを合わせると、エラーの種類によって、以下のメッセージが表示されます。

「グラフィックデバイスの能力不足のため、動作を停止しました。」

「ビデオメモリーの容量不足のため、動作を停止しました。」

「メモリーの容量不足のため、動作を停止しました。」

「イベントストリームの接続に失敗しました。」

「音声送話を開始できません。ほかのユーザーが音声送話中です。」

「音声送話を開始できません。」

クリックするとエラー発生通知アイコンは消えます。

このアイコンが表示されたときは、PC の仕様と設定画面 [メンテナンス (メニュー) → 動作状況 (タブ)] (P. 3-19) を確認してください。

メ モ

エラーの発生は、ログに残りません。

⑫ デフォルトパスワード警告アイコン 

工場出荷時のユーザー名とパスワードのまま使用しているときに、デフォルトパスワード警告アイコンが表示されます。

クリックするとユーザー名、パスワードを設定する画面に移動します。

**ご注意**

本機への不正アクセスを防ぐために、工場出荷時設定から変更して運用してください。

⑬ 全画面表示ボタン 

全画面表示します。

元の大きさに戻るときは、画面上でダブルクリックしてください。

メモ

全画面表示のまま、PC のユーザーを切り換えるとレイアウトが崩れることがあります。このようなときには、一度ダブルクリックして元の大きさに戻してから、再度、「全画面表示」ボタンをクリックしてください。

## ⑭ ライブ映像

ライブ映像を表示します。

ポイントビュー：ライブ映像上をマウスで左クリックすると、クリックした位置が中心になるようにカメラが旋回します。

ズームビュー：ライブ映像上をマウスでドラッグした領域にズームインします。

ホイールズーム：ライブ映像上でマウスホイールを上スクロールするとズームインし、下スクロールするとズームアウトします。

## ⑮ ストリーム

表示する映像のストリームを選択します。

各ストリームの設定（画像サイズ、画質、フレームレートなど）は、設定画面 [映像・音声（メニュー）→圧縮方式（タブ）]（P. 2-17）で行います。

[選択] ストリーム 1 / ストリーム 2 / ストリーム 3 / ストリーム 4

メモ

SD カード録画の設定が「オン」のとき、ストリーム 4 の映像は表示できません。

## ⑯ 配信方式

通常、変更する必要はありません。

また、HTTPS でアクセスした場合は本項目は表示されません。自動的に HTTPS 方式で配信されます。マルチキャストの設定は、設定画面 [基本（メニュー）→ストリーム（タブ）]（P. 2-15）で行います。

[選択] HTTP / ユニキャスト / マルチキャスト

メモ

本項目は Internet Explorer を使用する場合のみ表示されます。

## ⑰ ビューアー動作設定

ビューアーの動作について設定します。

メモ

- 本項目は Edge を使用し、⑮ストリームで選択したストリームの圧縮方式が H.265 の場合のみ表示されます。
- 本設定は使用している PC の動作にのみ適用されます。本設定を変更しても、録画機器で録画している映像に影響はありません。

## 表示画質

Web ビューアーで映像を表示するときの画質を選択します。

使用している PC の性能または状態によって、映像をリアルタイムに表示できない場合などに「低負荷」を選択すると改善することがあります。

[選択] 低負荷 / 標準

**ご注意**

「低負荷」を選択した場合、被写体によっては映像にジャギー（斜め線のギザギザ）が目立つ場合があります。

## 表示レート

Web ビューアーで映像を表示するときのフレームレートを選択します。

使用している PC の性能または状態によって、映像をリアルタイムに表示できない場合などに低く設定することで、フレームを間引いて表示できます。

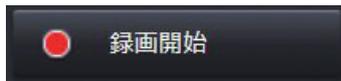
メモ

⑮ストリームで選択したストリームのフレームレートが 5 fps 以上の場合のみ表示されます。

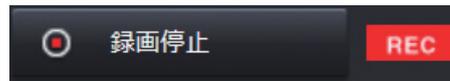
## ⑱ 録画開始／録画停止ボタン

SD カード録画の開始、停止を行います。

[録画をしていないとき]



[録画をしているとき]



メモ

設定画面 [SD カード(メニュー) → 録画(タブ)] (P. 2-50)の基本のSD カード録画を「オン」に設定すると表示されます。

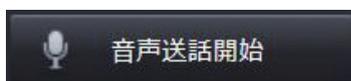
**ご注意**

このボタンで録画を停止したとき、[SD カード(メニュー) → 録画(タブ)] のスケジュールの設定によっては、自動で録画が再開されます。完全に録画を停止させたいときは、カメラのSD カード録画停止スイッチまたは [SD カード(メニュー) → メンテナンス(タブ)] (P. 2-55)のメンテナンスの録画停止の「実行」ボタンで録画を停止させてください。

## ⑲ 音声送話開始／停止ボタン

音声送話の開始、停止を行います。

[音声送話をしていないとき]



[音声送話をしているとき]



メモ

- 設定画面 [映像・音声 (メニュー) → 音声 (タブ)] (P. 2-30) の音声の機能を「送話 (PC → カメラ) のみ」または「双方向」に設定すると表示されます。
- 本項目は Internet Explorer を使用する場合のみ表示されます。

## ⑳ スピーカーボタン

受話音声のミュートと再生を切り換えます。

[ミュート中]



[再生中]



メモ

- 設定画面 [映像・音声 (メニュー) → 音声 (タブ)] (P. 2-30) の音声の機能を「受話 (カメラ → PC) のみ」または「双方向」に設定すると表示されます。
- Edge を使用すると、以下の場合は本項目が表示されません。
  - ・音声受話 (P. 2-30) の圧縮方式が「G.711  $\mu$ -law」に設定されている場合
  - ・⑮ のストリームでストリーム 3 を選択している場合

**ご注意**

映像表示と音声再生は同期されません。長時間連続して使用すると映像と音声のずれが大きくなる場合があります。その場合はブラウザを終了し、再度起動してください。

## ㉑ 音声の回り込みを防止する

チェックを入れて有効にすると、音声送話時に受信音声をミュートします。

音声送受信時に、マイク、スピーカーの位置を修正しても音声の回り込みが気になる場合に使用します。

メモ

- 設定画面 [映像・音声 (メニュー) → 音声 (タブ)] (P. 2-30) の音声の機能を「双方向」に設定すると表示されます。
- 本項目は Internet Explorer を使用する場合のみ表示されます。

## ②② スナップショットボタン

ライブ映像を静止画として切り出します。  
スナップショットボタンをクリックすると別ウインドウが開きます。  
保存する場合は、「保存」ボタンをクリックしてください。  
印刷するときは、「印刷」ボタンをクリックしてプリンターを選択してください。

**ご注意**

お使いのPCによっては、スナップショットを保存できない場合があります。そのときは、Internet Explorerの保護モードを無効にすると保存できることがあります。(☞ P. 1-22 [Internet Explorerの保護モードを無効にする])



## ②③ パン・チルトボタン

カメラの水平方向、垂直方向の向きを操作します。移動させたい方向のボタンをクリックします。

## ②④ ホームボタン

クリックすると、ホーム動作を開始します。  
ホーム動作は、[PTZ (メニュー) → 基本 (タブ)] で設定します。

## ②⑤ ズームボタン

「+」ボタンでズームイン、「-」ボタンでズームアウトします。

## ②⑥ フォーカスボタン

フォーカス（焦点）を調整します。  
「近」ボタンはフォーカスを近くに合わせます。「遠」ボタンはフォーカスを遠くに合わせます。  
「AF」ボタンは、フォーカスを自動で合わせます。

## ②⑦ 速度

パン・チルト・ズーム・フォーカスの動作速度を選択します。  
5は最も速く、1は最も遅く動作します。

メモ

ズーム・フォーカスについては、4と5は同じ速度で動作します。

## ②⑧ 自動動作

自動動作の種類を選択して「開始」ボタンをクリックすると自動動作を開始し、「停止」ボタンをクリックすると終了します。  
自動動作はオートパンとツアー（4種類）から選択します。

## ②⑨ プリセット移動

あらかじめ登録したポジション（プリセット）にカメラを移動させるときに使用します。  
移動したいプリセットを選択して「移動」ボタンをクリックすると、登録したプリセットの位置に移動します。

## ■ 複数のカメラの映像を見る

Webビューアーで複数のカメラの映像を見ることができます。  
カメラは最大16台登録でき、4分割画面を4種類、16分割画面を1種類表示できます。

### ご注意

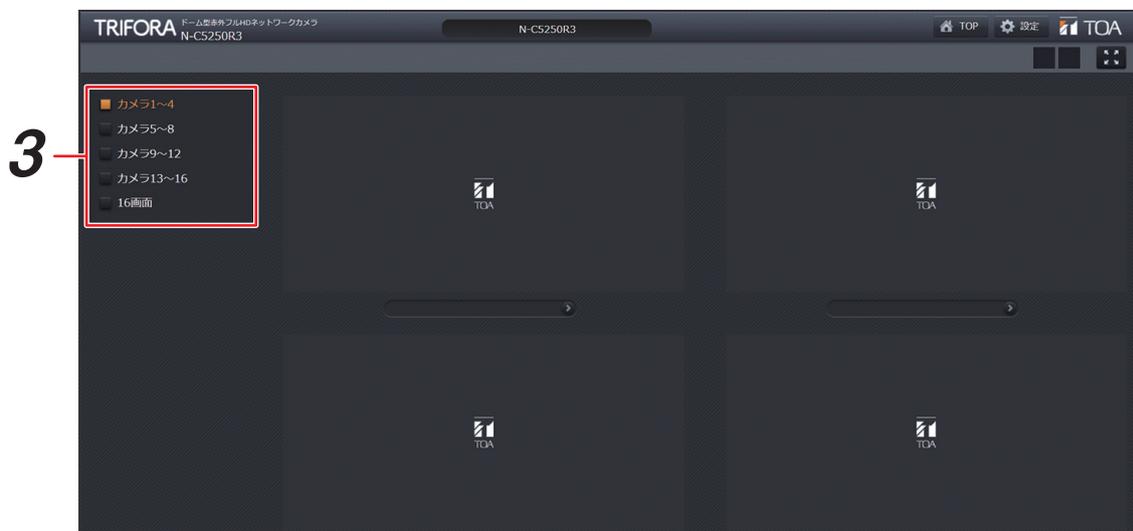
- 音声の送受話はできません。
- パン、チルト、ズーム操作はできません。
- SDカードに録画された映像の分割再生はできません。
- Webサーバー動作モード（P. 2-91）を「HTTPS」に設定しているカメラの映像を見ることはできません。

### 1 表示したいカメラを登録する。

[Webビューアー（メニュー）→多画面表示（タブ）]（P. 2-89）で設定します。

### 2 TOP画面から多画面ボタンをクリックする。

4分割画面（カメラ1～4）が表示されます。

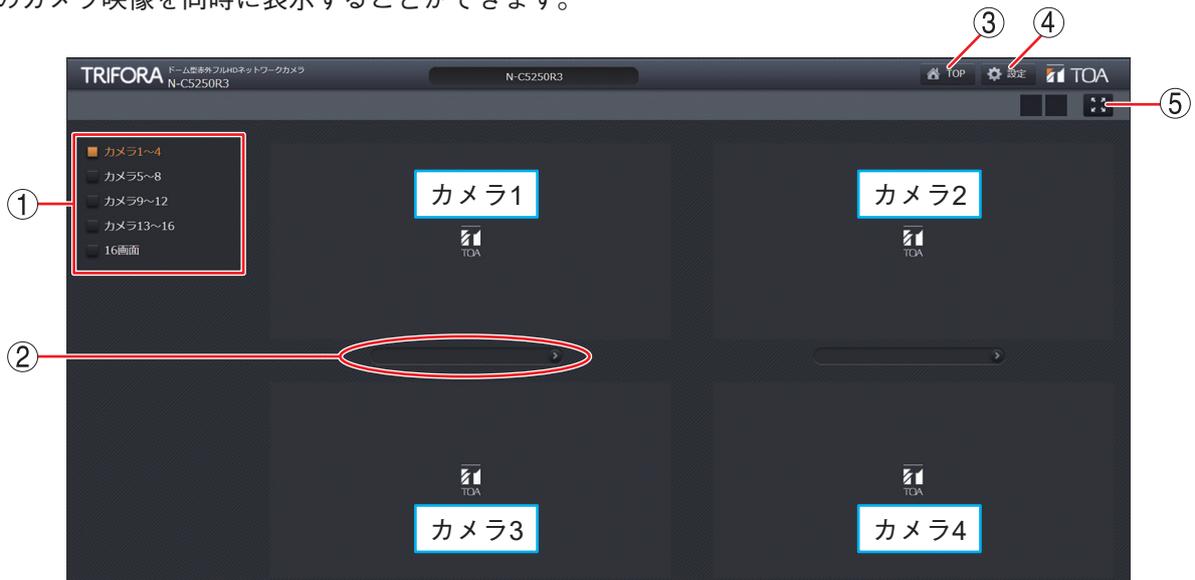


### 3 表示したい画面を選択する。

画面が切り換わります。

## ● 4 分割画面表示

4 台のカメラ映像を同時に表示することができます。



### ① 画面選択

表示したい画面を選択して表示を切り換えることができます。

### ② カメラ名

クリックしたカメラの Web ビューアーの TOP 画面が表示されます。

メ モ

Edge を使用する場合、TRIFORA (N-C5) シリーズのカメラのみカメラ名を表示できます。

TRIFORA (N-C3) シリーズのカメラは、IP アドレスが表示されます。

### ③ TOP ボタン

本機の TOP 画面が表示されます。

### ④ 設定ボタン

本機の設定画面が表示されます。

### ⑤ 全画面表示ボタン

全画面表示します。全画面表示は、ダブルクリックで解除することができます。

4 分割画面で表示される画像サイズ、フレームレートは使用する Web ブラウザーによって異なります。

[Internet Explorer を使用する場合]

		TRIFORA (N-C5) シリーズ			TRIFORA (N-C3) シリーズ			Netcansee シリーズ		
		圧縮方式	画像サイズ	フレームレート	圧縮方式	画像サイズ	フレームレート	圧縮方式	画像サイズ	フレームレート
配信方式	ユニキャスト	ストリーム 2 の設定による			H.264	H.264 (2) の設定による		非対応		
	マルチキャスト									
	HTTP							JPEG	VGA	1 fps

[Edge を使用する場合]

		TRIFORA (N-C5) シリーズ			TRIFORA (N-C3) シリーズ			Netcansee シリーズ		
		圧縮方式	画像サイズ	フレームレート	圧縮方式	画像サイズ	フレームレート	圧縮方式	画像サイズ	フレームレート
配信方式 (HTTP) *		ストリーム 2 の設定による			JPEG	JPEG の設定による	1 fps	非対応		

\* [Web ビューアー (メニュー) → 多画面表示 (タブ)] (P. 2-89) の配信方式 (4 分割画面) の設定にかかわらず HTTP で表示します。

### ご注意

Netcansee シリーズのカメラは Internet Explorer を使用した場合のみ表示できます。

メ モ

ファームウェアのバージョンによっては、TRIFORA (N-C5) シリーズでも JPEG で表示される場合があります。その場合は、最新のファームウェアに更新するとストリーム 2 の設定で表示できるようになります。

## ● 16 分割画面表示

16 台のカメラ映像を同時に表示することができます。



### ① カメラ名

クリックしたカメラの Web ビューアーの TOP 画面が表示されます。

メモ

Edge を使用する場合、TRIFORA (N-C5) シリーズのカメラのみカメラ名を表示できます。TRIFORA (N-C3) シリーズのカメラは、IP アドレスが表示されます。

### ② TOP ボタン

本機の TOP 画面が表示されます。

### ③ 多画面ボタン

4 分割画面 (カメラ 1 ~ 4) が表示されます。

### ④ 設定ボタン

本機の設定画面が表示されます。

### ⑤ 全画面表示ボタン

全画面表示します。全画面表示は、ダブルクリックで解除することができます。

16 分割画面ではカメラの圧縮方式、画像サイズ、フレームレートは以下の設定で表示されます。

TRIFORA (N-C5) シリーズ			TRIFORA (N-C3) シリーズ			Netcansee シリーズ		
圧縮方式	画像サイズ	フレームレート	圧縮方式	画像サイズ	フレームレート	圧縮方式	画像サイズ	フレームレート
JPEG	ストリーム 3 の設定による	1 fps	JPEG	JPEG の設定による	1 fps	JPEG	QVGA	1 fps

### ご注意

Netcansee シリーズのカメラは Internet Explorer を使用した場合のみ表示できます。

## ■ SD カードに録画する

### 1 機器に SD カードを挿入する。

メモ

SD カードスロットの位置は品番により異なります。  
詳しくは各品番の取扱説明書の「SD カードを挿入し、SD カード録画をする」をご覧ください。

### 2 SD カードをフォーマットする。

[SD カード (メニュー) → メンテナンス (タブ)] のメンテナンスのフォーマットの「実行」ボタンをクリックし、SD カードをフォーマットしてください。



### 3 圧縮方式の設定をする。

[映像・音声 (メニュー) → 圧縮方式 (タブ)] のストリーム 4 の圧縮方式を「H.264/AVC」、フレームレートを「15 fps」以下にし、「設定」ボタンをクリックしてください。

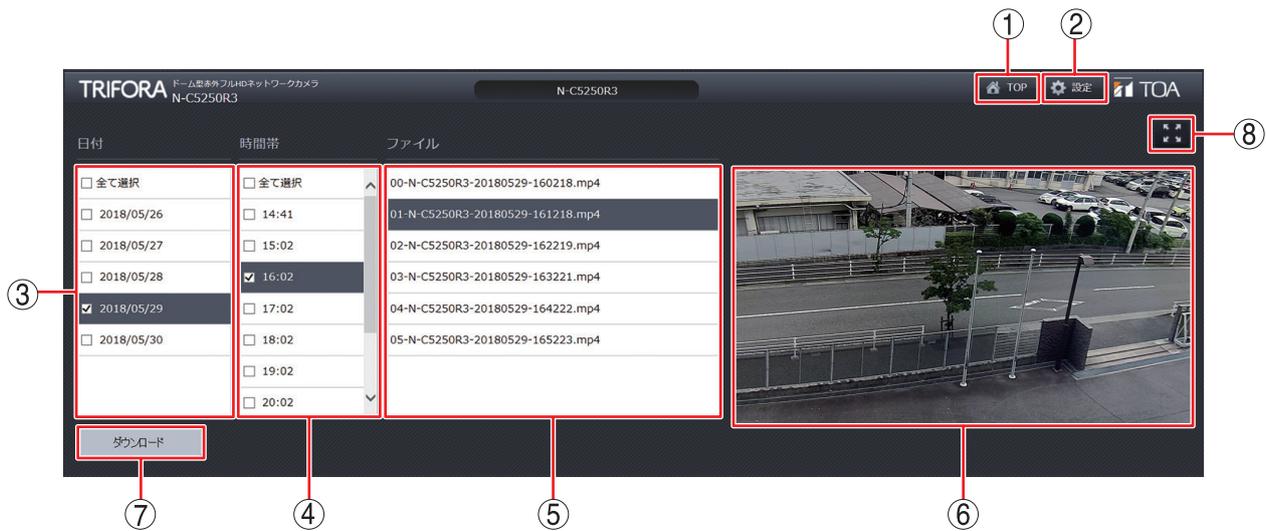


### 4 録画の設定をする。

[SD カード (メニュー) → 録画 (タブ)] の基本の SD カード録画で「オン」を選択し、「設定」ボタンをクリックしてください。



## ■ 録画映像を再生・ダウンロードする



### ① TOP ボタン

TOP 画面に移動します。

### ② 設定ボタン

設定画面に移動します。

メ モ

「カメラ操作者」のアカウントでログインした場合、設定ボタンは表示されません。ユーザー権限レベルについては、設定画面 [基本 (メニュー) → ユーザー (タブ)] (P. 2-11) を参照してください。

### ③ 日付

SD カードに録画されている録画データの撮影された日付を一覧表示します。

### ④ 時間帯

③ 日付で選択された日付のうち、録画データの存在する時間帯を一覧表示します。

### ⑤ 録画ファイルの選択

③ 日付、④ 時間帯で選択された日付、時間帯に該当する録画データを一覧表示します。

### ⑥ 録画映像

指定された時間帯の録画映像を表示します。

### ⑦ ダウンロードボタン

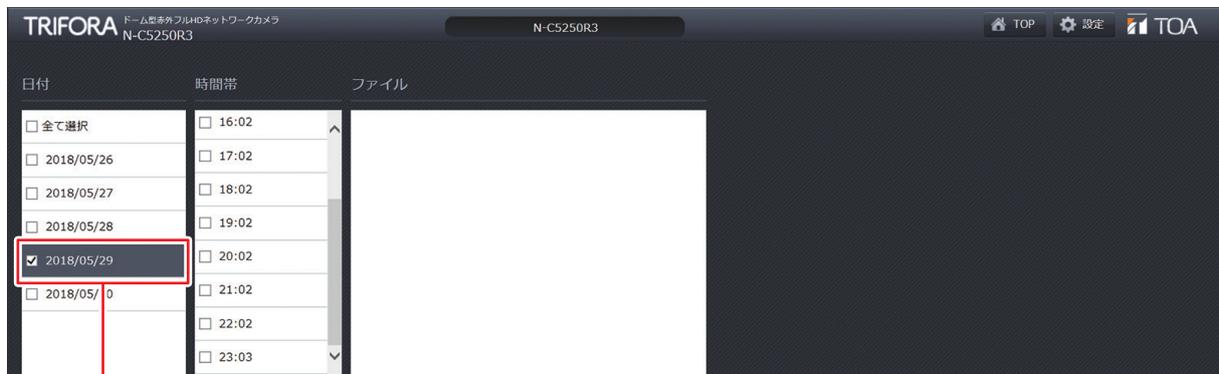
指定した日付、時間帯の録画データをダウンロードします。

### ⑧ 全画面表示ボタン

全画面表示します。全画面表示は、ダブルクリックで解除することができます。

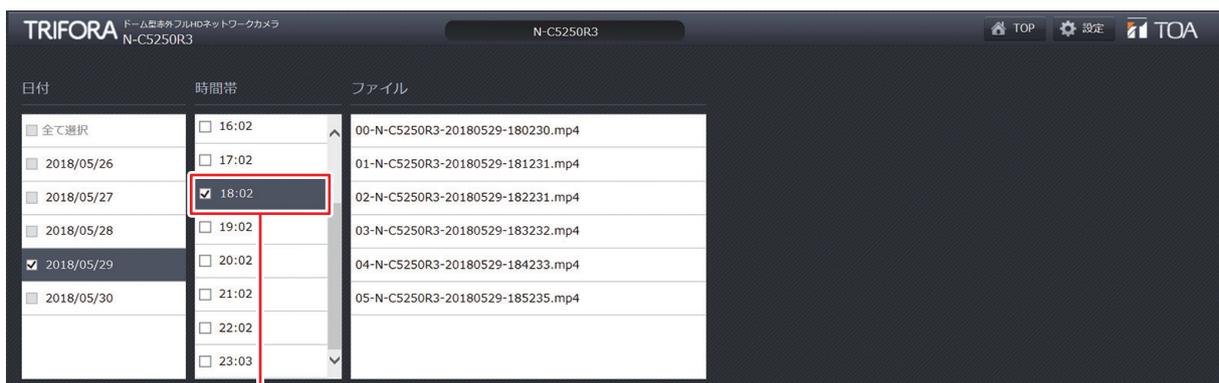
## ● 録画映像を再生する

1 再生したい録画データの日付をクリックして選択する。



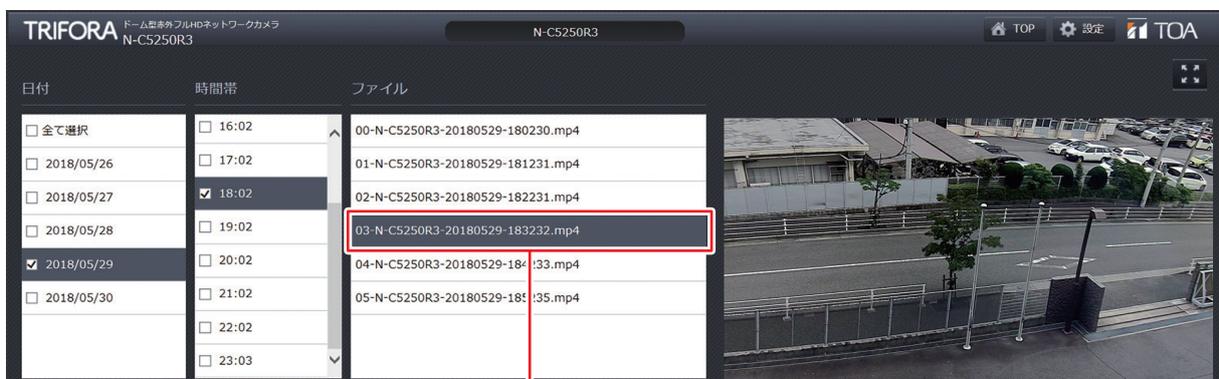
1 クリックする

2 再生したい録画データの時間帯をクリックして選択する。



2 クリックする

ファイルををクリックすると、録画映像が自動的に再生されます。



クリックする

### ご注意

- カメラの動作状況やネットワーク環境によっては、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- PCによっては、再生品質が劣化する場合があります。
- Edge を使用した場合、シークバーが表示されずシーク操作ができません。

## ● 録画映像をダウンロードする

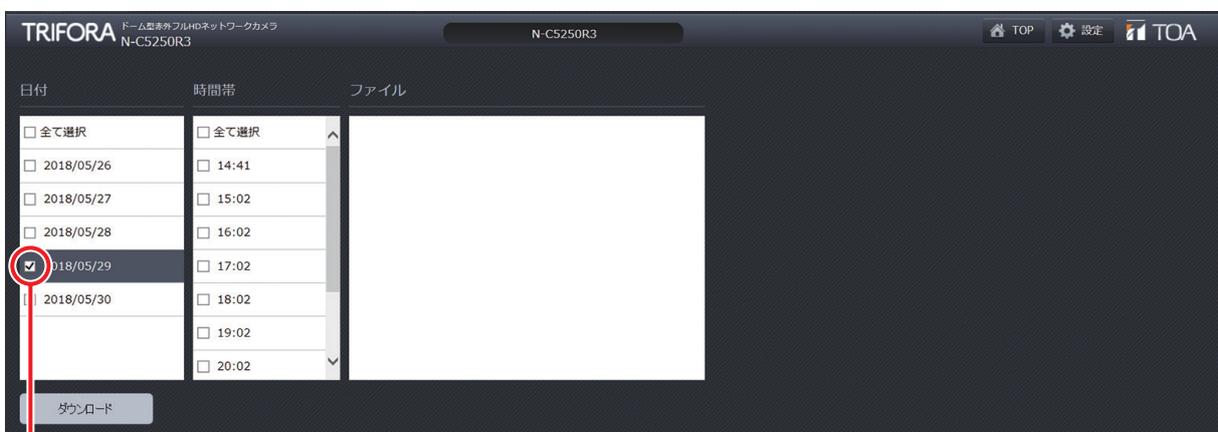
### ご注意

- カメラの動作状況やネットワークの環境によっては、推定残り時間よりもダウンロードに要する時間が長くなる場合があります。長期間の録画データのダウンロードを行う際は、あらかじめ、カメラの映像配信を停止させてから、ダウンロードを行ってください。ダウンロード時間の目安は P. 1-23 を参照してください。
- SD カードの録画データのダウンロードを行っている間は、ネットワーク上のデータ量が増加するため、他のネットワーク機器でパケットロスが発生したり、ネットワークレコーダーやリモートビューアーでコマ落ち、映像の乱れ、または音声の途切れが発生したりする場合があります。

## 1 ダウンロードしたい録画データの日付のチェックボックスにチェックを入れる。

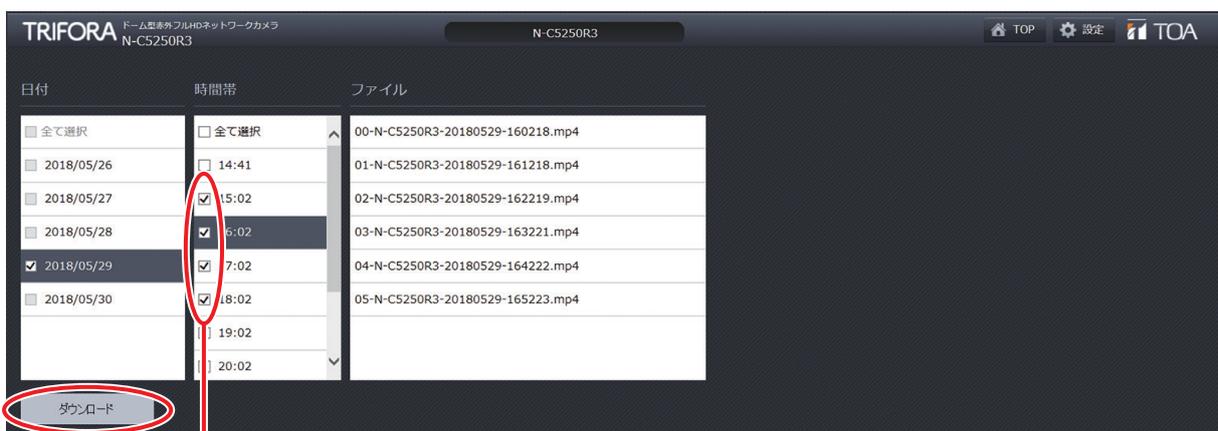
メ モ

- 複数日にまたがってチェックを入れることもできます。
- 複数の日付にチェックを入れた場合は、時間帯の指定はできません。



### 1 チェックを入れる

## 2 ダウンロードしたい録画データの時間帯のチェックボックスにチェックを入れる。



### 2 チェックを入れる

### 3 クリックする

## 3 ダウンロードボタンをクリックする。

## 4 フォルダー選択画面が表示されるので、保存したいフォルダーを選択する。

ダウンロードが始まります。ダウンロードした録画データは、SDカードのフォルダー構成 (P. 2-49) と同じフォルダー構成で指定されたフォルダーに保存されます。

メ モ

本手順は Internet Explorer を使用する場合のみ必要な手順です。Edge を使用する場合はブラウザのダウンロードフォルダーに保存されます。

### [録画映像をダウンロードできないとき]

選択したフォルダーによっては、録画映像をダウンロードできないことがあります。その場合は、以下の設定を変更してください。

- Windows のユーザーアカウント制御 (UAC) を無効に設定する。(P. 1-20 「ユーザーアカウント制御 (UAC) を無効にする」)
- Internet Explorer の保護モードを無効に設定する。(P. 1-22 「Internet Explorer の保護モードを無効にする」)

### ご注意

- リムーバブルメディアのファイルシステムが NTFS の場合、Internet Explorer の保護モードを無効に設定するか、リムーバブルメディアを exFAT にフォーマットしてください。
- ユーザーアカウント制御 (UAC) と保護モードが有効の状態、保存先フォルダーに、ユーザーフォルダー (デスクトップやドキュメント) を指定した場合、ダウンロードしたファイルはセキュリティで保護された以下の仮想フォルダーに保存されます。

[Windows7 の場合]

C:\¥Users¥ <ユーザー名> ¥AppData¥Local¥Microsoft¥Windows¥Temporary Internet Files¥Virtualized

[Windows8.1/Windows10 の場合]

C:\Users\ <ユーザー名> \AppData\Local\Microsoft\Windows\NetCache\Virtualized

また、デスクトップに保存したはずの録画データが見つからない場合は、以下のフォルダーに保存されている可能性があります。

[Windows7]

C:\Users¥ <ユーザー名> ¥AppData¥Local¥Microsoft¥Windows¥Temporary Internet Files¥Virtualized\C\Users\ <ユーザー名> \Desktop

[Windows 8.1 / Windows 10 の場合]

C:\Users\ <ユーザー名> \AppData\Local\Microsoft\Windows\NetCache\Virtualized\C\Users\ <ユーザー名> \Desktop

- 選択したフォルダーによっては、録画データをダウンロードできないフォルダーがあります。(例) C:\Program Files

## ● ユーザーアカウント制御 (UAC) を無効にする

### 1 「コントロールパネル」から「ユーザーアカウント」をクリックする。



## 2 「ユーザーアカウント」をクリックする。



## 3 「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックする。

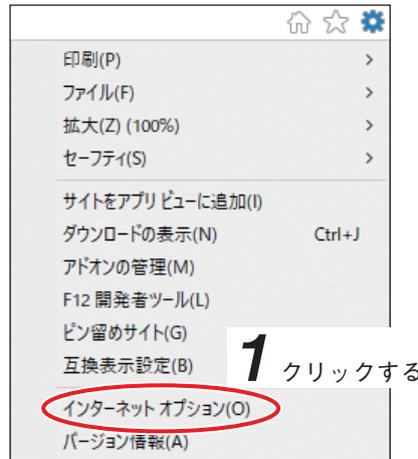


## 4 スライダーを「通知しない」に設定し、「OK」をクリックする。

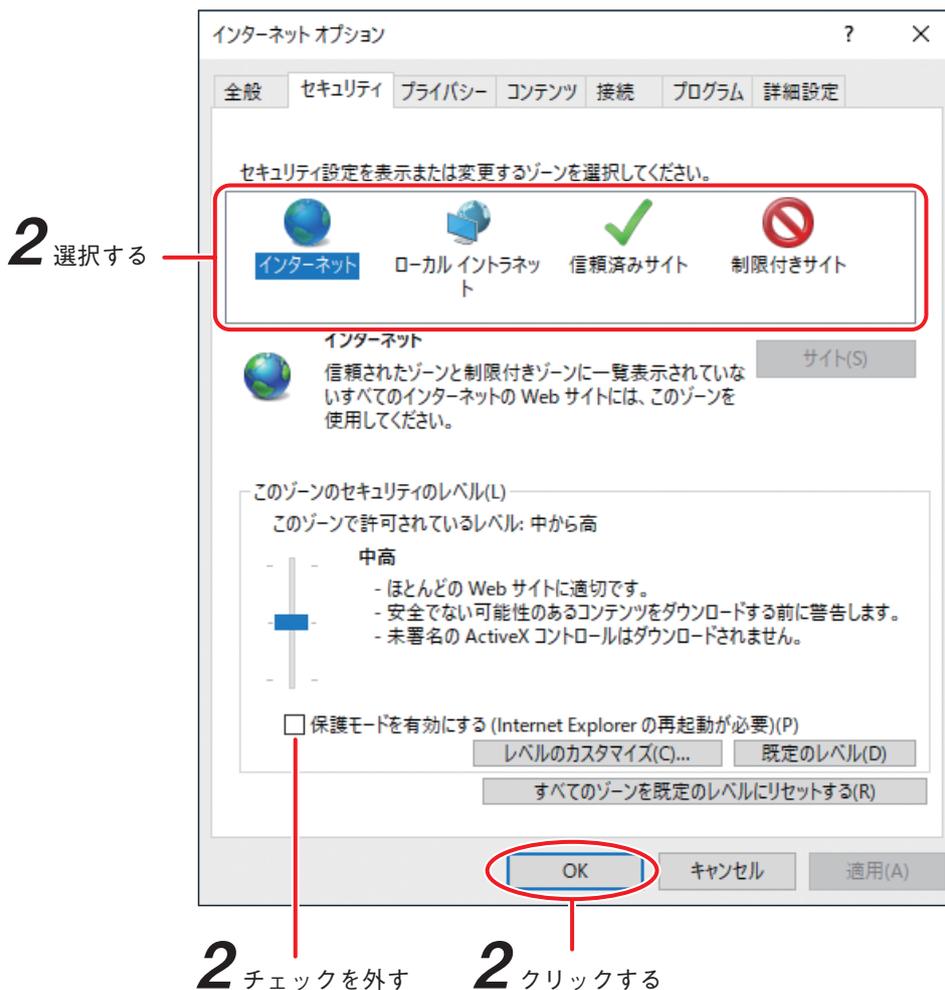


● Internet Explorer の保護モードを無効にする

1 Internet Explorer の設定メニューから「インターネットオプション」をクリックする。



2 「セキュリティ」タブでセキュリティ設定を変更するゾーンを選択したあと「保護モードを有効にする」のチェックを外し、「OK」をクリックする。



3 Internet Explorer を再起動する。

## ● ファイルサイズの目安

録画設定の画像サイズ、フレームレート、画質の設定条件でファイルサイズが異なります。

下表はフレームレートが 10 fps の場合のファイルサイズの目安です。

録画データを PC にダウンロードする際には、容量に十分余裕のあるディスクを選択してください。

### ご注意

- ファイルサイズは、録画する映像の被写体によって変動します。
- 数値は参考値であり、保証するものではありません。

単位：MB

画像サイズ	画質	10 分	1 時間	1 日
1920 x 1080	最高+	375	2250	54000
	標準	113	675	16200
	低	75	450	10800
1280 x 720	最高+	225	1350	32400
	標準	75	450	10800
	低	38	225	5400
640 x 360	最高+	113	675	16200
	標準	38	225	5400
	低	19	113	2700
320 x 180	最高+	38	225	5400
	標準	10	57	1350
	低	6	36	844

## ● ダウンロード時間の目安

下表は、10 fps で録画されたデータを 50 Mbps の速度でダウンロードした場合の目安です。

### ご注意

- ダウンロード時間は、カメラのライブ映像・音声の配信状況、PC のスペック、ダウンロード先のディスクの書き込み速度、ネットワーク環境、録画データのファイルサイズによって変動します。
- 数値は参考値であり、保証するものではありません。

単位：分

画像サイズ	画質	ダウンロード範囲		
		10 分	1 時間	1 日
1920 x 1080	最高+	1	6	144
	標準	1	2	44
	低	1	2	29
1280 x 720	最高+	1	4	87
	標準	1	2	29
	低	1	1	15
640 x 360	最高+	1	2	44
	標準	1	1	15
	低	1	1	8
320 x 180	最高+	1	1	15
	標準	1	1	4
	低	1	1	3

# 第2章

---

設定のしかた

## 設定画面の名称について

設定画面の名称について説明します。

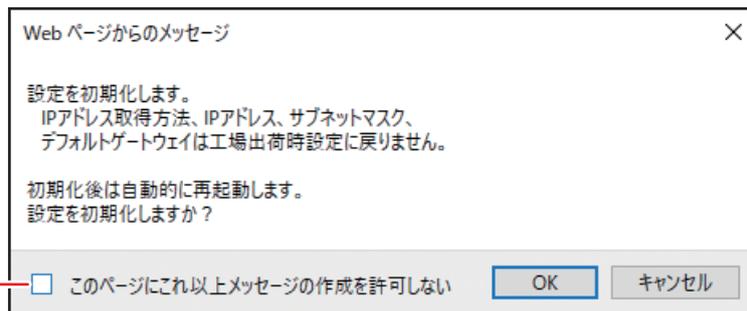
TOP画面(P. 1-8)から設定画面に移動するときは、TOP画面にある「設定」ボタンをクリックしてください。

### ご注意

Windows10をご使用の場合、設定画面内のボタンを連続でクリックすると、以下のような画面が表示されることがあります。

その場合は、「このページにこれ以上メッセージの作成を許可しない」のチェックボックスにチェックを入れずに、「OK」、「キャンセル」、「×」のいずれかをクリックして画面を閉じてください。

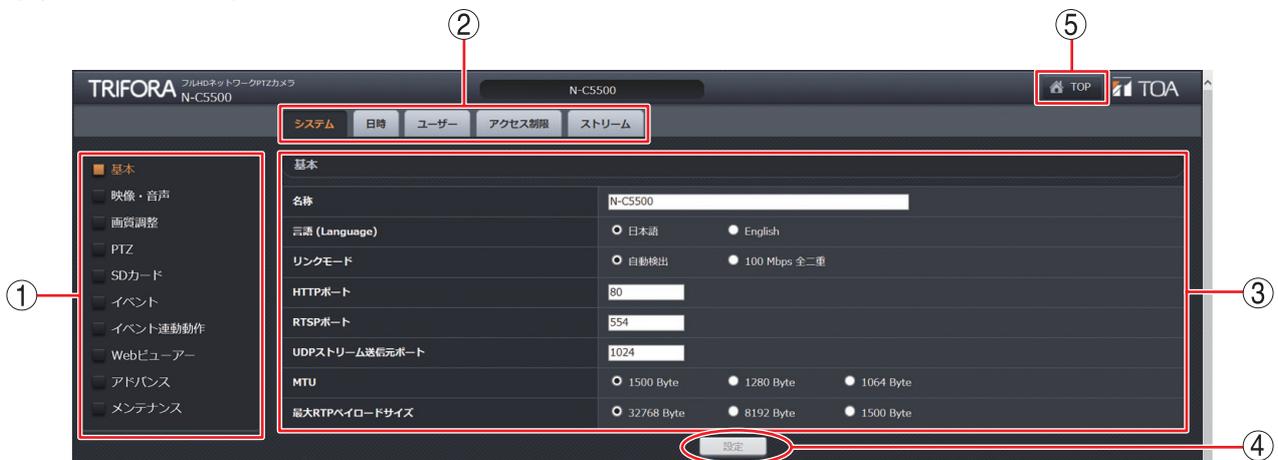
チェックボックスにチェックを入れて画面を閉じたとき、その後正常に動作しなくなることがありますので、Webブラウザを閉じて再度アクセスしてください。



チェックしない  このページにこれ以上メッセージの作成を許可しない

### メモ

「カメラ操作者」と「モニタリングユーザー」のアカウントでログインした場合、TOP画面で設定ボタンは表示されません。ユーザー権限レベルについては、設定画面 [基本(メニュー) → ユーザー (タブ)] (P. 2-11)を参照してください。



#### ① メニュー

メニューを選択します。

#### ② タブ

メニューを選択するとタブが表示されます。設定する内容のタブを選択してください。メニューとタブの選択肢については、P. 2-3「設定項目一覧」を参照してください。

#### ③ 項目

現在の設定内容が表示されます。設定したい内容の選択や入力ができます。

#### ④ 設定ボタン

設定内容を変更すると「設定」ボタンが有効になります。「設定」ボタンをクリックすると変更した設定内容がカメラに反映されます。「設定」ボタンをクリックしないと反映されません。

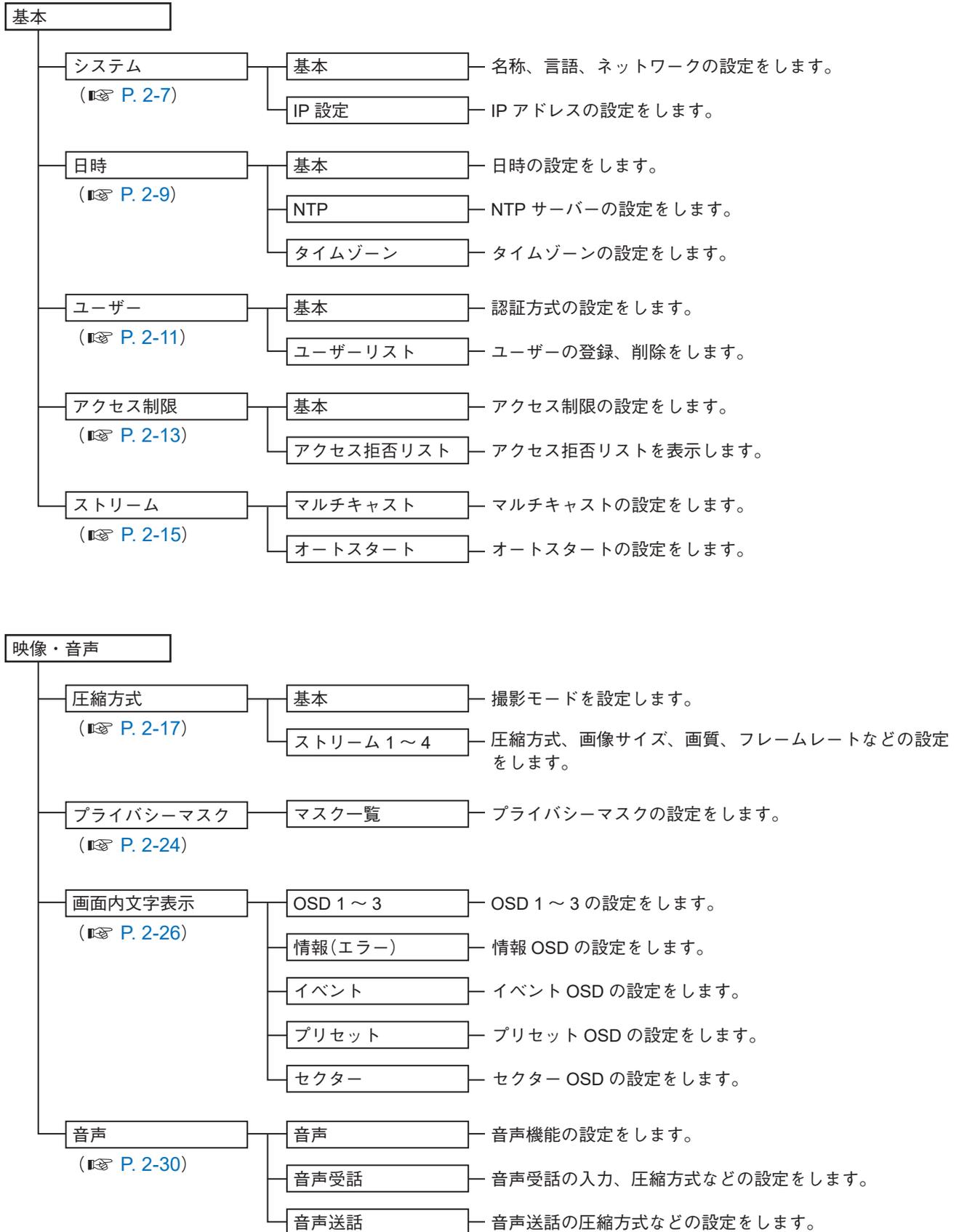
### メモ

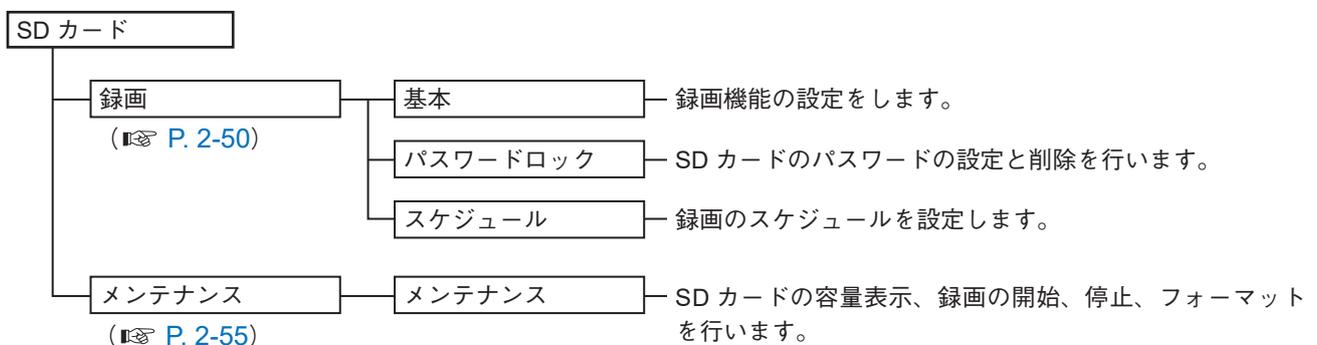
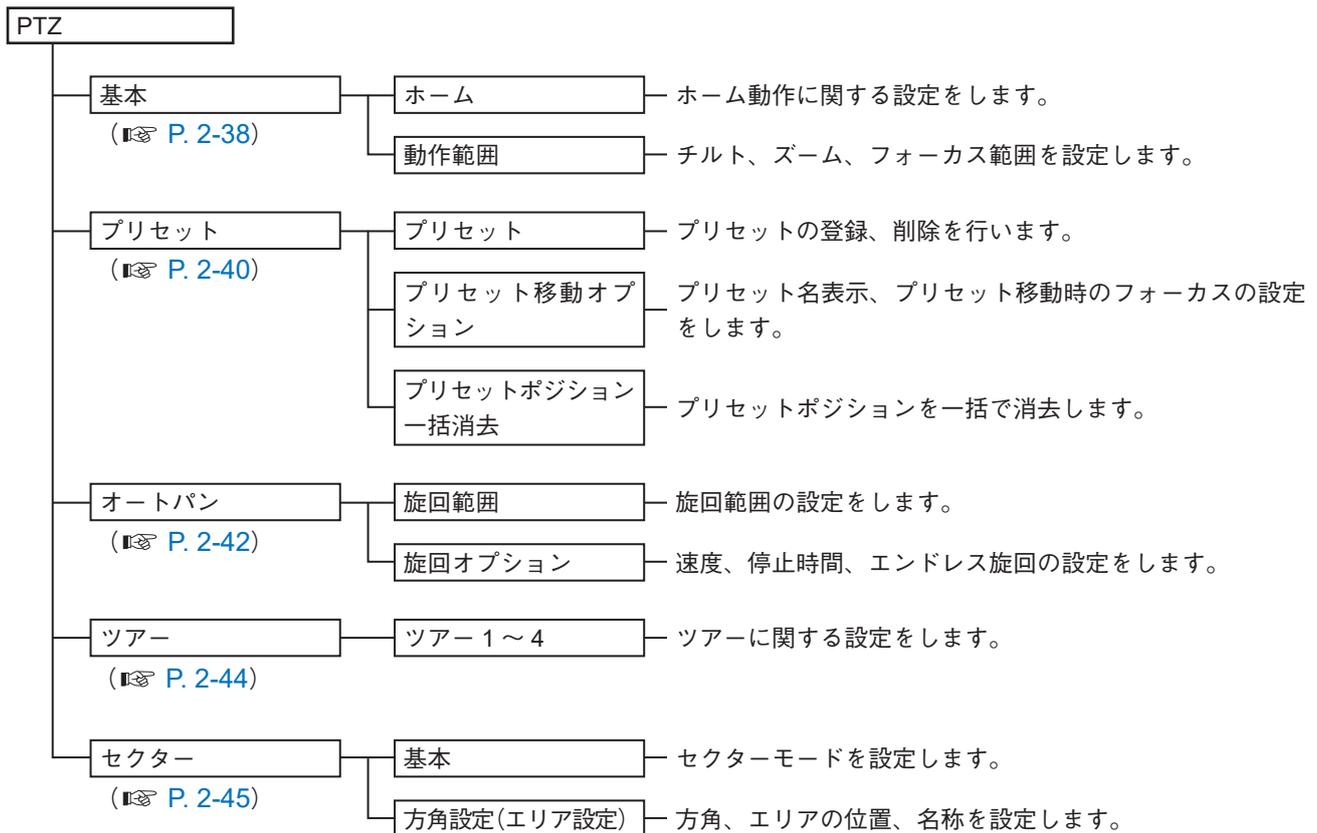
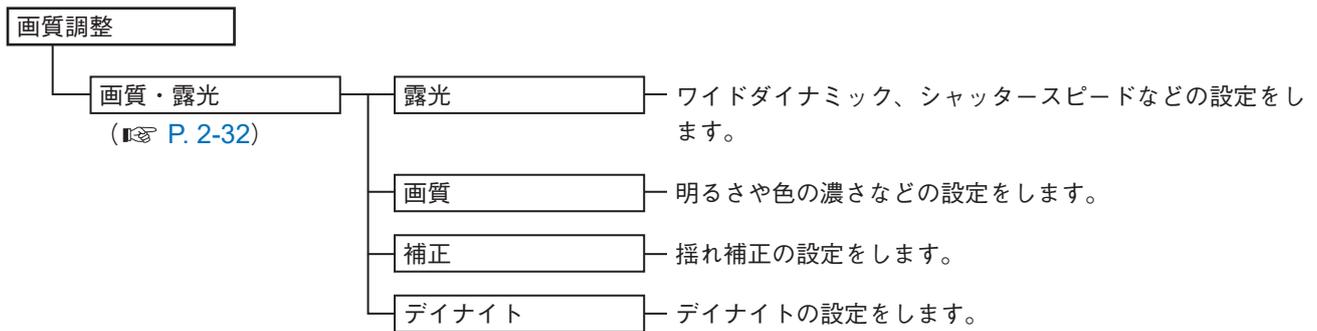
設定ボタンがない項目については、選択項目を変更すると自動的に反映されます。

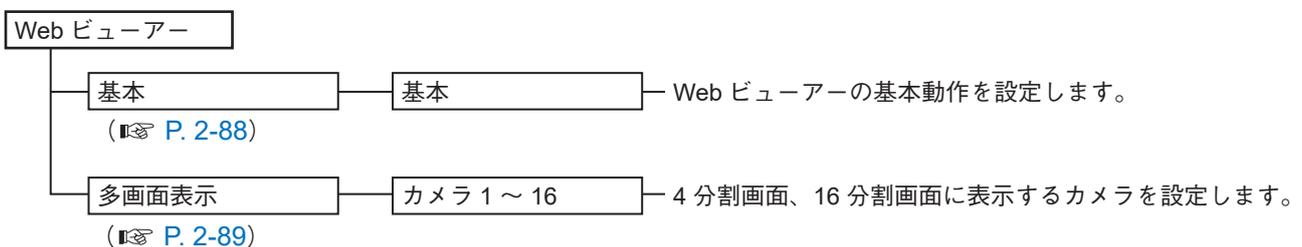
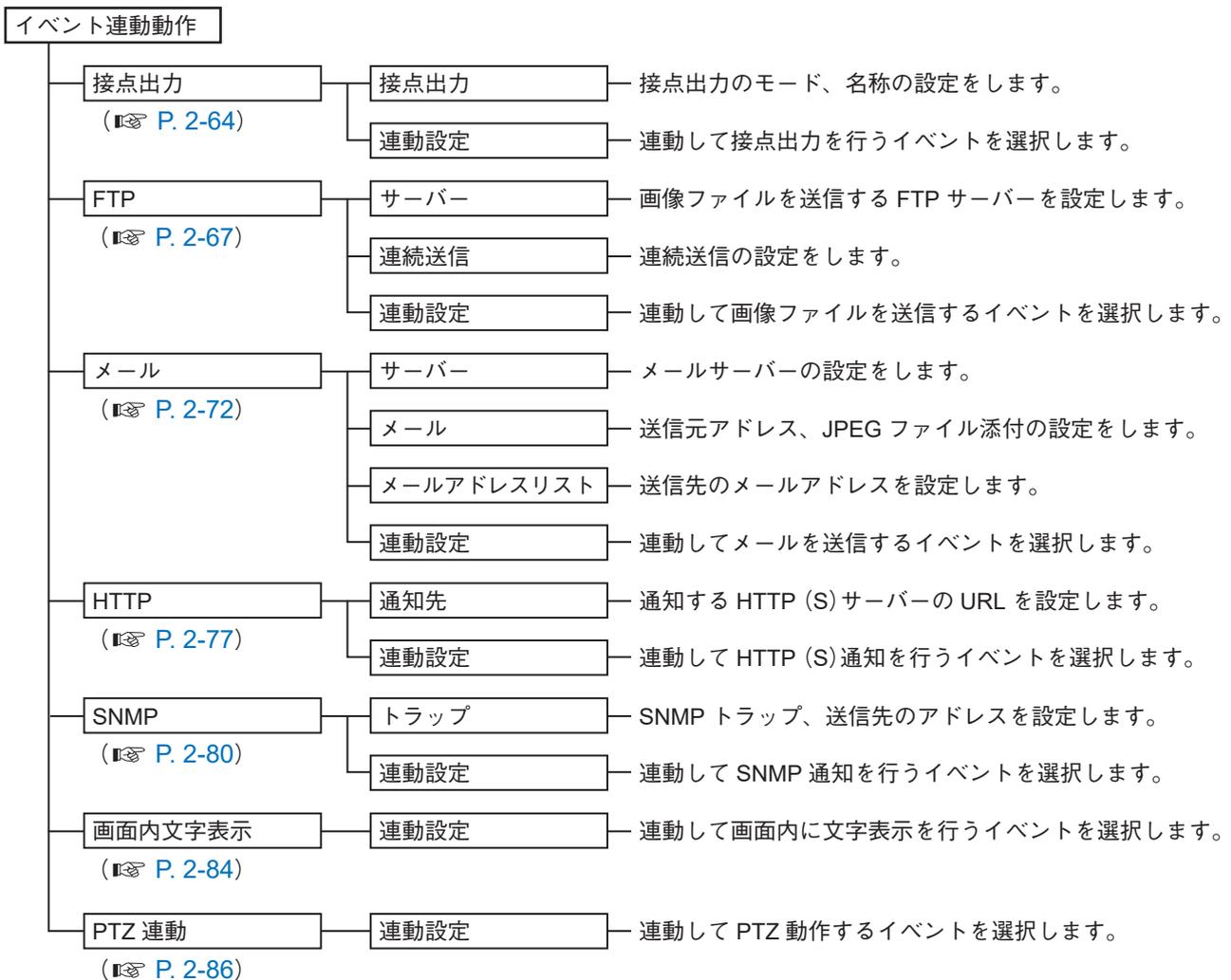
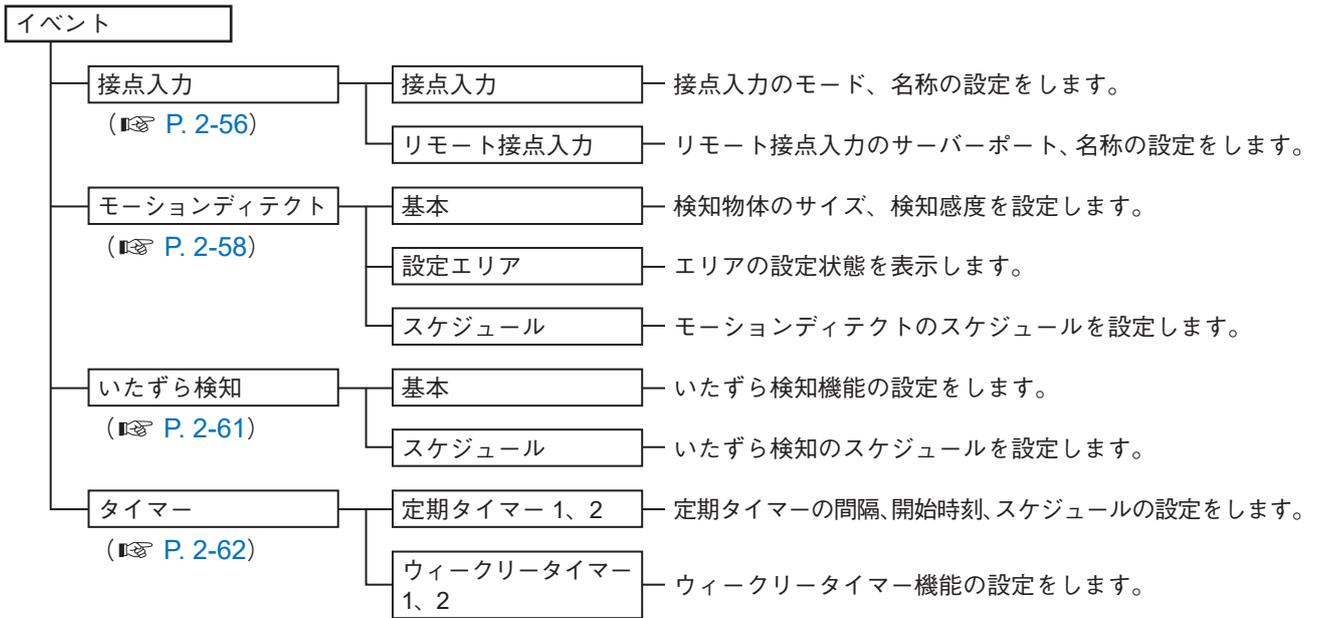
#### ⑤ TOP

TOP画面に移動します。

# 設定項目一覧









# 基本

本機の基本設定を行います。

## ■ システム

名称、言語、ネットワークの設定をします。

### ● 基本

[基本(メニュー) → システム(タブ)] をクリックします。

基本	
名称	N-C5500
言語 (Language)	<input type="radio"/> 日本語 <input checked="" type="radio"/> English
リンクモード	<input type="radio"/> 自動検出 <input checked="" type="radio"/> 100 Mbps 全二重
HTTPポート	80
RTSPポート	554
UDPストリーム送信元ポート	1024
MTU	<input type="radio"/> 1500 Byte <input checked="" type="radio"/> 1280 Byte <input type="radio"/> 1064 Byte
最大RTPペイロードサイズ	<input type="radio"/> 32768 Byte <input checked="" type="radio"/> 8192 Byte <input type="radio"/> 1500 Byte

#### 名称

本機の名称を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 15文字まで

メ モ

以下の記号は名称に設定できません。

., "/ \ ; : | = ? < > \* & ~ ' % #

#### 言語 (Language)

画面、ログの表示言語を選択します。(工場出荷時：日本語)

[選択] 日本語 / English

#### リンクモード

リンクモードを設定します。通常は工場出荷時設定のままで使用してください。(工場出荷時：自動検出)

[選択] 自動検出 / 100 Mbps 全二重

#### HTTP ポート

本機の HTTP サーバーポートの番号を設定します。通常は工場出荷時設定のままで使用することをお勧めします。(工場出荷時：80)

[入力] 80、1025 ~ 65535

#### RTSP ポート

本機の RTSP サーバーポートの番号を設定します。通常は工場出荷時設定のままで使用することをお勧めします。(工場出荷時：554)

[入力] 554、1025 ~ 65535

#### UDP ストリーム送信元ポート

ストリーム送信を行うときの本機側のポート番号を設定します。通常は工場出荷時設定のままで使用することをお勧めします。(工場出荷時：1024)

[入力] 1024 ~ 65000 の偶数

**MTU**

通常は工場出荷時設定のままを使用することをお勧めします。(工場出荷時：1500 Byte)

[選択] 1500 Byte / 1280 Byte / 1064 Byte

メモ

MTU を小さくすると、同時配信数や総画像伝送レートなどの性能が低下します。

**最大 RTP ペイロードサイズ**

通常は工場出荷時設定のままを使用することをお勧めします。(工場出荷時：32768 Byte)

[選択] 32768 Byte / 8192 Byte / 1500 Byte

メモ

最大 RTP ペイロードサイズを小さく設定すると、同時配信数や総画像伝送レートなどの性能が低下します。

**● IP 設定**

[基本(メニュー) → システム(タブ)] をクリックします。

メモ

設定を変更した場合は、Web ブラウザーを閉じて再度アクセスしてください。

**IP アドレス取得方法**

IP アドレスの取得方法を設定します。(工場出荷時：手動)

[選択] 手動 / 自動 (DHCP)

**IP アドレス**

IP アドレスを設定します。(工場出荷時：192.168.14.1)

**サブネットマスク**

サブネットマスクを設定します。(工場出荷時：255.255.255.0)

**デフォルトゲートウェイ**

デフォルトゲートウェイを設定します。(工場出荷時：0.0.0.0)

**DNS サーバーアドレス取得方法**

DNS サーバーアドレスの取得方法を設定します。(工場出荷時：手動)

[選択] 手動 / 自動 (DHCP)

**プライマリー DNS サーバー**

プライマリー DNS サーバーを設定します。(工場出荷時：空欄)

**セカンダリー DNS サーバー**

セカンダリー DNS サーバーを設定します。(工場出荷時：空欄)

## ■ 日 時

日時、NTP、タイムゾーンの設定をします。

### ● 基本

[基本(メニュー) → 日時(タブ)] をクリックします。

#### 現在日時

カメラの日時を表示します。

#### 日時

カメラの日時を設定します。「PCの日時」を選択し、設定ボタンをクリックするとカメラの日時がPCの日時に調時されます。

[選択] 手動 / PCの日時

#### 接点入力1による調時

接点入力1がオンになったときに調時する場合は「オン」に設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ / オン

メモ

接点入力1がオンになったときの現在時刻が、00分06秒～29分59秒の場合は、正時に戻します。30分00秒～59分55秒の場合は、次の正時に進めます。59分56秒から00分05秒の場合は、調時を行いません。

(例)接点入力1がオンになったときの現在時刻により、以下のような動作になります。

- ・現在時刻が12時29分30秒のとき、12時00分00秒に調時します。
- ・現在時刻が12時30分30秒のとき、13時00分00秒に調時します。
- ・現在時刻が12時59分58秒のとき、調時を行いません。

## ● NTP

[基本(メニュー) → 日時(タブ)] をクリックします。

### NTP 調時機能

NTP サーバーを利用して調時するときは「オン」に設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

### NTP サーバーアドレス取得方法

NTP サーバーアドレスの取得方法を設定します。(工場出荷時：手動)

[選択] 手動／自動(DHCP)

### プライマリー NTP サーバー

プライマリー NTP サーバーを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 62 文字まで

### セカンダリー NTP サーバー

セカンダリー NTP サーバーを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 62 文字まで

### 調時間隔

調時の間隔を設定します。(工場出荷時：24 時間)

[選択] 1 時間／3 時間／6 時間／12 時間／24 時間

### 最終補正日時

NTP サーバーと調時した最終時刻を表示します。

### 次回補正予定日時

NTP サーバーと次回調時する予定時刻を表示します。

## ● タイムゾーン

[基本(メニュー) → 日時(タブ)] をクリックします。

### エリア

カメラが設置されている地域のタイムゾーンを設定します。(工場出荷時：UTC +09:00 東京、大阪、札幌、ソウル)

### サマータイム

サマータイムを使用するときは「オン」に設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

## ■ ユーザー

認証方式、ユーザーの登録、削除をします。

### ● 基本

[基本(メニュー) → ユーザー (タブ)] をクリックします。

#### 認証方式

認証方式を設定します。(工場出荷時：ベーシック認証)

[選択] 認証なし／ベーシック認証／ダイジェスト認証

#### ご注意

- 「ダイジェスト」に設定したとき、ダイジェスト認証に対応していないレコーダーやビューアーとは接続できません。
- 「認証なし」に設定すると、意図しない第三者により不正にアクセスされる可能性が高くなります。アクセス制限機能 (P. 2-13) を有効にすることをお勧めします。

#### メモ

設定を変更したときは、Web ブラウザーを閉じて再度アクセスしてください。

### ● ユーザーリスト

登録済みのユーザーが表示されます。ユーザーの登録と削除を行います。

最大で 14 のユーザーを登録できます。

[基本(メニュー) → ユーザー (タブ)] をクリックします。

ユーザーリスト					
No	ユーザー名	パスワード		権限レベル	※ログインユーザーは削除できません
1	admin	●●●●●	<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
2	toa	●●●●●	<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
3			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
4			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
5			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
6			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
7			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
8			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
9			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
10			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
11			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
12			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
13			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除
14			<input type="checkbox"/> パスワードを表示	管理者	変更 削除

**登録・変更**

ユーザー名、パスワード、権限レベルを設定し、「変更」ボタンをクリックします。

**ユーザー名**

ユーザー名を設定します。

[入力] 3～15文字

**パスワード**

パスワードを設定します。

[入力] 3～15文字

**権限レベル**

権限レベルを設定します。

[選択] 管理者／カメラ操作者／モニタリングユーザー

**削除**

削除したいユーザー No の「削除」ボタンをクリックします。

**[ユーザー権限レベル]**

権限レベル	ライブ映像表示	音声受話	音声送話	接点出力操作	SDカード録画 開始・停止・再生・ ダウンロード	PTZ制御	機器設定	ファームウェア アップデート
管理者	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ操作者	○	○	○	○	○	○	—	—
モニタリング ユーザー	○	○	—	—*	—	—	—	—

\*接点出力の状態表示のみ

## ■ アクセス制限

本機へのアクセスを制限する機能の設定をします。

### ● ご注意

アクセス制限機能は正しく設定しないと、本機にアクセスできなくなるおそれがあります。設定後のアドレスリストは厳重に管理してください。

### ● 基本

[基本(メニュー) → アクセス制限(タブ)] をクリックします。

#### デフォルトポリシー

アクセス制限機能のポリシーを設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択]

- オフ : アクセス制限機能を無効にします。  
すべての IP アドレスからのアクセスを許可します。
- 許可 : アドレスリストに設定したネットワークアドレスまたは IP アドレス以外の機器からのアクセスを許可します。  
アクセスを拒否するネットワークアドレス、サブネットを設定します。
- 拒否 : アドレスリストに設定したネットワークアドレスまたは IP アドレス以外の機器からのアクセスを拒否します。  
アクセスを許可するネットワークアドレス、サブネットを設定します。

#### 認証失敗上限回数

同一 IP アドレスから連続で認証に失敗したときにアクセスを拒否する機能の設定をします。(工場出荷時：オフ)

[選択]

- オフ : 認証失敗によるアクセス拒否機能を無効にします。
- 3 / 5 / 10 : アクセスを拒否する認証失敗の上限回数を設定します。同一 IP アドレスから連続で認証に失敗した回数が設定した値に達すると、その IP アドレスからのアクセスを拒否します。

メモ

- アクセス拒否対象のネットワークアドレスまたは IP アドレスの機器からでも、IP 設定ツールを使用して本機を検出することができます。
- デフォルトポリシーの設定が「拒否」の場合、認証失敗によるアクセス拒否機能は無効になります。

#### アドレスリスト

本機へのアクセスを許可または拒否するアドレスを設定します。ネットワークアドレスとサブネットを組み合わせて最大 5 件まで設定することができます。

- ネットワークアドレス (工場出荷時：空欄)
- サブネット (工場出荷時：8 (255.0.0.0))

[選択] 8 (255.0.0.0) ~ 32 (255.255.255.255)

## ● アクセス拒否リスト

同一 IP アドレスから連続でログインに失敗し、カメラへのアクセスを遮断された IP アドレスを一覧表示します。  
[基本(メニュー) → アクセス制限(タブ)] をクリックします。

### ご注意

アクセス拒否リストに登録された IP アドレスからは、ユーザー (P. 2-11) で登録したユーザー名、パスワードであっても本機にアクセスすることができません。

アクセス拒否リスト	
No	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

## ■ ストリーム

マルチキャスト、オートスタートの設定をします。

### ● マルチキャスト

[基本(メニュー) → ストリーム(タブ)] をクリックします。

マルチキャスト		
アドレスタイプ		<input checked="" type="radio"/> 手動 <input type="radio"/> 自動
ストリーム 1	アドレス	225.107.14.60
	ポート	50000
	TTL	1
ストリーム 2	アドレス	225.107.14.60
	ポート	50002
	TTL	1
音声	アドレス	225.107.14.60
	ポート	50008
	TTL	1
イベント	アドレス	225.107.14.60
	ポート	50010
	TTL	1

#### アドレスタイプ

「自動」に設定すると IP アドレスに追従したマルチキャストアドレスを自動で設定します。(工場出荷時：自動)

[選択] 手動／自動

(例) カメラの IP アドレスが 192.168.14.1 のとき、マルチキャストアドレスは自動で 225.168.14.1 に設定されます。

#### ストリーム 1～4、音声、イベント

##### アドレス

マルチキャストで使用するアドレスを設定します。(工場出荷時：225.168.14.1)

##### ポート

マルチキャストで使用するポートを設定します。(工場出荷時：ストリーム 1：50000、ストリーム 2：50002、ストリーム 3：50004、ストリーム 4：50006、音声：50008、イベント：50010)  
通常は工場出荷時設定のままを使用することをお勧めします。

[入力] 1026 ～ 65534 の偶数

##### TTL

マルチキャストの TTL を設定します。(工場出荷時：1)  
通常は工場出荷時設定のままを使用することをお勧めします。

[入力] 1 ～ 255

## ● オートスタート

[基本(メニュー) → ストリーム(タブ)] をクリックします。



### ストリーム1～4

マルチキャストストリームのオートスタート(自動配信)機能を設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択]

オフ：起動直後、自動的に配信は開始しません。

オン：起動直後、自動的にマルチキャスト配信を開始します。接続している機器がないときでも常に配信を行います。

メモ

- 本設定はカメラの再起動後に反映されます。
- SDカード録画の設定が「オン」のとき、ストリーム4のオートスタート機能は使用できません。

# 映像・音声

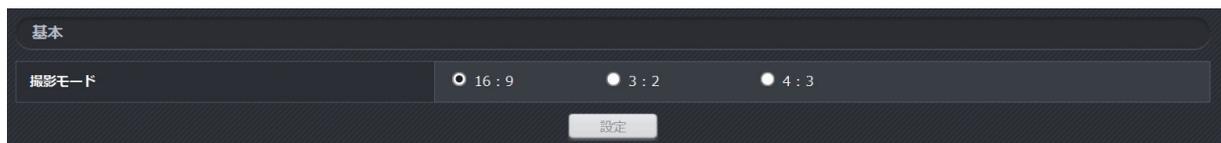
## ■ 圧縮方式

ストリームの設定をします。

**ご注意** 本機能の設定を変更すると、すべての映像配信が一度停止します。

**メモ** ストリーム4の設定値は、[SDカード(メニュー) → 録画(タブ)] (P. 2-50)の基本の録画設定(ストリーム4)に反映されます。

### ● 基本



#### 撮影モード

撮影モードを設定します。(工場出荷時：16:9)

撮影モードを変更することで、被写体のアスペクト比を維持したまま、出力する画像サイズのアスペクト比を変更できます。

[選択] 16:9 / 3:2 / 4:3

撮影モードによってストリーム1～4に設定できる画像サイズの選択肢は異なります。

- 撮影モードが「16:9」のときに設定できる画像サイズ (下線は工場出荷時設定)

ストリーム1：1920 x 1080、1280 x 720、640 x 360、320 x 180

ストリーム2：1280 x 720、640 x 360、320 x 180

ストリーム3：1920 x 1080、1280 x 720、640 x 480、640 x 360、320 x 240、320 x 180

ストリーム4：1920 x 1080、1280 x 720、640 x 360、320 x 180

**メモ**

ストリーム3で「640 x 480」または「320 x 240」を選択した場合は、映像をスクイーズ処理\*して出力します。

\* 映像を横方向に縮小することです。

- 撮影モードが「3:2」のときに設定できる画像サイズ (下線は工場出荷時設定)

ストリーム1～4：720 x 480

- 撮影モードが「4:3」のときに設定できる画像サイズ (下線は工場出荷時設定)

ストリーム1：1280 x 960、640 x 480、320 x 240

ストリーム2：640 x 480、320 x 240

ストリーム3：1280 x 960、640 x 480、320 x 240

ストリーム4：1280 x 960、640 x 480、320 x 240

#### ご注意

- 撮影モードで「3:2」または「4:3」を選択すると、水平画角（水平方向の撮影範囲）が「16:9」よりも狭くなります。



[16:9]



[3:2]



[4:3]

- 撮影モードを変更すると、自動的に機器が再起動し、各ストリームの画像サイズは工場出荷時設定に変更されます。また、以下の設定項目のエリアに関する設定は削除されるため、再度設定してください。
  - ・高画質エリア
  - ・プライバシーマスク
  - ・モーションディテクト

## ● ストリーム 1、2、4

[映像・音声(メニュー) → 圧縮方式(タブ)] をクリックします。

### 圧縮方式

圧縮方式を設定します。(工場出荷時：H.265/HEVC、ストリーム 4 のみ：H.264/AVC)

[選択] H.265/HEVC / H.264/AVC

メモ

SD カード録画の設定が「オン」のとき、または、RTMP (P. 2-90)の配信の設定が「チェックあり」のときに、ストリーム 4 は H.264/AVC のみ選択できます。

### プロファイル

圧縮方式のプロファイルを設定、表示します。

- 圧縮方式が H.265/HEVC のとき  
プロファイルはメインプロファイル(固定)です。
- 圧縮方式が H.264/AVC のとき  
プロファイルを設定します。(工場出荷時：メインプロファイル)  
[選択] ベースラインプロファイル/メインプロファイル/ハイプロファイル

### 画像サイズ

画像サイズを設定します。

設定できる画像サイズは撮影モードによって変わります。詳しくは撮影モード(P. 2-17)を参照してください。

### 映像配信モード

映像配信モードを設定します。(工場出荷時：画質指定)

[選択]

画質指定 : 設定した画質(最高+ ~ 低)、画像サイズ、フレームレートに応じて1クライアントあたりのビットレートは自動で決まります。(P. 2-21 [H.265 ビットレートテーブル]、P. 2-22 [H.264 ビットレートテーブル])

ビットレート指定 : 画像サイズ、フレームレートにかかわらず、1クライアントあたりのビットレートを選択し、設定します。

#### ご注意

撮影する被写体によっては、設定したビットレートを超える場合や下回る場合があります。

### 画質

画質を設定します。(工場出荷時：標準)

[選択] 最高+ / 最高 / 高 / 標準 / 中 / 低

## フレームレート

1 秒間あたりに配信する画像枚数を設定します。(工場出荷時：30 fps)

[選択] 30 / 15 / 10 / 7.5 / 5 / 3 / 2 / 1 (fps)

SD カード録画の設定が「オン」のとき、ストリーム 4 は 15 fps 以下になります。

## 1 クライアントあたりのビットレート

映像配信モードによって異なります。

画質指定モードの場合 : 1 クライアントあたりのビットレートを表示します。  
圧縮方式、画像サイズ、画質、フレームレートでビットレートが決まります。詳しくは P. 2-21 「H.265 ビットレートテーブル」、P. 2-22 「H.264 ビットレートテーブル」を参照してください。

ビットレート指定モードの場合 : 1 クライアントあたりのビットレートを設定します。(工場出荷時：ストリーム 1、4：3072 kbps / ストリーム 2：1024 kbps)

[選択]

64 kbps / 128 kbps / 256 kbps / 384 kbps / 512 kbps / 768 kbps /  
1024 kbps / 1536 kbps / 2048 kbps / 2560 kbps / 3072 kbps /  
4096 kbps / 5120 kbps / 6144 kbps / 8192 kbps

- 6144 kbps と 8192 kbps は圧縮方式が H.264 のときのみ選択できます。
- 本項目に表示されるビットレートは目安であり、実際のビットレートは被写体により変動します。

## I フレーム挿入間隔

I フレーム挿入間隔を設定します。(工場出荷時：1 秒)

[選択] 1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒

H.265 や H.264 で符号化された映像は、基準とするキーフレーム(I フレーム)と差分フレーム(P フレーム)で構成されています。

I フレームの挿入間隔を早めるとパケットロス時の耐性を向上させることができます。I フレームの挿入間隔を遅くするとネットワークの負荷を抑えることができますが、画質が劣化しやすくなります。

## 詳細

I フレームサイズ、イントラ MB 出現頻度は詳細の項目を開いて設定します。

[詳細の項目を開いたとき]

詳細	- 閉じる
I フレームサイズ	45 (大きい) ▼
イントラ MB 出現頻度	0 (低い) ▼
設定	

## I フレームサイズ

I フレームのサイズを設定します。(工場出荷時：45 (大きい))

[選択] 0 (小さい) ~ 45 (大きい)

I フレームのサイズを小さくすると動き量の少ない被写体を撮影している場合でも GOP (Group of Picture) 内のビットレートの変動が小さくなりますが、被写体によってはブロックノイズが目立ちやすくなります。

## イントラ MB 出現頻度

イントラ MB の出現頻度を設定します。(工場出荷時：0 (低い))

[選択] 0 (低い) ~ 10 (高い)

I フレームサイズを小さくしたときにビットレートが設定した値に達しない場合がありますが、イントラ MB 出現頻度を高くしてビットレートを調整できます。

ただし、被写体によってはブロックノイズが目立ちやすくなります。

## ● ストリーム 3

[映像・音声(メニュー) → 圧縮方式(タブ)] をクリックします。



### 圧縮方式

JPEG と表示されます。

メモ

ストリーム 3 は圧縮方式を JPEG から変更できません。

### 画像サイズ

画像サイズを設定します。

設定できる画像サイズは撮影モードによって変わります。詳しくは撮影モード(P. 2-17)を参照してください。

### 画質

画質を設定します。(工場出荷時：標準)

[選択] 最高／高／標準／中／低

### フレームレート

1 秒間あたりに配信する画像枚数を設定します。(工場出荷時：5 fps)

[選択] 15 / 10 / 7.5 / 5 / 3 / 1 (fps)

### 低フレームレート配信モード

ネットワークの帯域が狭いときや、頻繁に映像を確認する必要がないときに、画像を配信する間隔を設定し、フレームレートを 1 fps よりも低くすることができます。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ / 5 秒ごと / 10 秒ごと / 30 秒ごと / 1 分ごと / 5 分ごと / 10 分ごと / 15 分ごと / 30 分ごと / 1 時間ごと

メモ

- 本項目はフレームレートの設定が「1 fps」の場合のみ設定できます。
- 本項目は JPEG の RTP ストリーム配信にのみ適用されます。

### ビットレート

ビットレートを表示します。

画像サイズ、画質、フレームレートでビットレートが決まります。

詳しくは P. 2-23「JPEG ビットレートテーブル」を参照してください。

メモ

本項目に表示されるビットレートは目安であり、実際のビットレートは被写体により変動します。

[H.265 ビットレートテーブル]

単位：kbps

画像サイズ	画質	フレームレート							
		1 fps	2 fps	3 fps	5 fps	7.5 fps	10 fps	15 fps	30 fps
1920 x 1080 (16:9)	最高+	1280	1408	1536	2048	3072	3584	4096	5120
	最高	1024	1152	1280	1536	1792	2048	3072	4096
	高	896	928	960	1024	1280	1536	2048	3072
	標準	768	784	800	896	960	1024	1536	2048
	中	512	576	640	768	800	896	1024	1536
	低	384	416	448	512	640	768	896	1024
1280 x 960 (4:3)	最高+	1120	1248	1376	1664	1920	2176	3200	4224
	最高	832	896	960	1120	1376	1664	2176	3200
	高	576	640	704	832	960	1120	1664	2176
	標準	448	480	512	576	704	832	1120	1664
	中	320	352	384	448	512	576	832	1120
	低	192	208	224	320	384	448	576	832
1280 x 720 (16:9)	最高+	1024	1152	1280	1536	1792	2048	3072	4096
	最高	768	832	896	1024	1280	1536	2048	3072
	高	512	576	640	768	896	1024	1536	2048
	標準	384	416	448	512	640	768	1024	1536
	中	256	288	320	384	448	512	768	1024
	低	160	176	192	256	320	384	512	768
720 x 480 (3:2)	最高+	544	608	672	800	928	1024	1280	1536
	最高	400	432	464	544	672	800	928	1024
	高	272	304	336	400	464	544	800	928
	標準	168	184	200	272	336	400	544	800
	中	104	120	136	168	200	272	400	544
	低	104	104	104	104	136	168	272	400
640 x 480 (4:3)	最高+	544	608	672	800	928	1024	1280	1536
	最高	400	432	464	544	672	800	928	1024
	高	272	304	336	400	464	544	800	928
	標準	168	184	200	272	336	400	544	800
	中	104	120	136	168	200	272	400	544
	低	104	104	104	104	136	168	272	400
640 x 360 (16:9)	最高+	512	576	640	768	896	1024	1280	1536
	最高	384	416	448	512	640	768	896	1024
	高	256	288	320	384	448	512	768	896
	標準	160	176	192	256	320	384	512	768
	中	96	112	128	160	192	256	384	512
	低	96	96	96	96	128	160	256	384
320 x 240 (4:3)	最高+	80	88	96	160	256	384	512	768
	最高	72	76	80	96	160	256	384	512
	高	64	68	72	80	96	160	256	384
	標準	56	60	64	72	80	96	160	256
	中	56	60	64	64	72	80	96	160
	低	56	56	56	56	64	72	80	96
320 x 180 (16:9)	最高+	80	88	96	160	256	384	512	768
	最高	72	76	80	96	160	256	384	512
	高	64	68	72	80	96	160	256	384
	標準	56	60	64	72	80	96	160	256
	中	56	60	64	64	72	80	96	160
	低	56	56	56	56	64	72	80	96

## [H.264 ビットレートテーブル]

単位：kbps

画像サイズ	画質	フレームレート							
		1 fps	2 fps	3 fps	5 fps	7.5 fps	10 fps	15 fps	30 fps
1920 x 1080 (16:9)	最高+	1792	1920	2048	3072	4096	5120	6144	8192
	最高	1536	1664	1792	2048	2560	3072	4096	6144
	高	1280	1344	1408	1536	1792	2048	3072	4096
	標準	1024	1088	1152	1280	1408	1536	2048	3072
	中	768	832	896	1024	1152	1280	1536	2048
	低	512	576	640	768	896	1024	1280	1536
1280 x 960 (4:3)	最高+	1664	1792	1920	2176	2688	3200	4224	6400
	最高	1120	1248	1376	1664	1920	2176	3200	4224
	高	832	896	960	1120	1376	1664	2176	3200
	標準	576	640	704	832	960	1120	1664	2176
	中	448	480	512	576	704	832	1120	1664
	低	320	352	384	448	512	576	832	1120
1280 x 720 (16:9)	最高+	1536	1664	1792	2048	2560	3072	4096	6144
	最高	1024	1152	1280	1536	1792	2048	3072	4096
	高	768	832	896	1024	1280	1536	2048	3072
	標準	512	576	640	768	896	1024	1536	2048
	中	384	416	448	512	640	768	1024	1536
	低	256	288	320	384	448	512	768	1024
720 x 480 (3:2)	最高+	800	864	928	1024	1280	1536	1792	2048
	最高	544	608	672	800	928	1024	1280	1536
	高	400	432	464	544	672	800	1024	1280
	標準	272	304	336	400	464	544	800	1024
	中	136	168	200	272	336	400	544	800
	低	136	136	136	136	200	272	400	544
640 x 480 (4:3)	最高+	800	864	928	1024	1280	1536	1792	2048
	最高	544	608	672	800	928	1024	1280	1536
	高	400	432	464	544	672	800	1024	1280
	標準	272	304	336	400	464	544	800	1024
	中	136	168	200	272	336	400	544	800
	低	136	136	136	136	200	272	400	544
640 x 360 (16:9)	最高+	768	832	896	1024	1280	1536	1792	2048
	最高	512	576	640	768	896	1024	1280	1536
	高	384	416	448	512	640	768	1024	1280
	標準	256	288	320	384	448	512	768	1024
	中	128	160	192	256	320	384	512	768
	低	128	128	128	128	192	256	384	512
320 x 240 (4:3)	最高+	96	112	128	256	384	512	768	1024
	最高	80	88	96	128	256	384	512	768
	高	72	76	80	96	128	256	384	512
	標準	64	68	72	80	96	128	256	384
	中	64	68	72	72	80	96	128	256
	低	64	64	64	64	72	80	96	128
320 x 180 (16:9)	最高+	96	112	128	256	384	512	768	1024
	最高	80	88	96	128	256	384	512	768
	高	72	76	80	96	128	256	384	512
	標準	64	68	72	80	96	128	256	384
	中	64	68	72	72	80	96	128	256
	低	64	64	64	64	72	80	96	128

[JPEG ビットレートテーブル]

単位：kbps

画像サイズ	画質	フレームレート					
		1 fps	3 fps	5 fps	7.5 fps	10 fps	15 fps
1920 x 1080 (16:9)	最高	2240	6720	11200	16800	22400	33600
	高	1680	5040	8400	12600	16800	25200
	標準	1360	4080	6800	10200	13600	20400
	中	1120	3360	5600	8400	11200	16800
	低	960	2880	4800	7200	9600	14400
1280 x 960 (4:3)	最高	1320	3960	6600	9900	13200	19800
	高	992	2976	4960	7440	9920	14880
	標準	800	2400	4000	6000	8000	12000
	中	672	2016	3360	5040	6720	10080
	低	576	1728	2880	4320	5760	8640
1280 x 720 (16:9)	最高	1024	3072	5120	7680	10240	15360
	高	768	2304	3840	5760	7680	11520
	標準	640	1920	3200	4800	6400	9600
	中	512	1536	2560	3840	5120	7680
	低	448	1344	2240	3360	4480	6720
720 x 480 (3:2)	最高	400	1200	2000	3000	4000	6000
	高	304	912	1520	2280	3040	4560
	標準	240	720	1200	1800	2400	3600
	中	200	600	1000	1500	2000	3000
	低	168	504	840	1260	1680	2520
640 x 480 (16:9、4:3)	最高	352	1056	1760	2640	3520	5280
	高	256	768	1280	1920	2560	3840
	標準	224	672	1120	1680	2240	3360
	中	192	576	960	1440	1920	2880
	低	160	480	800	1200	1600	2400
640 x 360 (16:9)	最高	256	768	1280	1920	2560	3840
	高	192	576	960	1440	1920	2880
	標準	160	480	800	1200	1600	2400
	中	144	432	720	1080	1440	2160
	低	128	384	640	960	1280	1920
320 x 240 (16:9、4:3)	最高	112	336	560	840	1120	1680
	高	96	288	480	720	960	1440
	標準	80	240	400	600	800	1200
	中	64	192	320	480	640	960
	低	48	144	240	360	480	720
320 x 180 (16:9)	最高	96	288	480	720	960	1440
	高	80	240	400	600	800	1200
	標準	48	144	240	360	480	720
	中	40	120	200	300	400	600
	低	32	96	160	240	320	480

## ■ プライバシーマスク

プライバシーマスクの設定をします。

撮影場所の中に映したくない部分がある場合、マスキングをして隠すことができます。

最大で8カ所まで設定できます。

[映像・音声(メニュー) → プライバシーマスク(タブ)] をクリックします。

× モ

- プライバシーマスクを1カ所でも設定していると、0° ~ -90° のチルト範囲に制限されます。
- 工場出荷時はプライバシーマスクは設定されていません。



### ● プライバシーマスクを設定する

#### 1 マスクしたいエリアが画面の中心になるようにカメラを操作する。

× モ

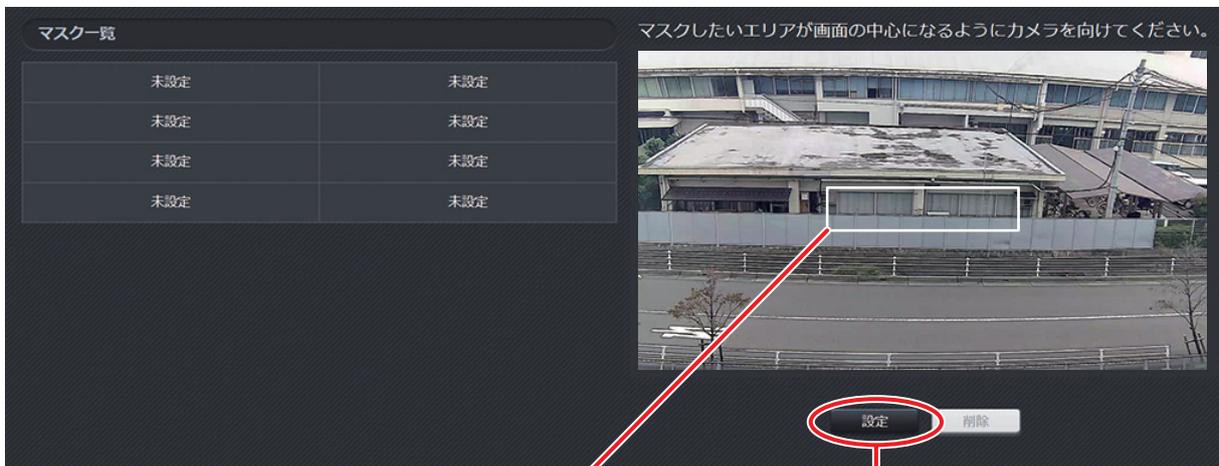
ライブ映像上をクリックすると、クリックした位置が画面の中心になるようカメラが動作します。(ポイントビュー機能)

#### 2 画面上をドラッグして、マスクしたいエリアを選択する。

選択したエリアは白色の枠で表示されます。

× モ

マスクがすでに8カ所設定されている場合は、選択できません。



2 ドラッグして選択する

3 クリックする

- 3** 「設定」 ボタンをクリックする。  
マスクが設定されます。



メ モ

プライバシーマスクを設定すると、設定済みマスク一覧の表示が「未設定」から「設定済み」に変わり、クリックできるようになります。クリックすると、マスクの場所を確認することができます。

## ● プライバシーマスクを削除する

- 1** 削除したいマスクを選択する。

マスク一覧に表示されているリストの中から、「設定済み」と表示されているリストをクリックすると、該当するマスクが黄色で強調表示されます。消去したいマスクが強調表示されるように、「設定済み」の表示をクリックしてください。

メ モ

マスク設定後に揺れ補正の設定を変更すると、黄色の強調表示がずれることがあります。揺れ補正の設定は、[映像・音声 (メニュー) → 画質調整 (タブ)] で確認できます。

- 1** クリックする



- 2** 「削除」 ボタンをクリックする。  
選択したマスクが削除されます。

メ モ

プライバシーマスクを削除すると、設定済みマスク一覧の表示が「設定済み」から「未設定」に変わり、クリックできなくなります。

- 2** クリックする

## ■ 画面内文字表示

画面内に文字を表示するための設定をします。画面内文字表示の種類は、OSD 1～3、情報、イベント、プリセット、セクターがあります。

### ■ ご注意

映像の解像度や文字色、設定した文字の内容によっては、OSD が見えづらくなる場合があります。

### ● OSD 1～3

[映像・音声(メニュー) → 画面内文字表示(タブ)] をクリックします。



#### 形式

画面内文字の形式を設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択]

オフ : 画面内の文字を非表示にします。

名称 : [基本(メニュー) → システム(タブ)] で設定したカメラの名称を表示します。

日時 : 画面内に機器の現在日時を表示します。

ストリーム情報 : 画面内に配信に使用している画像サイズ、フレームレート、ビットレートを表示します。

テキスト : 画面内に設定項目「テキスト」で設定した文字を表示します。

#### 背景色

背景色を設定します。(工場出荷時：透過)

[選択] 透過／黒／白

#### 文字色

文字色を設定します。(工場出荷時：白)

[選択] 黒／白／赤

#### テキスト

画面内に表示するテキストを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 20 文字まで

メモ

環境依存文字は設定できない場合があります。

#### 文字位置(X)

画面内に表示する水平位置を設定します。

1 を設定すると左揃え、10 を設定すると右揃えになります。(工場出荷時：OSD 1：1、OSD 2：1、OSD 3：10)

[選択] 1～10

**文字位置(Y)**

画面内に表示する垂直位置を設定します。

1を設定すると上揃え、10を設定すると下揃えになります。(工場出荷時：OSD 1：1、OSD 2：10、OSD 3：1)

[選択] 1～10

**ご注意**

OSD 1～3と情報(エラー) OSD は、重なり合う位置に設定できません。

**● 情報 (エラー)**

エラーなどが発生したときに、画面内に表示します。

SD カード異常が発生したとき、異常状態の間「Rec Error」と表示されます。

[映像・音声(メニュー) → 画面内文字表示(タブ)] をクリックします。

**背景色**

背景色を設定します。(工場出荷時：透過)

[選択] 透過／黒／白

**文字色**

文字色を設定します。(工場出荷時：赤)

[選択] 黒／白／赤

**文字位置(X)**

画面内に表示する水平位置を設定します。

1を設定すると左揃え、10を設定すると右揃えになります。(工場出荷時：10)

[選択] 1～10

**文字位置(Y)**

画面内に表示する垂直位置を設定します。

1を設定すると上揃え、10を設定すると下揃えになります。(工場出荷時：2)

[選択] 1～10

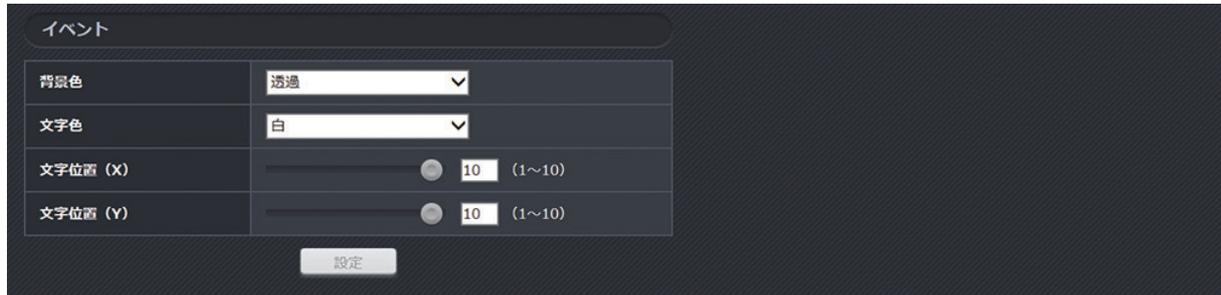
## ● イベント

「接点入力」、「リモート接点入力」、「モーションディテクト」、「いたずら検知」の各イベント発生時に、あらかじめ設定したテキストを表示します。

[映像・音声(メニュー) → 画面内文字表示(タブ)] をクリックします。

メ モ

画面内に表示する時間、テキストの設定は、[イベント連動動作(メニュー) → 画面内文字表示(タブ)] (P. 2-84) で設定します。



### 背景色

背景色を設定します。(工場出荷時：透過)

[選択] 透過／黒／白

### 文字色

文字色を設定します。(工場出荷時：白)

[選択] 黒／白／赤

### 文字位置(X)

画面内に表示する水平位置を設定します。

1を設定すると左揃え、10を設定すると右揃えになります。(工場出荷時：10)

[選択] 1～10

### 文字位置(Y)

画面内に表示する垂直位置を設定します。

1を設定すると上揃え、10を設定すると下揃えになります。(工場出荷時：10)

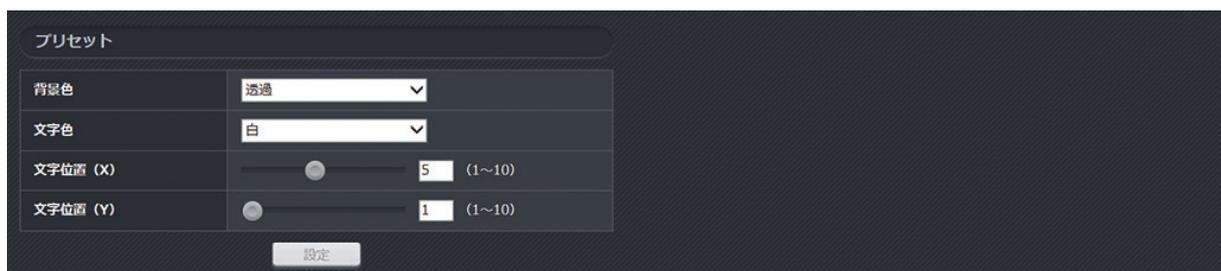
[選択] 1～10

## ● プリセット

登録済みのプリセットポジションを撮影するときに表示する、プリセット名の背景色、文字色、文字位置について設定します。[映像・音声(メニュー) → 画面内文字表示(タブ)] をクリックします。

メ モ

プリセット名は、[PTZ(メニュー) → プリセット(タブ)] のプリセット移動オプション(P. 2-41)のプリセット名表示を「オン」に設定することで画面内に表示されます。



### 背景色

背景色を設定します。(工場出荷時：透過)

[選択] 透過／黒／白

**文字色**

文字色を設定します。(工場出荷時：白)

[選択] 黒／白／赤

**文字位置(X)**

画面内に表示する水平位置を設定します。

1を設定すると左揃え、10を設定すると右揃えになります。(工場出荷時：5)

[選択] 1～10

**文字位置(Y)**

画面内に表示する垂直位置を設定します。

1を設定すると上揃え、10を設定すると下揃えになります。(工場出荷時：1)

[選択] 1～10

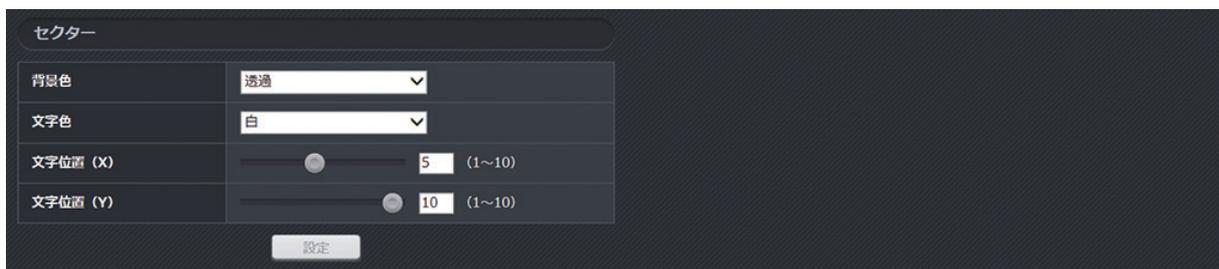
**● セクター**

セクター機能で表示する表示内容の背景色、文字色、文字位置について設定します。

[映像・音声(メニュー) → 画面内文字表示(タブ)] をクリックします。

メ モ

セクター機能は [PTZ(メニュー) → セクター(タブ)] で設定してください。

**背景色**

背景色を設定します。(工場出荷時：透過)

[選択] 透過／黒／白

**文字色**

文字色を設定します。(工場出荷時：白)

[選択] 黒／白／赤

**文字位置(X)**

画面内に表示する水平位置を設定します。

1を設定すると左揃え、10を設定すると右揃えになります。(工場出荷時：5)

[選択] 1～10

**文字位置(Y)**

画面内に表示する垂直位置を設定します。

1を設定すると上揃え、10を設定すると下揃えになります。(工場出荷時：10)

[選択] 1～10

## ■ 音 声

音声の設定をします。

### ご注意

- 映像と音声同期しない場合があります。
- 本機能の設定を変更すると、すべての映像配信が一度停止します。

### ● 音声

[映像・音声(メニュー) → 音声(タブ)] をクリックします。



#### 機能

音声機能の設定をします。(工場出荷時：オフ)

[選択]

- オフ : 音声機能をオフにします。
- 受話(カメラ → PC)のみ : カメラの音声入力端子に接続した音声を PC から出力します。
- 送話(PC → カメラ)のみ : PC からの音声をカメラの音声出力端子に出力します。
- 双方向 : 受話と送話の機能を有効にします。

メモ

- RTMP (P. 2-90) の音声の設定にチェックが入っているときは、「受話 (カメラ → PC) のみ」または「双方向」のみ選択できます。
- Web サーバー動作モード (P. 2-91) が「HTTPS」または「両方」のときは、「オフ」または「受話 (カメラ → PC) のみ」が選択できます。

### ● 音声受話

[映像・音声(メニュー) → 音声(タブ)] をクリックします。

#### ご注意

カメラの動作状況によっては、受話音声途切れる場合があります。

メモ

本項目は、音声機能の設定が「オフ」、「送話(PC → カメラ)のみ」の場合は設定できません。



#### 入力

カメラの音声入力端子に接続する音声入力を設定します。(工場出荷時：ライン)

[選択] ライン／マイク

**圧縮方式**

音声入力の圧縮方式を設定します。(工場出荷時：AAC)

[選択] AAC / G.711  $\mu$ -law

メモ

RTMP (P. 2-90) の音声の設定にチェックが入っているときは、「AAC」のみ選択できます。

**サンプリング周波数**

音声入力のサンプリング周波数を設定、表示します。

- ・圧縮方式が AAC のとき  
サンプリング周波数を設定します。(工場出荷時：16 kHz)  
[選択] 16 kHz / 32 kHz
- ・圧縮方式が G.711  $\mu$ -law のとき  
サンプリング周波数は 8 kHz (固定) です。

**1 クライアントあたりのビットレート**

音声入力の 1 クライアントあたりのビットレートを設定、表示します。

- ・圧縮方式が AAC のとき  
ビットレートを設定します。(工場出荷時：32 kbps)  
[選択] 16 kbps / 32 kbps / 64 kbps
- ・圧縮方式が G.711  $\mu$ -law のとき  
ビットレートは 64 kbps (固定) です。

**音量**

音声入力の音量を設定します。(工場出荷時：標準)

[選択] 小 / 標準 / 大

**● 音声送話**

[映像・音声(メニュー) → 音声(タブ)] をクリックします。

**ご注意**

カメラの動作状況によっては、送話音声が届かない場合があります。

メモ

本項目は、音声機能の設定が「オフ」、「受話(カメラ → PC)のみ」の場合は設定できません。

**圧縮方式**

音声出力の圧縮方式を設定します。(工場出荷時：AAC)

[選択] AAC / G.711  $\mu$ -law

**サンプリング周波数**

音声出力のサンプリング周波数を設定、表示します。

- ・圧縮方式が AAC のとき  
サンプリング周波数を設定します。(工場出荷時：16 kHz)  
[選択] 16 kHz / 32 kHz
- ・圧縮方式が G.711  $\mu$ -law のとき  
サンプリング周波数は 8 kHz (固定) です。

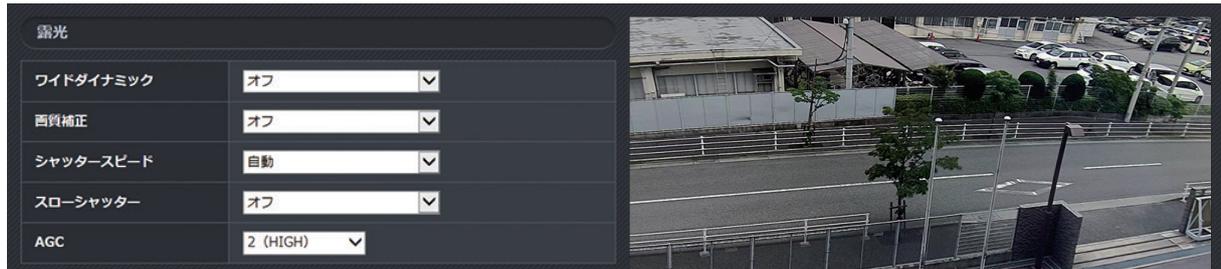
# 画質調整

## 画質・露光

ワイドダイナミック、シャッタースピードなど、カメラの画質に関する設定をします。

### ● 露光

[画質調整(メニュー) → 画質・露光(タブ)] をクリックします。



### ワイドダイナミック

映像の明暗差を改善する機能です。(ダブルシャッター方式)

画面内に屋内と屋外などの明るさの違う部分があり、明暗差が非常に大きい場合に、その差を少なくして視認性を改善します。

工場出荷時の設定は品番によって異なります。

品番	工場出荷時設定
N-C5500、N-C5700	E-WDR
N-C5500A、N-C5700A	LOW

また、プリセット1については個別に本機能を設定することができます。(参照 P. 2-40 「プリセットを登録する」)

[選択]

オフ : ワイドダイナミック機能をオフにします。

LOW : ワイドダイナミック機能を使用します。HIGH ではコントラストの低下が気になる場合に使用します。

HIGH : ワイドダイナミック機能を使用します。LOW で明暗差が改善されないときには HIGH を使用します。

E-WDR : LOW、HIGH と比べて効果は小さくなりますが、LOW や HIGH ではコントラストの低下が気になる場合に使用します。

### ご注意

- シャッタースピードを「自動」または「フリッカーレス」以外に設定しているとき、「LOW」と「HIGH」は設定できません。
- N-C5500A と N-C5700A は、プリセット1の画質設定を「する」に設定しているとき、「LOW」と「HIGH」は設定できません。
- 画質補正機能を「オフ」以外に設定すると、ワイドダイナミック機能は使用できません。
- 「LOW」、「HIGH」、「E-WDR」に設定すると、暗い部分を明るく補正するため、コントラストが低下し、ザラザラしたノイズが気になる場合があります。このような場合は「オフ」で使用してください。
- 一部の蛍光灯やLED照明下では、「LOW」、「HIGH」に設定すると、画面横方向にノイズが見られる場合がありますが、故障ではありません。このような場合は「オフ」に設定するとノイズが緩和されます。

### 画質補正

映像全体の画質を補正することができます。(工場出荷時：オフ)

[選択]

オフ : 画質補正機能をオフにします。

逆光補正 : 逆光状態で映した場合に、被写体が黒くつぶれないように明るさを補正する機能です。

霧補正 : 霧などがでて映像の明暗差が少なくなった場合に、コントラストを改善します。

強光補正 : 夜間や暗い環境下で車のヘッドライトなどの明るい光がある場合に、被写体の白飛びを抑えて視認性を改善します。

#### ご注意

- シャッタースピードを「自動」または「フリッカーレス」以外に設定しているときは、「逆光補正」と「霧補正」は設定できません。
- ワイドダイナミック機能を「オフ」以外に設定すると、画質補正機能は使用できません。

### シャッタースピード

シャッタースピードを設定することができます。(工場出荷時：自動)

・ N-C5500、N-C5700 のとき

[選択] 自動 / 1/100 / 1/120 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/10000

・ N-C5500A、N-C5700A のとき

[選択] 自動 / フリッカーレス / 1/100 / 1/120 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/10000

メモ

通常は「自動」で使用してください。

#### ご注意

- シャッタースピードを固定して使用する場合は、スローシャッター機能、ワイドダイナミック機能の「LOW」と「HIGH」、画質補正機能の「逆光補正」と「霧補正」は設定できません。
- 「フリッカーレス」で使用する場合は、ワイドダイナミック機能の「LOW」と「HIGH」は設定できません。
- 一部の蛍光灯やLED照明下では、高速なシャッタースピードに設定すると画面横方向にノイズが見られることがあります。故障ではありません。このような場合は、「自動」や「1/100」、「1/120」に設定すると緩和されます。
- フリッカーが気になるときは、「フリッカーレス」または「1/100」を使用してください。

### スローシャッター

シャッタースピードを「自動」または「フリッカーレス」にしているときに設定します。

CMOSセンサーに光を蓄える時間(露光時間)の上限を選択します。被写体が暗くなると設定した倍率まで自動で本機能が働き、映像が明るくなります。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ / 最大 2/30 秒 / 最大 3.75/30 秒 / 最大 7.5/30 秒 / 最大 15/30 秒

#### ご注意

- シャッタースピードを「自動」または「フリッカーレス」以外に設定しているときは、スローシャッター機能は設定できません。
- スローシャッター機能は、露光時間を通常より長くすることで実現します。このため、速く動く被写体に対しては、画像がぼやけてしまう残像現象が起こります。
- 揺れ補正を「オン」に設定しているときは、スローシャッター機能は動作しません。

### AGC

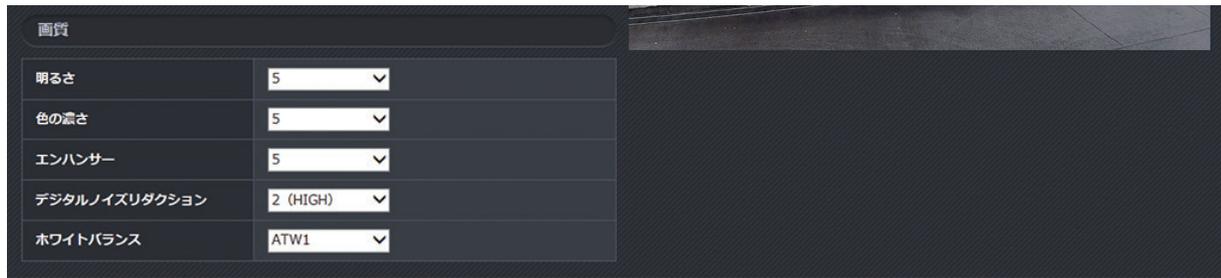
AGCゲインの上限を設定します。被写体が暗くなると、設定したレベルまで自動でゲインを調節し、映像が明るくなります。通常は「2 (HIGH)」で使用します。

夜間など、映像が暗くザラザラしたノイズが気になる場合には「1 (LOW)」に設定すると、ノイズを抑えることができます。(工場出荷時：2 (HIGH))

[選択] 1 (LOW) / 2 (HIGH)

## ● 画質

[画質調整(メニュー) → 画質・露光(タブ)] をクリックします。



### 明るさ

映像の明るさを設定します。9段階で調節できます。(工場出荷時：5)

[選択] 1 (暗い) ～ 9 (明るい)

### 色の濃さ

映像の色の濃さを設定します。9段階で調節できます。(工場出荷時：5)

[選択] 1 (薄い) ～ 9 (濃い)

### エンハンサー

被写体の輪郭を強調することができます。9段階で調節できます。(工場出荷時：5)

[選択] 1 (弱い) ～ 9 (強い)

#### メモ

- エンハンサーを強く設定すると、細かいノイズやブロックノイズが目立つことがあります。このようなときはエンハンサーを弱めに設定することで緩和されます。
- エンハンサーを強く設定すると、被写体が暗くなったときにビットレートが増大して、ネットワークへの負荷がより高くなる場合があります。

### デジタルノイズリダクション

低照度時の映像のノイズを抑えることができます。(工場出荷時：2 (HIGH))

[選択] 1 (LOW) ～ 2 (HIGH)

#### メモ

「2 (HIGH)」に設定するとデジタルノイズリダクションは強くなりますが、動く被写体に残像が目立つ場合があります。

### ホワイトバランス

ホワイトバランスを設定することができます。(工場出荷時：ATW1)

[選択]

- ATW1 : 被写体の色温度が変化したとき、ホワイトバランスを自動で調整します。
- ATW2 : 被写体の色温度が変化したとき、ホワイトバランスを自動で調整します。  
「ATW1」では自動で調整できないときに使用します。
- AWB : 被写体の色温度が変化しても固定したホワイトバランスで動作します。  
被写体の色温度が頻繁に変化し、「ATW1」や「ATW2」では画面上の色バランスの変化が気になるときに使用します。

ナトリウム灯 : 「ATW1」や「ATW2」では補正できないような黄色成分の強い光源に特化して補正します。

水銀灯 : 「ATW1」や「ATW2」では補正できないような緑色成分の強い光源に特化して補正します。

#### ご注意

- すべてのナトリウム灯、水銀灯に対応しているわけではありません。
- AWB 設定には約 25 秒かかります。その間、カメラの操作は行わないでください。
- 「水銀灯」に設定すると、水銀灯が点灯していないときは、色の強い画面になります。

## ● 補正

[画質調整(メニュー) → 画質・露光(タブ)] をクリックします。

### 揺れ補正

画像の揺れを軽減することができます。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

#### ご注意

- 揺れ補正を「オン」にすると、電子ズームが働き、画角が狭くなるために解像度が低下します。また、ポイントビュー・ズームビューがずれることがあります。
- 揺れが大きい場合は、揺れ補正を「オン」に設定しても補正できないことがあります。
- 揺れ補正により、パン・チルトの動作で画面の揺れ戻しが生じることがあります。
- 暗い場所、高周波で振動している場所、または、低コントラストの被写体を映しているときは動作しないことがあります。
- 揺れ補正を「オン」に設定しているときは、スローシャッター機能は動作しません。

### クロマサプレス

低照度撮影時の偽色を軽減することができます。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

#### ご注意

クロマサプレスを「オン」にすると、低照度撮影時の映像の色味が薄くなる場合があります。



## ● デイナイト (N-C5500、N-C5700 の場合)

[画質調整(メニュー) → 画質・露光(タブ)] をクリックします。

### モード

デイナイトのモードを設定します。(工場出荷時：自動(標準))

[選択]

- 自動(カラー優先)：周囲の明るさに応じて、カラー映像と白黒映像が自動で切り換わります。低照度環境で「自動(標準)」よりもカラー映像を維持することができます。
- 自動(標準)：周囲の明るさに応じて、カラー映像と白黒映像が自動で切り換わります。スローシャッターを有効にしたとき、「自動(カラー優先)」では、ぶれが気になる場合に設定します。
- 常にカラー：周囲の明るさに関係なく、映像はカラーになります。
- 常に白黒：周囲の明るさに関係なく、映像は白黒になります。

#### ご注意

- デイナイトの設定を変更すると、機能を有効にするために自動でポジションリフレッシュを行います。
- 「自動(標準)」に設定した場合、撮影条件によってデイナイトの切り換えを繰り返すハンチング現象が発生することがあります。その際は、「自動(カラー優先)」に変更してください。
- スローシャッターを「オフ」以外に設定しているときに、「自動(カラー優先)」に設定すると、カラー映像から白黒映像に切り換わりにくくなります。また、ぶれたような映像になることがあります。
- AGCを「1 (LOW)」に設定し、デイナイトで「自動(カラー優先)」または「自動(標準)」を設定したときは、カラー映像と白黒映像が切り換わりやすくなる場合があります。

#### メモ

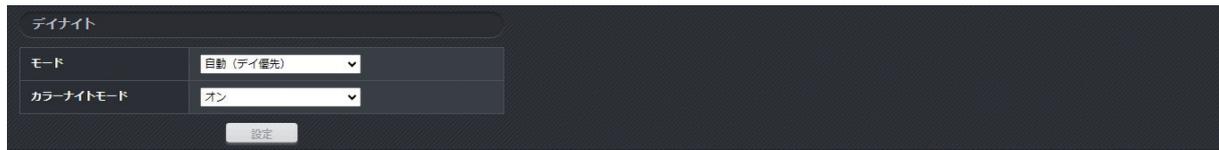
「自動(カラー優先)」または「自動(標準)」に設定した場合、被写体が暗くなるとカラー映像から白黒映像に切り換わり、被写体が明るくなると白黒映像からカラー映像に切り換わります。工場出荷時設定の場合、カラー映像と白黒映像が切り換わる照度の目安は以下のとおりです。(被写体、画角、画質の設定により変化します)

	カラー → 白黒	白黒 → カラー
自動(カラー優先)	0.03 lx	0.2 lx
自動(標準)	0.1 lx	0.7 lx



## ● デイナイト（N-C5500A、N-C5700A の場合）

[画質調整(メニュー) → 画質・露光(タブ)] をクリックします。

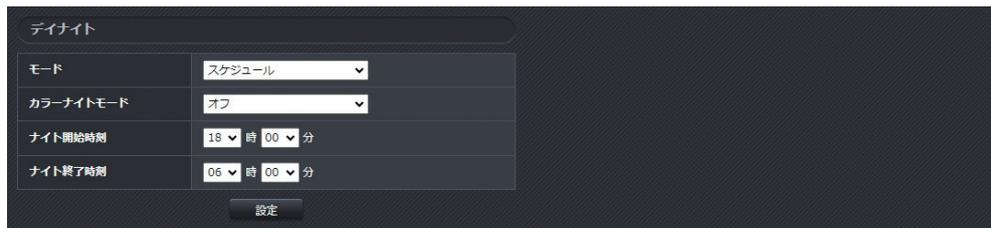


### モード

デイモードとナイトモードの切り換えの設定をします。デイモードの映像はカラー、ナイトモードの映像は白黒になります。さらに、カラーナイトモードを「オン」にすると、ナイトモードでもカラーで撮影することが可能です。(工場出荷時：自動(デイ優先))

[選択]

- 自動(デイ優先) : 周囲の明るさに応じて、デイモードとナイトモードが自動で切り換わります。低照度環境で「自動(標準)」よりもデイモードを維持することができます。
- 自動(標準) : 周囲の明るさに応じて、デイモードとナイトモードが自動で切り換わります。スローシャッターを有効にしたとき、「自動(デイ優先)」では、ぶれが気になる場合に設定します。
- 常にデイ : 周囲の明るさに関係なく、映像はカラーになります。
- 常にナイト : 周囲の明るさに関係なく、カラーナイトモードで設定した映像になります。
- スケジュール : 設定した開始時刻にナイトモードに切り換わり、終了時刻にデイモードに切り換わります。



### ご注意

- 「自動(標準)」に設定した場合、撮影条件によってデイナイトの切り換えを繰り返すハンチング現象が発生することがあります。その際は、「自動(デイ優先)」に変更してください。
- スローシャッターを「オフ」以外に設定しているときに、「自動(デイ優先)」に設定すると、デイモードからナイトモードに切り換わりにくくなります。また、ぶれたような映像になることがあります。
- AGCを「1 (LOW)」に設定し、デイナイトで「自動(デイ優先)」または「自動(標準)」を設定したときは、デイモードとカラーモードが切り換わりやすくなる場合があります。

### メモ

「自動(デイ優先)」または「自動(標準)」に設定した場合、被写体が暗くなるとデイモードからナイトモードに切り換わり、被写体が明るくなるとナイトモードからデイモードに切り換わります。

工場出荷時設定の場合、デイモードとナイトモードが切り換わる照度の目安は以下のとおりです。(被写体、画角、画質の設定により変化します)

	デイ → ナイト	ナイト → デイ
自動(デイ優先)	0.2 lx	3.9 lx
自動(標準)	0.01 lx	0.25 lx

### カラーナイトモード

ナイトモード時にカラーで撮影するか、白黒で撮影するかを設定します。赤外光を多く含むなど照明条件によっては、偽色が現れることがあります。そのような場合は、本機能を「オフ」に設定してください。(工場出荷時：オン)

[選択]

- オフ : 白黒で撮影します。
- オン : カラーで撮影します。

ナイト開始時刻(モードがスケジュールのとき)

ナイトモードの開始時刻を 15 分単位で設定します。開始時刻になるとナイトモードに切り換わります。

(工場出荷時：18 時 00 分)

[選択] 00 時 00 分 ～ 23 時 45 分

ナイト終了時刻(モードがスケジュールのとき)

ナイトモードの終了時刻を 15 分単位で設定します。終了時刻になるとデイモードに切り換わります。

(工場出荷時：6 時 00 分)

[選択] 00 時 00 分 ～ 23 時 45 分

# PTZ

## ■ 基本

ホーム動作、動作範囲について設定します。

### ● ホーム

ホーム機能について設定します。

ホーム機能とは、PTZ 操作を受けない時間が一定時間継続したとき、またはトップ画面でホームボタンをクリックしたときに行う動作を設定できる機能です。

[PTZ (メニュー) → 基本(タブ)] をクリックします。

#### ご注意

登録されていない機能をホームに設定しても動作しません。

### ホーム動作

ホーム動作を設定します。(工場出荷時：プリセット 1)

[選択] プリセット 1 / プリセット 2 / オートパン / ツアー 1 / スケジュール

[ホーム動作をスケジュールにしたとき]

日中と夜間などの 2 つの時間帯で、異なるホーム動作を設定することができます。

ホーム動作 1 で設定した時間によってホーム動作 2 の時間は自動で設定されます。たとえば、ホーム動作 1 の時間を 8 時 00 分～20 時 00 分にした場合、ホーム動作 2 の時間は 20 時 00 分～8 時 00 分になります。

### ホーム動作 1

開始時刻(工場出荷時：6 時 00 分)

[選択] 00 時 00 分～23 時 45 分

終了時刻(工場出荷時：18 時 00 分)

[選択] 00 時 00 分～23 時 45 分

動作(工場出荷時：プリセット 1)

[選択] プリセット 1 / プリセット 2 / オートパン / ツアー 1

### ホーム動作 2

ホーム動作 1 で設定した時間によって自動で設定されます。

動作((工場出荷時：プリセット 2)

[選択] プリセット 1 / プリセット 2 / オートパン / ツアー 1

### 自動復帰

PTZ 操作を受けなくなってから、ホーム動作を開始するまでの時間を設定します。

「オフ」に設定すると、自動復帰機能は動作しません。(工場出荷時：30 秒)

[選択] オフ / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 50 秒 / 60 秒 / 70 秒 / 80 秒 / 90 秒

## ● 動作範囲

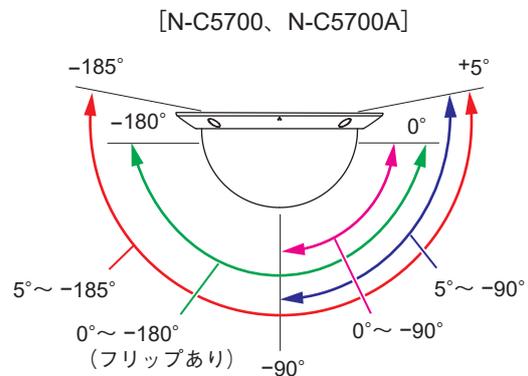
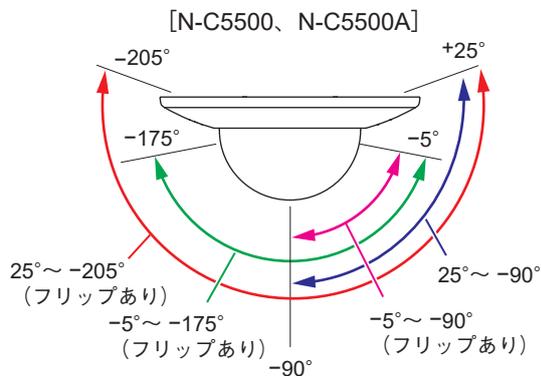
[PTZ (メニュー) → 基本(タブ)] をクリックします。



### チルト

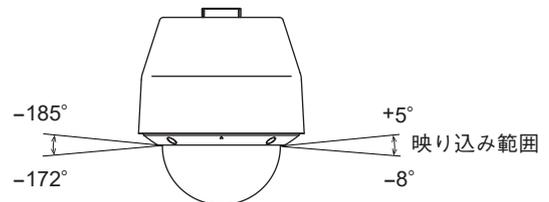
チルトの動作範囲を設定します。

- ・ N-C5500、N-C5500A のとき  
[選択]  $-5^{\circ} \sim -90^{\circ}$  /  $-5^{\circ} \sim -175^{\circ}$  (フリップあり) /  $25^{\circ} \sim -90^{\circ}$  /  $25^{\circ} \sim -205^{\circ}$  (フリップあり)
- ・ N-C5700、N-C5700A のとき  
[選択]  $0^{\circ} \sim -90^{\circ}$  /  $0^{\circ} \sim -180^{\circ}$  (フリップあり) /  $5^{\circ} \sim -90^{\circ}$  /  $5^{\circ} \sim -185^{\circ}$  (フリップあり)



### ご注意

- プライバシーマスクを1カ所でも設定していると、 $0^{\circ} \sim -90^{\circ}$  または  $-5^{\circ} \sim -90^{\circ}$  のチルト範囲に制限されます。
- チルト範囲外に設定したプリセット (ツアーも含む) やオートパンは、設定した角度に近い位置まで動作します。
- N-C5700 と N-C5700A の場合、チルト角度が  $+5^{\circ} \sim -8^{\circ}$  および  $-172^{\circ} \sim -185^{\circ}$  のときはカメラのケースが映像に黒く映り込みます。



### メモ

- チルト角度が  $-90^{\circ} \sim -205^{\circ}$  の間で操作を止めたときは、画像を自動的に反転します。(オートフリップ)
- カメラ天井埋込金具を使用したときは、画角によっては、飾り枠が映り込む場合があるため、以下の設定を使用してください。  
N-C5500、N-C5500A のとき： $-5^{\circ} \sim -90^{\circ}$  /  $-5^{\circ} \sim -175^{\circ}$  (フリップあり)  
N-C5700、N-C5700A のとき： $0^{\circ} \sim -90^{\circ}$  /  $0^{\circ} \sim -180^{\circ}$  (フリップあり)

### ズーム

ズーム範囲を設定します。電子ズームを使用することで最大 360 倍までズームアップすることが可能です。(工場出荷時：光学ズームのみ(最大 30 倍))

[選択] 光学ズームのみ(最大 30 倍) / 光学ズーム + 電子ズーム(最大 360 倍)

### ご注意

- 電子ズームの倍率が上がるほど、きめの粗い画像になります。
- 揺れ補正を「オン」に設定すると、電子ズームが最大 2 倍に制限されます。そのため、「光学ズーム + 電子ズーム」は最大 60 倍となります。

### フォーカス

フォーカス範囲を設定します。

通常は工場出荷時設定のままを使用することをお勧めします。

広角撮影時に近くの被写体にフォーカスが合うことを避けたい場合は、「広角端 / 望遠端 1.5 m 以上」に設定します。(工場出荷時：広角端 10 cm 以上、望遠端 1.5 m 以上)

[選択] 広角端 10 cm 以上、望遠端 1.5 m 以上 / 広角端 / 望遠端 1.5 m 以上

## ■ プリセット

PTZのプリセットを設定します。撮影場所やレンズの画角をあらかじめ255カ所まで登録しておくことができます。工場出荷時はプリセットは設定されていません。

[PTZ (メニュー) → プリセット (タブ)] をクリックします。

### ● プリセットを登録する



**1** 登録したいプリセットの番号 (No) をドロップダウンリストから選択する。

**2** プリセット登録したい方向、画角にカメラが向くように操作する。

**3** プリセット名を設定する。

プリセット名は最大20文字まで設定できます。(工場出荷時：空欄)

☒ ☒ 環境依存文字は設定できない場合があります。

**4** プリセット1の画質設定を行う。(必要に応じて設定する)

手順1でプリセット1を選択した場合のみ、プリセット1の画質を個別に設定することができます。

画質設定(工場出荷時：しない)

[選択] しない／する

ワイドダイナミック(工場出荷時：オフ)

・N-C5500、N-C5700 のとき

[選択] オフ／LOW／HIGH／E-WDR

・N-C5500A、N-C5700A のとき

[選択] オフ／E-WDR

画質補正(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／逆光補正／霧補正／強光補正

☒ ☒

●ワイドダイナミック、画質補正の機能の説明については、画質調整 (P. 2-32) を参照してください。

●画質設定を「する」に設定した場合は、プリセット1への移動、または、プリセット1からの移動の際に画質設定が切り換わるため、映像が一瞬明るくなったり、暗くなったりすることがあります。

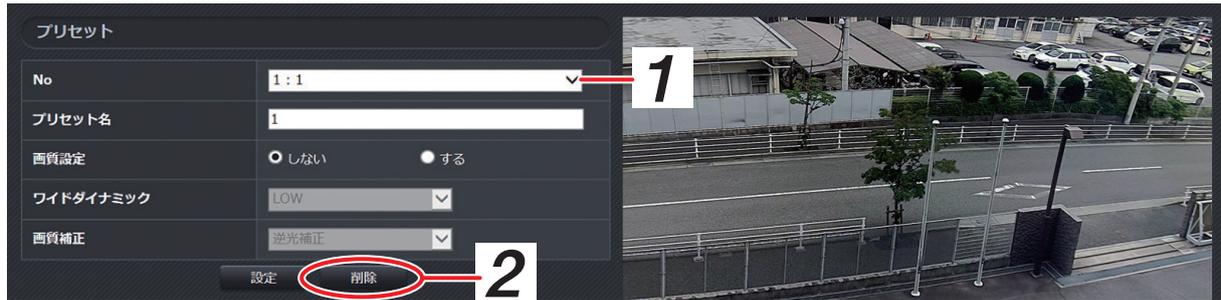
#### ご注意

N-C5500A と N-C5700A は、画質調整 (P. 2-32) でワイドダイナミックを「LOW」または「HIGH」に設定すると、プリセット1の画質設定はできません。

**5** 「設定」 ボタンをクリックする。

プリセットが登録されます。

## ● プリセットを削除する



**1** 削除したいプリセットの番号 (No) をドロップダウンリストから選択する。  
選択するとカメラが自動的に登録されている方向を向きます。

**2** 「削除」 ボタンをクリックする。  
プリセットが削除されます。  
プリセット名を登録していた場合は、プリセット名も同時に削除されます。

## ● プリセット移動オプション

プリセット機能に関する設定を行います。

### プリセット名表示

登録したプリセットを撮影しているときに、画面上にプリセット名を表示します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

メ モ

プリセット名の表示位置や色については、画面内文字表示 (P. 2-26) で変更できます。



### フォーカス

プリセット移動後のフォーカス動作について設定します。(工場出荷時：ストップ AF)

[選択]

ストップ AF : プリセット移動後に自動的にオートフォーカス動作を行います。

固定 : プリセットを登録したときのフォーカス位置に移動します。

### 回転速度 (N-C5500A、N-C5700A のみ)

プリセット移動時のパン・チルトの回転速度を設定します。(工場出荷時：最大 400°/sec)

[選択] 最大 400°/sec / 最大 300°/sec / 最大 200°/sec

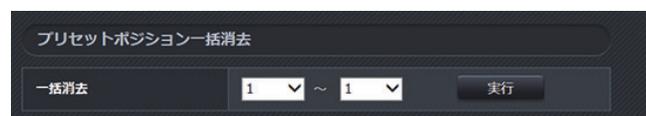
メ モ

ズームの速度は変わりません。

## ● プリセットポジション一括消去

複数のプリセットポジションをまとめて消去することができます。

手順：消去したいプリセットの番号 (No) を選択して、「実行」 ボタンをクリックする。



## ■ オートパン

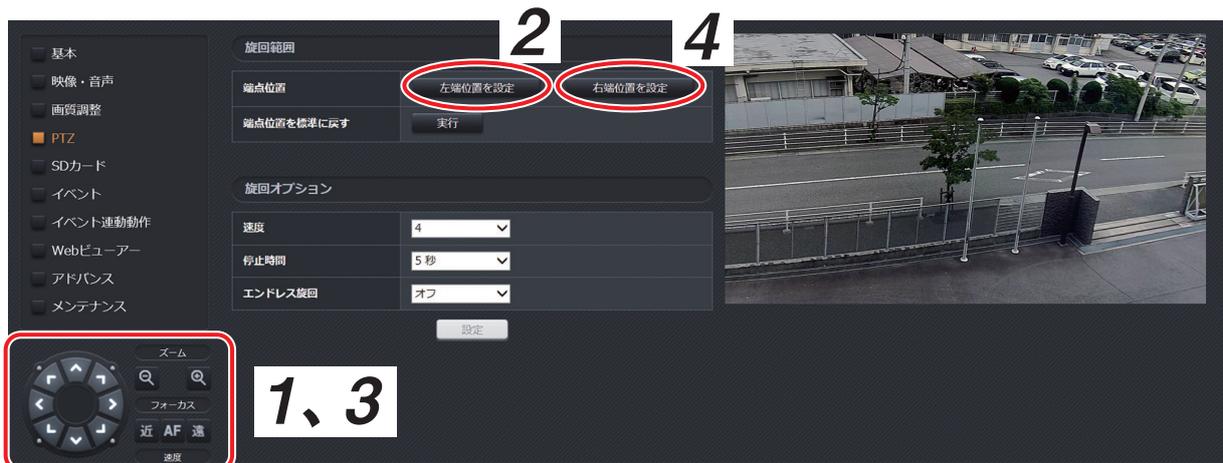
PTZのオートパンを設定します。

オートパンとは、設定された2点間を連続して水平旋回(パン)する動作です。旋回動作の左右の位置を任意に設定することができます。

[PTZ (メニュー) → オートパン(タブ)] をクリックします。

### ● オートパンの旋回範囲を設定する

**1** オートパンの旋回範囲の左端位置にカメラが向くように操作する。



**2** 「左端位置を設定」 ボタンをクリックする。

**3** オートパンの旋回範囲の右端位置にカメラが向くように操作する。

**4** 「右端位置を設定」 ボタンをクリックする。

メモ

- オートパン旋回中のチルト・ズーム・フォーカス位置は左端位置で設定した位置で固定されます。
- 左端位置、右端位置は電子ズーム領域では設定できません。
- オートパンは必ず左端位置から開始します。

### ● オートパンの旋回範囲を工場出荷時設定に戻す

手順：「端点位置を標準に戻す」の「実行」ボタンをクリックする。

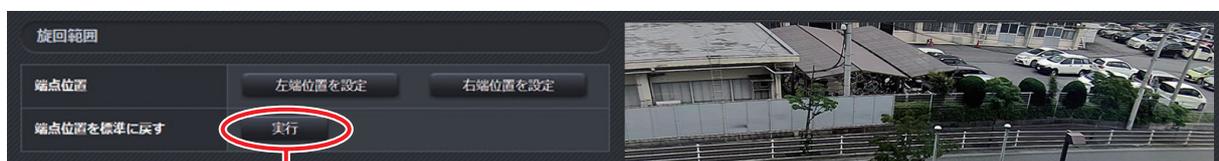
工場出荷時設定の以下の位置に設定されます。

左端パン位置：135°

右端パン位置：225°

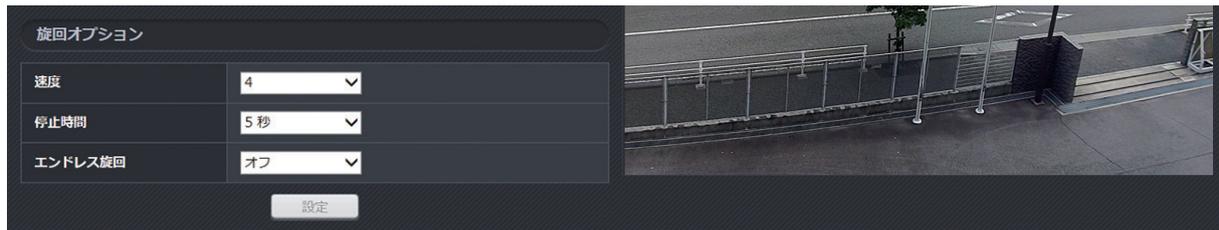
チルト位置：-45°

ズーム位置：広角端



クリックする

## ● 旋回オプション



### 速度

オートバンの旋回速度を設定します。7段階で設定できます。(工場出荷時：4)  
[選択] 1(遅い) ～ 7(速い)

### 停止時間

左端位置、右端位置で停止する時間を設定します。(工場出荷時：5秒)  
[選択] 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒 / 60秒 / 70秒 / 80秒 / 90秒

### エンドレス旋回

オートバンを360°エンドレス(一定方向で回転し続ける)で使用したいときの回転方向を設定します。(工場出荷時：オフ)  
[選択] オフ / オン(左方向) / オン(右方向)

## ■ ツアー

PTZのツアーを設定します。

あらかじめ設定した順番、停止時間でプリセット移動させることができます。

ツアーは1～4まであり、それぞれ16ステップ設定できます。

### ● ツアー1～4

[PTZ (メニュー) → ツアー (タブ)] をクリックします。

ステップ No	プリセット No	停止時間
ステップ 1	オフ	10 秒
ステップ 2	オフ	10 秒
ステップ 3	オフ	10 秒
ステップ 4	オフ	10 秒
ステップ 5	オフ	10 秒
ステップ 6	オフ	10 秒
ステップ 7	オフ	10 秒
ステップ 8	オフ	10 秒
ステップ 9	オフ	10 秒
ステップ 10	オフ	10 秒

#### ツアー名

ツアー名を設定します。

ツアー名は最大20文字まで設定できます。(工場出荷時：空欄)

#### プリセット No

各ステップ(ステップ1～16)にプリセット No をそれぞれ設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ / 1～255

× モ

未登録のプリセット No は選択肢に表示されません。

#### 停止時間

プリセット位置に移動したあとの停止時間を設定します。(工場出荷時：10秒)

[選択] 10秒 / 20秒 / 30秒 / 40秒 / 50秒 / 60秒 / 70秒 / 80秒 / 90秒

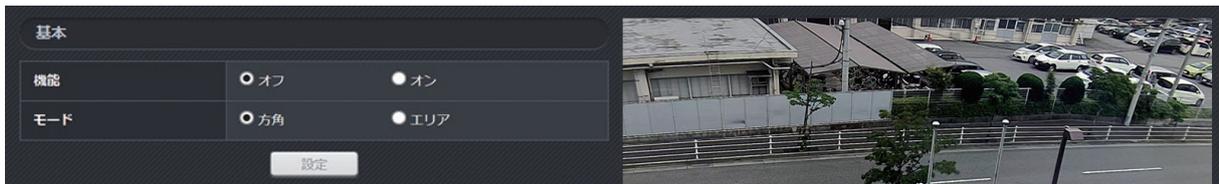
## ■ セクター

PTZのセクター機能を設定します。

セクター機能とは、パン(水平旋回)動作で、任意の角度範囲にカメラが向いたときに画面内に指定した文字を表示する機能です。方角モードとエリア指定モードがあります。

### ● 基本

[PTZ (メニュー) → セクター (タブ)] をクリックします。



### 機能

「オン」に設定するとセクター機能が有効になります。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

### モード

セクター機能のモードを設定します。(工場出荷時：方角)

[選択]

エリア：各エリアごとに左端位置と右端位置を設定し、任意のエリアを設定するモードです。

カメラの水平旋回範囲の中で、1～8 (最大8つのエリア) まで任意の数を設定できます。

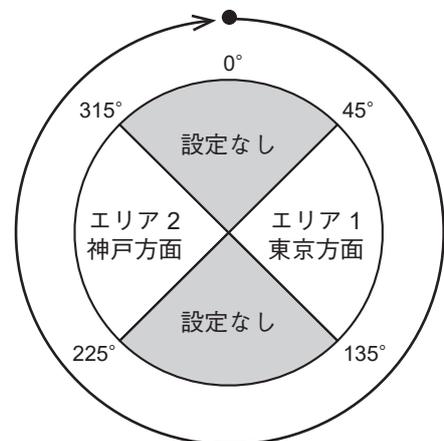
メ モ

- エリアを重ねて設定した場合は、小さい番号に設定したものが優先して表示されます。
- 設定した範囲のみ表示され、すべての方位に設定する必要はありません。

#### 設定例1：高速道路(必要なエリアのみ設定)

以下のように設定すると、右図の順で旋回し、「非表示 → 東京方面 → 非表示 → 神戸方面 → 非表示 …」と表示される映像が変化します。

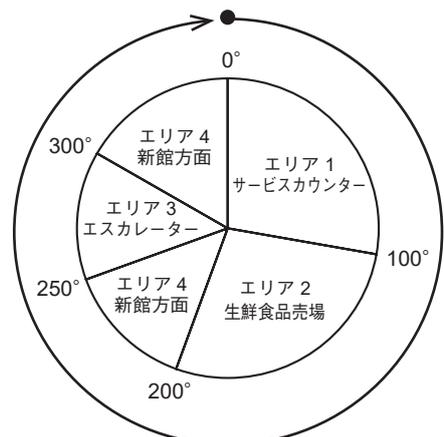
エリア	範囲	名称
エリア1	45°～135°	東京方面
エリア2	225°～315°	神戸方面
エリア3～8	設定なし	設定なし



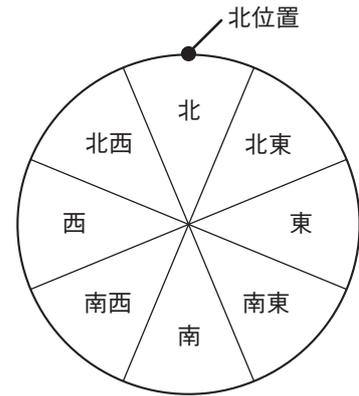
#### 設定例2：ショッピングセンター(エリアを重ねて設定)

以下のように設定すると、右図の順で旋回し、「サービスカウンター → 生鮮食品売場 → 新宿方面 → エスカレーター → 新宿方面 …」と表示される映像が変化します。

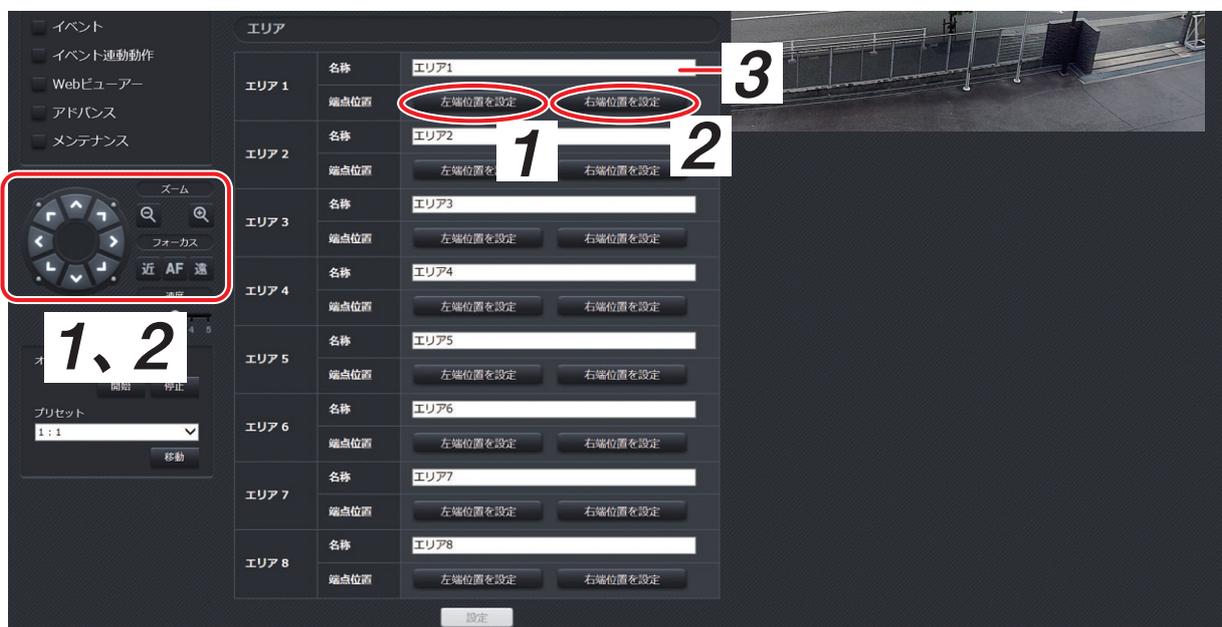
エリア	範囲	名称
エリア1	0°～100°	サービスカウンター
エリア2	100°～200°	生鮮食品売場
エリア3	250°～300°	エスカレーター
エリア4	200°～360°(0°)	新宿方面
エリア5～8	設定なし	設定なし



方向 : 北位置を設定するとその位置を北位置の中心として、右図のように自動的にその他の方位が設定されるモードです。



### ● セクターをエリアモードで設定する



**1** エリア1の左端を向くようにカメラを操作し、「左端位置を設定」ボタンをクリックする。

**2** エリア1の右端を向くようにカメラを操作し、「右端位置を設定」ボタンをクリックする。

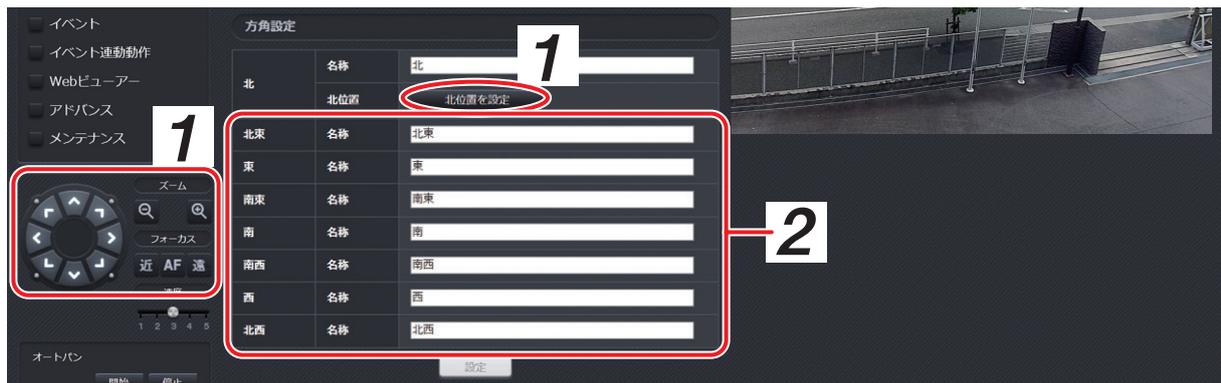
**3** エリア1に名称を設定する。  
 名称は最大20文字まで設定できます。

× モ

環境依存文字は設定できない場合があります。

**4** 同様にエリア2～エリア8までを必要に応じて設定する。

## ● セクターを方角モードで設定する



**1** 北方向にカメラを向け「北位置を設定」ボタンをクリックする。

**2** 各方角に名称を設定する。  
 名称は最大 20 文字まで設定できます。  
 工場出荷時は各方角名が設定されています。

メモ

環境依存文字は設定できない場合があります。

# SD カード

SD カード録画機能を使用するための設定を行います。

## ■ SD カード録画について

本機は SD カードへ録画することができます。

SD カードの容量がいっぱいになると古いファイルから順番に上書きします。

ただし、以下の状態になると録画を停止し、状態が元に戻ると録画を再開します。

- SD カードが故障したとき
- 録画異常が発生したとき
- ファームウェア更新中
- 録画設定変更中
- SD カードフォーマット中
- 再起動中

SD カードへの録画を開始する方法は、P. 1-16「SD カードに録画する」を参照してください。

カメラから取り出した SD カードを PC に挿入して、録画データを再生することができます。

SD カードのフォルダー構成は、P. 2-49 を参照してください。

### ご注意

- 録画中に本機の電源を切らないでください。録画データが破損するおそれがあります。  
本機の電源を切る場合は、SD カード録画停止スイッチを 5 秒以上押し続けて録画を停止するか、PC から録画を停止してから電源を切ってください。
- 録画中に停電や瞬断などで電源状態が不安定になった場合、録画データが破損するおそれがあります。
- 録画データが破損すると、録画や再生ができなくなるおそれがあります。
- SD カードを取り出す場合は、取扱説明書の「SD カードを取り出す」を参照し、録画を停止させてから取り出してください。録画中に SD カードを取り出すと、SD カード内の録画データが破損するおそれがあります。
- PC に保存した録画データは、Windows Media Player などを使用して再生することができます。  
ただし、これらのソフトウェアの動作について、弊社は一切の保証をいたしません。
- SD カードに記録できるのは、H.264 形式の映像のみです。録音することはできません。

### [SD カードについて]

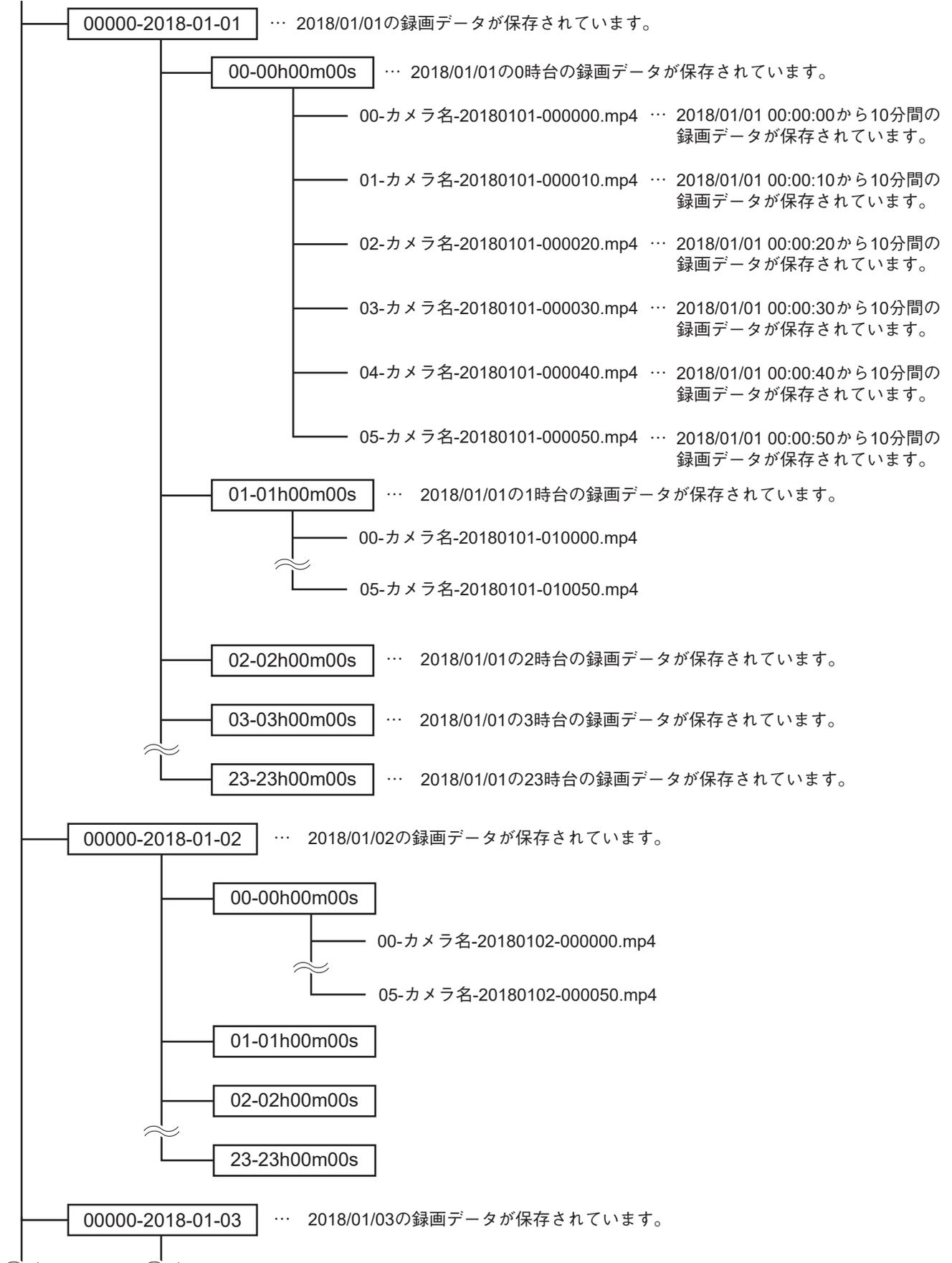
- 本機の形式にフォーマットされた最大 256 GB までの SDXC カードが使用できます。
- SD カードは、使用前に毎回フォーマットしてください。
- SD カードを本機から取り出し、再び挿入する場合は必ずフォーマットしてください。  
フォーマットせずに使用すると、録画映像の一部に欠損が発生する場合があります。
- 本機でフォーマットした SD カードは、本製品でのみ使用できます。
- 一部の SD カードは本機で使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨品の産業用 SDXC カードを使用してください。また、SD カードの書き換え回数には限りがあります。  
交換時期の目安は TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) からカメラの品番を検索し、「推奨品 SDXC カード一覧」をご確認ください。
- 万一、SD カードが故障した場合、録画したデータの復旧はできません。
- 大切な録画データは、PC にコピーし保存してください。
- SDXC™ は SD-3C、LLC の商標です。

## ● SDカードのフォルダー構成

録画データは、以下のフォルダー構成で記録されています。

拡張子が「.mp4」のファイルをダブルクリックすると、Windows Media Player などを使用して再生できます。

SDカード



## ■ 録 画

SD カード録画の設定をします。

メ モ

SD カード録画を行う前に、以下の設定をしてから SD カードの録画の設定を行ってください。

- ・ [映像・音声(メニュー) → 圧縮方式(タブ)] (P. 2-18) のストリーム 4 の圧縮方式を「H.264/AVC」、フレームレートを「15 fps」以下、映像配信モードを「画質指定」にする
- ・ [アドバンス(メニュー) → RTMP (タブ)] (P. 2-90) のストリーム 4 の配信を「チェックなし」にする

### ● 基本

[SD カード(メニュー) → 録画(タブ)] をクリックします。



#### SD カード録画

SD カード録画機能の設定をします。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

メ モ SD カード録画機能を「オン」に設定すると、ストリーム 4 の映像配信はできません。

#### 録画設定(ストリーム 4)

本項目は、SD カード録画の設定が「オン」のときに設定できます。

本項目で変更した値は、[映像・音声(メニュー) → 圧縮方式(タブ)] のストリーム 4 の設定に反映されます。

##### プロファイル

プロファイルを設定します。(工場出荷時：メインプロファイル)

[選択] ハイプロファイル／メインプロファイル／ベースラインプロファイル

##### 画像サイズ

画像サイズを設定します。設定できる画像サイズは撮影モードによって変わります。詳しくは撮影モード (P. 2-17) を参照してください。

##### 画質

画質を設定します。(工場出荷時：標準)

[選択] 最高+／最高／高／標準／中／低

##### フレームレート

1 秒間あたりに録画する画像枚数を設定します。

[選択] 15 / 10 / 7.5 / 5 / 3 / 2 / 1 (fps)

メ モ

ストリーム 4 の工場出荷時設定は 30 fps ですが、SD カード録画を行うときは 15 fps 以下になります。

##### 1 クライアントあたりのビットレート

1 クライアントあたりのビットレートを表示します。圧縮方式、画像サイズ、画質、フレームレートでビットレートが決まります。詳しくは P. 2-22 [H.264 ビットレートテーブル] を参照してください。

##### 1 フレーム挿入間隔

1 フレーム挿入間隔を設定します。(工場出荷時：1 秒)

[選択] 1 秒 / 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒

## ● 録画日数表

録画日数は参考値です。記載の録画日数を保証するものではありません。  
録画日数は、録画する映像によって変動します。

[256 GB の SD カードの場合]

単位：日

画像サイズ	画質	フレームレート						
		1 fps	2 fps	3 fps	5 fps	7.5 fps	10 fps	15 fps
1920 x 1080 (16:9)	最高+ (5)	11.5	11.0	10.0	6.5	5.0	4.0	3.0
	最高 (4)	13.5	12.5	11.5	10.0	8.0	6.5	5.0
	高 (3)	16.5	15.5	15.0	13.5	11.5	10.0	6.5
	標準 (2)	20.5	19.0	18.0	16.5	15.0	13.5	10.0
	中 (1)	27.5	25.0	23.5	20.5	18.0	16.5	13.5
	低 (0)	41.0	36.5	33.0	27.5	23.5	20.5	16.5
1280 x 960 (4:3)	最高+ (5)	12.5	11.5	11.0	9.5	7.5	6.5	5.0
	最高 (4)	18.5	16.5	15.0	12.5	11.0	9.5	6.5
	高 (3)	25.0	23.5	22.0	18.5	15.0	12.5	9.5
	標準 (2)	36.5	33.0	30.0	25.0	22.0	18.5	12.5
	中 (1)	47.0	44.0	41.0	36.5	30.0	25.0	18.5
	低 (0)	66.0	60.0	55.0	47.0	41.0	36.5	25.0
1280 x 720 (16:9)	最高+ (5)	13.5	12.5	11.5	10.0	8.0	6.5	5.0
	最高 (4)	20.5	18.0	16.5	13.5	11.5	10.0	6.5
	高 (3)	27.5	25.0	23.5	20.5	16.5	13.5	10.0
	標準 (2)	41.0	36.5	33.0	27.5	23.5	20.5	13.5
	中 (1)	55.0	50.5	47.0	41.0	33.0	27.5	20.5
	低 (0)	82.5	73.0	66.0	55.0	47.0	41.0	27.5
720 x 480 (3:2)	最高+ (5)	26.0	24.0	22.5	20.5	16.5	13.5	11.5
	最高 (4)	38.5	34.5	31.0	26.0	22.5	20.5	16.5
	高 (3)	52.5	48.5	45.5	38.5	31.0	26.0	20.5
	標準 (2)	77.5	69.0	62.5	52.5	45.5	38.5	26.0
	中 (1)	155.0	125.5	105.5	77.5	62.5	52.5	38.5
	低 (0)	155.0	155.0	155.0	155.0	105.5	77.5	52.5
640 x 480 (4:3)	最高+ (5)	26.0	24.0	22.5	20.5	16.5	13.5	11.5
	最高 (4)	38.5	34.5	31.0	26.0	22.5	20.5	16.5
	高 (3)	52.5	48.5	45.5	38.5	31.0	26.0	20.5
	標準 (2)	77.5	69.0	62.5	52.5	45.5	38.5	26.0
	中 (1)	155.0	125.5	105.5	77.5	62.5	52.5	38.5
	低 (0)	155.0	155.0	155.0	155.0	105.5	77.5	52.5
640 x 360 (16:9)	最高+ (5)	27.5	25.0	23.5	20.5	16.5	13.5	11.5
	最高 (4)	41.0	36.5	33.0	27.5	23.5	20.5	16.5
	高 (3)	55.0	50.5	47.0	41.0	33.0	27.5	20.5
	標準 (2)	82.5	73.0	66.0	55.0	47.0	41.0	27.5
	中 (1)	165.0	132.0	110.0	82.5	66.0	55.0	41.0
	低 (0)	165.0	165.0	165.0	165.0	110.0	82.5	55.0
320 x 240 (4:3)	最高+ (5)	220.0	188.5	165.0	82.5	55.0	41.0	27.5
	最高 (4)	264.0	240.0	220.0	165.0	82.5	55.0	41.0
	高 (3)	293.0	277.5	264.0	220.0	165.0	82.5	55.0
	標準 (2)	330.0	310.5	293.0	264.0	220.0	165.0	82.5
	中 (1)	330.0	310.5	293.0	293.0	264.0	220.0	165.0
	低 (0)	330.0	330.0	330.0	330.0	293.0	264.0	220.0
320 x 180 (16:9)	最高+ (5)	220.0	188.5	165.0	82.5	55.0	41.0	27.5
	最高 (4)	264.0	240.0	220.0	165.0	82.5	55.0	41.0
	高 (3)	293.0	277.5	264.0	220.0	165.0	82.5	55.0
	標準 (2)	330.0	310.5	293.0	264.0	220.0	165.0	82.5
	中 (1)	330.0	310.5	293.0	293.0	264.0	220.0	165.0
	低 (0)	330.0	330.0	330.0	330.0	293.0	264.0	220.0

[128 GB の SD カードの場合]

単位：日

画像サイズ	画質	フレームレート						
		1 fps	2 fps	3 fps	5 fps	7.5 fps	10 fps	15 fps
1920 x 1080 (16:9)	最高+ (5)	5.5	5.5	5.0	3.0	2.5	2.0	1.5
	最高 (4)	6.5	6.0	5.5	5.0	4.0	3.0	2.5
	高 (3)	8.0	7.5	7.5	6.5	5.5	5.0	3.0
	標準 (2)	10.0	9.5	9.0	8.0	7.5	6.5	5.0
	中 (1)	13.5	12.5	11.5	10.0	9.0	8.0	6.5
	低 (0)	20.5	18.0	16.5	13.5	11.5	10.0	8.0
1280 x 960 (4:3)	最高+ (5)	6.0	5.5	5.5	4.5	3.5	3.0	2.5
	最高 (4)	9.0	8.0	7.5	6.0	5.5	4.5	3.0
	高 (3)	12.5	11.5	11.0	9.0	7.5	6.0	4.5
	標準 (2)	18.0	16.5	15.0	12.5	11.0	9.0	6.0
	中 (1)	23.5	22.0	20.5	18.0	15.0	12.5	9.0
	低 (0)	33.0	30.0	27.5	23.5	20.5	18.0	12.5
1280 x 720 (16:9)	最高+ (5)	6.5	6.0	5.5	5.0	4.0	3.0	2.5
	最高 (4)	10.0	9.0	8.0	6.5	5.5	5.0	3.0
	高 (3)	13.5	12.5	11.5	10.0	8.0	6.5	5.0
	標準 (2)	20.5	18.0	16.5	13.5	11.5	10.0	6.5
	中 (1)	27.5	25.0	23.5	20.5	16.5	13.5	10.0
	低 (0)	41.0	36.5	33.0	27.5	23.5	20.5	13.5
720 x 480 (3:2)	最高+ (5)	13.0	12.0	11.0	10.0	8.0	6.5	5.5
	最高 (4)	19.0	17.0	15.5	13.0	11.0	10.0	8.0
	高 (3)	26.0	24.0	22.5	19.0	15.5	13.0	10.0
	標準 (2)	38.5	34.5	31.0	26.0	22.5	19.0	13.0
	中 (1)	77.5	62.5	52.5	38.5	31.0	26.0	19.0
	低 (0)	77.5	77.5	77.5	77.5	52.5	38.5	26.0
640 x 480 (4:3)	最高+ (5)	13.0	12.0	11.0	10.0	8.0	6.5	5.5
	最高 (4)	19.0	17.0	15.5	13.0	11.0	10.0	8.0
	高 (3)	26.0	24.0	22.5	19.0	15.5	13.0	10.0
	標準 (2)	38.5	34.5	31.0	26.0	22.5	19.0	13.0
	中 (1)	77.5	62.5	52.5	38.5	31.0	26.0	19.0
	低 (0)	77.5	77.5	77.5	77.5	52.5	38.5	26.0
640 x 360 (16:9)	最高+ (5)	13.5	12.5	11.5	10.0	8.0	6.5	5.5
	最高 (4)	20.5	18.0	16.5	13.5	11.5	10.0	8.0
	高 (3)	27.5	25.0	23.5	20.5	16.5	13.5	10.0
	標準 (2)	41.0	36.5	33.0	27.5	23.5	20.5	13.5
	中 (1)	82.5	66.0	55.0	41.0	33.0	27.5	20.5
	低 (0)	82.5	82.5	82.5	82.5	55.0	41.0	27.5
320 x 240 (4:3)	最高+ (5)	110.0	94.0	82.5	41.0	27.5	20.5	13.5
	最高 (4)	132.0	120.0	110.0	82.5	41.0	27.5	20.5
	高 (3)	146.5	138.5	132.0	110.0	82.5	41.0	27.5
	標準 (2)	165.0	155.0	146.5	132.0	110.0	82.5	41.0
	中 (1)	165.0	155.0	146.5	146.5	132.0	110.0	82.5
	低 (0)	165.0	165.0	165.0	165.0	146.5	132.0	110.0
320 x 180 (16:9)	最高+ (5)	110.0	94.0	82.5	41.0	27.5	20.5	13.5
	最高 (4)	132.0	120.0	110.0	82.5	41.0	27.5	20.5
	高 (3)	146.5	138.5	132.0	110.0	82.5	41.0	27.5
	標準 (2)	165.0	155.0	146.5	132.0	110.0	82.5	41.0
	中 (1)	165.0	155.0	146.5	146.5	132.0	110.0	82.5
	低 (0)	165.0	165.0	165.0	165.0	146.5	132.0	110.0

## ● パスワードロック

SD カードにパスワードを設定し、録画データを保護することができます。  
[SD カード(メニュー) → 録画(タブ)] をクリックします。

### ご注意

- 本機能の使用には、専用の SD カードが必要です。弊社で動作確認済みの SD カードについては、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) からカメラの品番を検索し、「推奨品 SDXC カード一覧」をご確認ください。
- SD カードに設定したパスワードを忘れた場合、SD カードにアクセスできなくなります。パスワードを忘れたことにより発生した損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- SD カードに設定されているパスワードとカメラが記憶しているパスワードが異なっている場合、録画はできません。

### メモ

パスワードの削除は SD カードパスワード解除ツールからも行うことができます。  
操作方法については [P. 4-9「SD カードパスワード解除ツール」](#) を参照してください。



### 状態

パスワードロックの状態を表示します。

- 非挿入 : SD カードは挿入されていません。
- ロック中 : SD カードにパスワードが設定されています。
- パスワード未設定 : SD カードにパスワードは設定されていません。
- パスワード不一致 : SD カードに設定されているパスワードとカメラが記憶しているパスワードが異なります。

### ご注意

パスワード不一致の場合、録画はできません。

### パスワードの設定

カメラに挿入されている SD カードにパスワードを設定します。工場出荷時は設定されていません。

[入力] 15 文字まで

### メモ

パスワードロックに対応していない SD カードの場合、パスワードを設定できません。

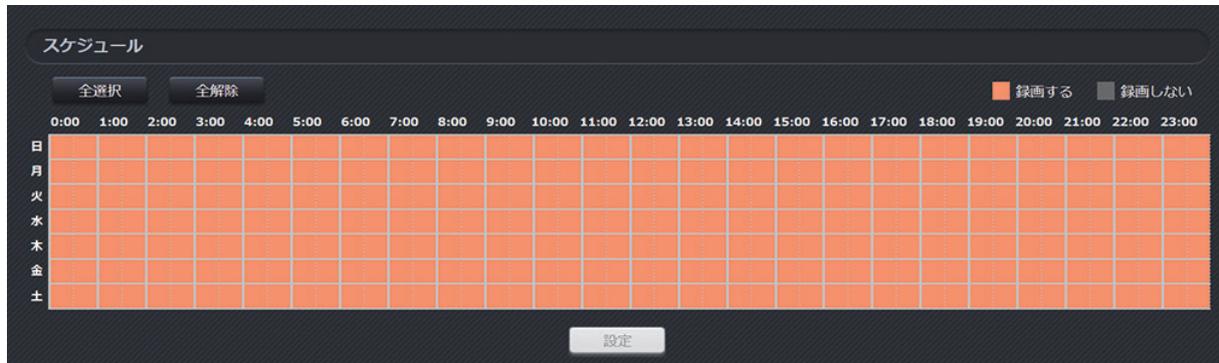
### パスワードの削除

カメラに挿入されている SD カードのパスワードを削除します。

## ● スケジュール

SD カード録画を行う時間帯を設定します。曜日ごとに 30 分単位で設定できます。(工場出荷時：すべて録画する)

[SD カード(メニュー) → 録画(タブ)] をクリックします。



曜日、時間で設定する場合は、時間帯をマウスでドラッグすると、色が変わります(録画する時間帯：オレンジ色、録画しない時間帯：グレー色)。

全選択：クリックすると、すべての時間が選択されます。

全解除：クリックすると、すべての時間の選択が解除されます。

### メモ

- スケジュール録画中に TOP 画面から録画を停止した場合は、一時的に録画は停止しますが、次の 00 分、30 分に有効な録画スケジュールがある場合、自動的に録画を再開します。  
たとえば、24 時間終日録画する設定の場合に、12 時 15 分に TOP 画面から録画を停止した場合、12 時 30 分に自動的に録画を再開します。
- スケジュール録画中にカメラの SD カード録画停止スイッチまたは [SD カード (メニュー) → メンテナンス (タブ)] (P. 2-55) のメンテナンスの録画停止の「実行」ボタンで録画を停止した場合は、スケジュール設定にかかわらず、録画は再開しません。

## ■ メンテナンス

SD カードの容量の表示や、録画の開始、停止、フォーマットを行います。

### ● メンテナンス

[SD カード(メニュー) → メンテナンス(タブ)] をクリックします。



#### 総容量

カメラに挿入されている SD カードの総容量を表示します。

#### 残容量

カメラに挿入されている SD カードの残容量を表示します。

#### 録画開始

SD カード録画の設定が「オン」のとき、録画を手動で開始します。

メモ

録画中は、ボタンが無効となります。

#### 録画停止

SD カード録画の設定が「オン」のとき、録画を手動で停止します。

#### ご注意

SD カードをカメラから取り出す前に、このボタンをクリックして録画を停止してください。

#### フォーマット

SD カードのフォーマットを行います。

#### ご注意

フォーマット中は絶対にカメラの電源を切ったり、SD カードを取り出したりしないでください。SD カードが故障する原因となります。

# イベント

## ■ 接点入力

接点入力、リモート接点入力の設定をします。

### ● 接点入力

[イベント(メニュー) → 接点入力(タブ)] をクリックします。

接点入力		端子名	接点入力1
接点入力 1	オン状態の名称		オン
	オフ状態の名称		オフ
	動作モード		<input checked="" type="radio"/> 短絡 (NO) <input type="radio"/> 開放 (NC)
接点入力 2	端子名		接点入力2
	オン状態の名称		オン
	オフ状態の名称		オフ
接点入力 3	端子名		接点入力3
	オン状態の名称		オン
	オフ状態の名称		オフ
	動作モード		<input checked="" type="radio"/> 短絡 (NO) <input type="radio"/> 開放 (NC)

### 接点入力 1 ～ 3

#### 端子名

接点入力端子の名称を設定します。(工場出荷時：接点入力 N (N：1～3))

[入力] 8文字まで

#### オン状態の名称

接点入力が入オン状態のときの名称を設定します。(工場出荷時：オン)

[入力] 5文字まで

#### オフ状態の名称

接点入力が入オフ状態のときの名称を設定します。(工場出荷時：オフ)

[入力] 5文字まで

#### 動作モード

接点入力の動作モードを設定します。(工場出荷時：短絡(NO))

[選択]

短絡(NO)：接点入力とCOMが短絡(クローズ)するとオン状態になります。(オフ状態のときはオープン)

開放(NC)：接点入力とCOMが開放(オープン)するとオン状態になります。(オフ状態のときはクローズ)

メモ

- 接点入力信号を検知する最小パルス幅は 50 ms です。
- 検知後の 1 秒間は非検知期間です。

## ● リモート接点入力

リモート接点入力とは、ネットワーク経由で仮想的にイベントを発生することができる機能です。  
[イベント(メニュー) → 接点入力(タブ)] をクリックします。

リモート接点入力	端子名	オン状態の名称	オフ状態の名称
リモート接点サーバーポート	5000		
リモート接点入力 1	リモート接点1	オン	オフ
リモート接点入力 2	リモート接点2	オン	オフ
リモート接点入力 3	リモート接点3	オン	オフ
リモート接点入力 4	リモート接点4	オン	オフ
リモート接点入力 5	リモート接点5	オン	オフ
リモート接点入力 6	リモート接点6	オン	オフ
リモート接点入力 7	リモート接点7	オン	オフ
リモート接点入力 8	リモート接点8	オン	オフ
リモート接点入力 9	リモート接点9	オン	オフ
リモート接点入力 10	リモート接点10	オン	オフ
リモート接点入力 11	リモート接点11	オン	オフ
リモート接点入力 12	リモート接点12	オン	オフ
リモート接点入力 13	リモート接点13	オン	オフ
リモート接点入力 14	リモート接点14	オン	オフ
リモート接点入力 15	リモート接点15	オン	オフ
リモート接点入力 16	リモート接点16	オン	オフ

### リモート接点サーバーポート

対応機器とネットワーク経由で接点による連動を行うときに設定します。(工場出荷時：5000)

[入力] 5000、1025 ~ 65535

### リモート接点入力 1 ~ 16

#### 端子名

リモート接点入力の端子名を設定します。(工場出荷時：リモート接点 N\*)

[入力] 8文字まで

\* N はリモート接点入力の番号

#### オン状態の名称

リモート接点入力のオン状態の名称を設定します。(工場出荷時：オン)

[入力] 5文字まで

#### オフ状態の名称

リモート接点入力のオフ状態の名称を設定します。(工場出荷時：オフ)

[入力] 5文字まで

## ■ モーションディテクト

モーションディテクトの設定をします。エリアは3カ所設定できます。検知したときは、TOP画面でイベント発生通知アイコンが点滅します。数秒後に点灯に変わり、クリックするまで表示されます。

### ご注意

- 本機能は、盗難、火災などを防止するための確実な動作を保証するものではありません。万一発生した事故や損害に関しては、一切責任を負いかねます。
- 本機能の設定を変更すると、すべての映像配信が一度停止します。

### メ モ

- モーションディテクトの機能はポジション1のみ設定できます。
- モーションディテクトの機能を使用するときは、いたずら検知の機能 (P.2-61) を「オフ」に設定してください。
- プライバシーマスクを設定している領域もモーションディテクトを検知します。
- スローシャッターを「オフ」以外に設定すると、検知が遅くなります。

## ● 基本

[イベント(メニュー) → モーション(タブ)] をクリックします。



### 機能

モーションディテクトの機能を使用するときは「オン」に設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

### 検知物体のサイズ

動きを検出したい物体のサイズを設定します。(工場出荷時：中)

[入力] 大／中／小

### 検知感度

モーションディテクトの反応感度を設定します。(工場出荷時：標準)

[入力] 高／標準／低

### ご注意

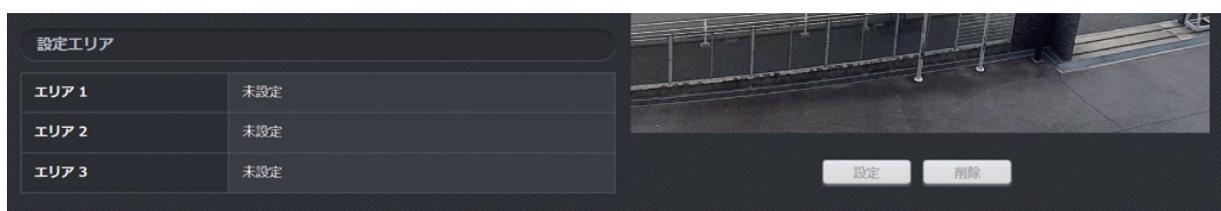
モーションディテクト機能を使用すると、カメラの動作状況によっては、音声が届かない場合があります。

### メ モ

- 「高」に設定すると、少しの動きでも反応しますが、誤報が増えることがあります。
- 「低」に設定すると、誤報は少なくなりますが、動きに反応しないことがあります。

## ● 設定エリア

[イベント(メニュー) → モーション(タブ)] をクリックします。



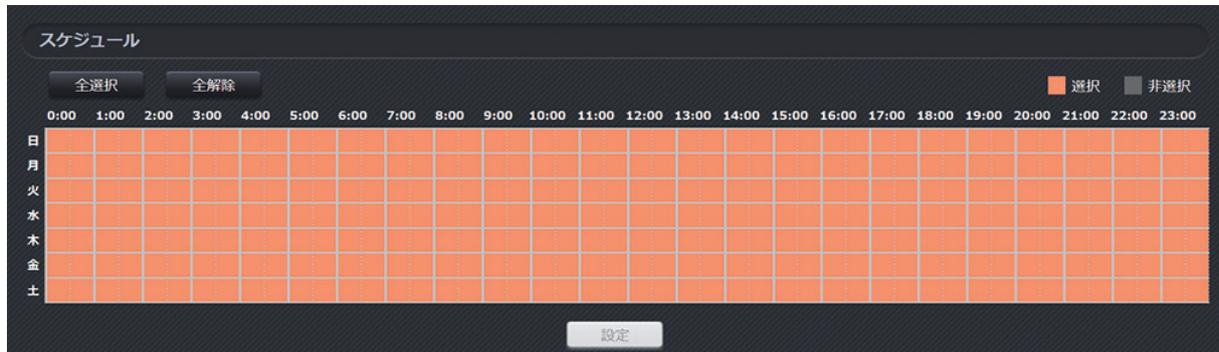
### エリア1～3

エリアが設定されていないときは「未設定」、エリアが設定されているときは「設定済み」と表示されます。

## ● スケジュール

モーションディテクトの検知を行う時間帯を設定します。曜日ごとに30分単位で設定できます。(工場出荷時：すべて選択)

[イベント(メニュー) → モーション(タブ)] をクリックします。



曜日、時間で設定するときは、時間帯をマウスでドラッグすると、色が変わります(検知する時間帯：オレンジ色、検知しない時間帯：グレー色)。

全選択：クリックすると、すべての時間が選択されます。

全解除：クリックすると、すべての時間の選択が解除されます。

## ● モーションディテクトのエリアを設定する

- 1 ライブ映像上をドラッグして、検知したいエリアを選択する。  
選択したエリアは白枠で表示されます。

メモ

エリアがすでに3カ所設定されている場合は選択できません。

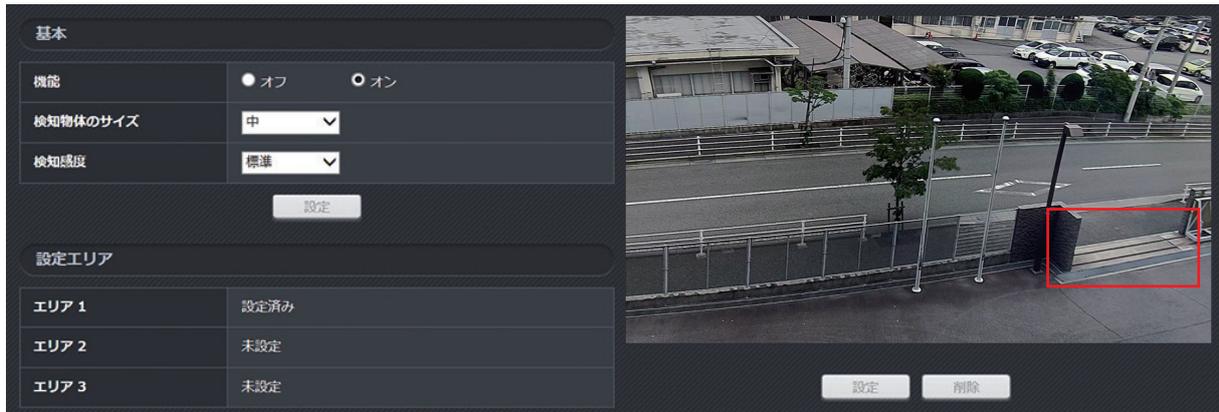


- 2 「設定」 ボタンをクリックする。

エリアが設定されます。

エリアを3カ所設定しているときは、それぞれ赤色、青色、黄色の枠で表示されます。

以下の画面は1カ所設定したときの表示です。



× モ

モーションを検知すると、エリア設定した枠と連動して、TOP画面にイベント発生通知アイコン(P. 1-9)が表示されます。モーションディテクトの画面では、エリアの色に対応した赤色、青色、黄色の3種類のアイコンで表示されます。



## ● モーションディテクトのエリアを削除する

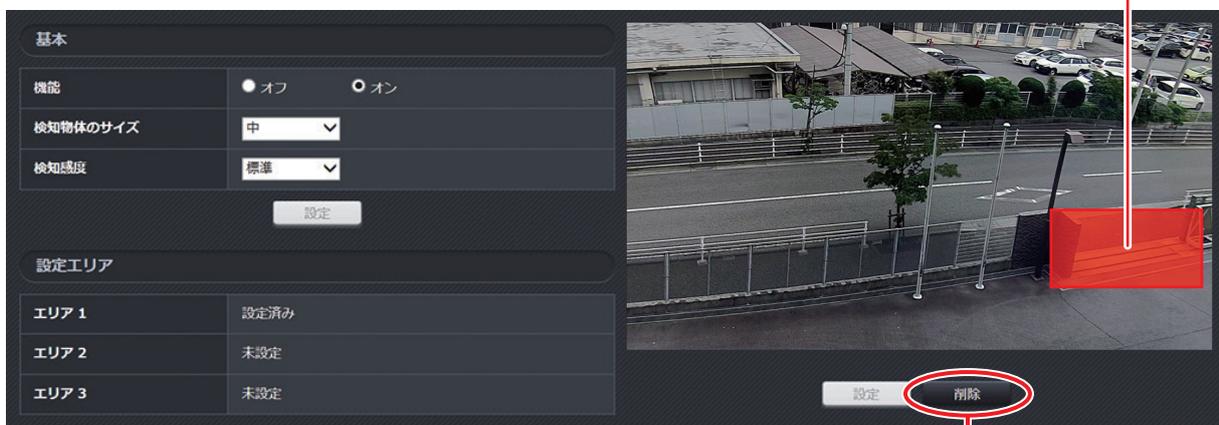
### 1 ライブ映像上の削除したいエリアをクリックする。

選択したエリアは枠の色と同じ色で塗りつぶされ、強調表示されます。

× モ

複数のエリアが重なっているときは、いずれか1つのエリアが選択されて強調表示されます。

### 1 削除したいエリアをクリックする



### 2 クリックする

### 2 「削除」ボタンをクリックする。

エリアが削除されます。

## ■ いたずら検知

監視の妨害を検知する機能です。

カメラの向きを変えられたり覆われるなどして、映像全体に変化が生じるようないたずらを検知します。

検知したときは、TOP画面でイベント発生通知アイコンが点滅します。数秒後に点灯に変わり、クリックするまで表示されます。

### ■ ご注意

- 本機能は、急激な照明の変化にも反応します。
- 本機能は、ケーブルの切断などの妨害は検知することができません。
- 本機能は、盗難、火災などを防止するための確実な動作を保証するものではありません。万一発生した事故や損害に関しては、一切責任を負いかねます。

### ■ メモ

- いたずら検知の機能はポジション1のみ設定できます。
- いたずら検知の機能を使用するときは、モーションディテクトの機能 (P. 2-58) を「オフ」にしてください。

## ● 基本

[イベント(メニュー) → いたずら検知(タブ)] をクリックします。



### 機能

監視の妨害を検知する機能です。「オン」を設定するといたずら検知が有効になります。(工場出荷時: オフ)

[選択] オフ/オン

### ■ ご注意

- いたずら検知機能を使用すると、カメラの動作状況によっては、音声が届かない場合があります。
- 本設定は、カメラの再起動後に反映されます。

## ● スケジュール

いたずら検知を行う時間帯を設定します。曜日ごとに30分単位で設定できます。(工場出荷時: すべて選択)

[イベント(メニュー) → いたずら検知(タブ)] をクリックします。



曜日、時間で設定する場合は、時間帯をマウスでドラッグすると、色が変わります(検知する時間帯: オレンジ色、検知しない時間帯: グレー色)。

全選択: クリックすると、すべての時間が選択されます。

全解除: クリックすると、すべての時間の選択が解除されます。

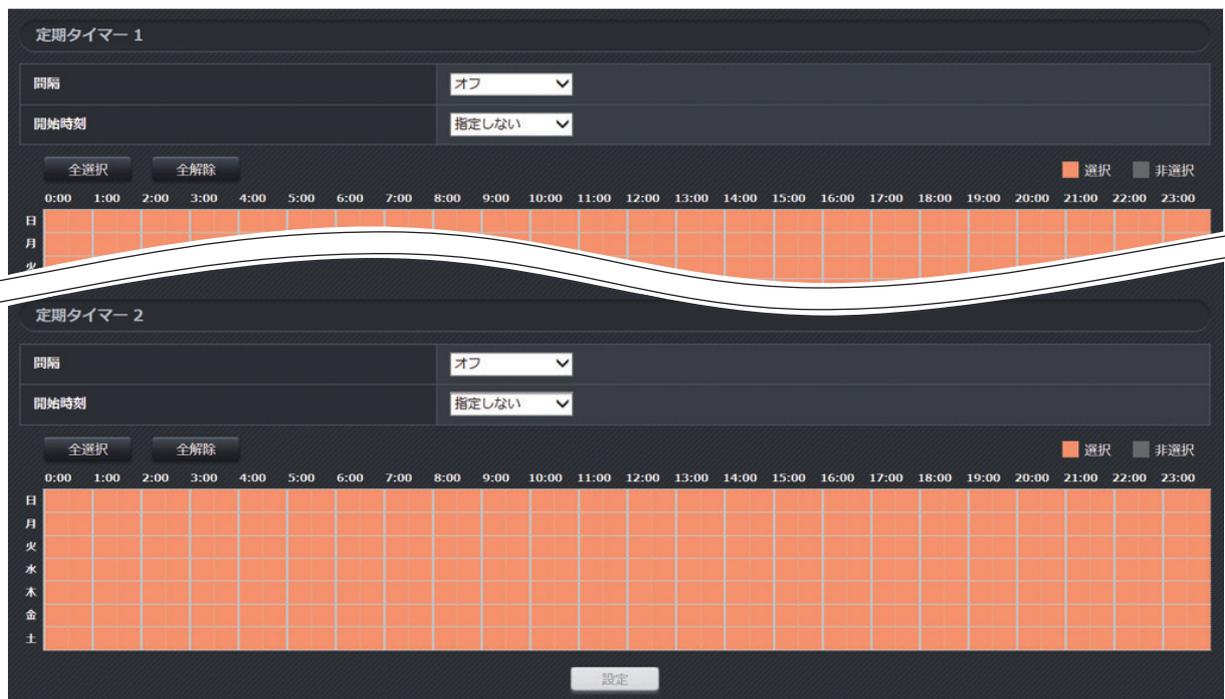
## ■ タイマー

定期タイマー、ウィークリータイマーの設定をします。

定期的にイベント連動動作を実行する定期タイマーと、曜日と時刻を指定してイベント連動動作を実行するウィークリータイマーがあります。

### ● 定期タイマー 1、2

[イベント(メニュー) → タイマー (タブ)] をクリックします。



#### 間隔

定期タイマーの間隔を設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ / 1秒 / 2秒 / 3秒 / 5秒 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 2分 / 3分 / 4分 / 5分 / 10分 / 30分 / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間 / 6時間 / 8時間 / 12時間 / 24時間

メモ

- TRIFORA Web サービスと組み合わせて使用する場合は、間隔を5秒以上に設定してください。
- イベント連動動作のメールと組み合わせることができるのは、「定期タイマー1」または「定期タイマー2」のどちらか1つです。
- イベント連動動作のメールと組み合わせて使用する場合は、間隔を1時間以上に設定してください。

#### 開始時刻

定期タイマーの開始時刻を設定します。(工場出荷時：指定しない)

[選択]

- 指定しない : 「設定」ボタンをクリックした時刻から間隔のカウントを開始します。  
たとえば、間隔の設定が1時間で現在時刻10:30に「設定」ボタンをクリックしたとき、次回タイマーイベントは11:30に発生します。(スケジュールで11:30が有効なとき)
- 0:00 ~ 23:00 (1時間間隔) : 設定した時刻から間隔のカウントを開始します。たとえば、間隔が1時間、開始時刻が10:00のとき、次回タイマーは11:00に発生します。スケジュールで11:00が有効なとき)

## スケジュール

定期タイマーイベントを行う時間帯を設定します。曜日ごとに30分単位で設定できます。(工場出荷時：すべて選択)

曜日、時間で設定する場合は、時間帯をマウスでドラッグすると、色が変わります(イベントが発生する時間帯：オレンジ色、イベントが発生しない時間帯：グレー色)。

全選択：クリックすると、すべての時間が選択されます。

全解除：クリックすると、すべての時間の選択が解除されます。

## ● ウィークリータイマー 1、2

[イベント(メニュー) → タイマー (タブ)] をクリックします。

### ウィークリータイマー 1、2

#### 曜日

イベント連動動作を実行する曜日を設定します。(工場出荷時：すべて未選択)  
曜日は複数選択できます。

[選択] 日/月/火/水/木/金/土

全選択：クリックすると、すべての曜日が選択されます。

全解除：クリックすると、すべての曜日の選択が解除されます。

#### 時刻

イベント連動動作を実行する時刻を設定します。(工場出荷時：00時00分)  
1分単位で設定できます。

[選択] 00時00分～23時59分

# イベント連動動作

## ■ 接点出力

イベントに連動して接点出力を行うための設定をします。

### ● 接点出力

[イベント連動動作(メニュー) → 接点出力(タブ)] をクリックします。

### 接点出力

#### 端子名

接点出力端子の名称を設定します。(工場出荷時：接点出力)

[入力] 8文字まで

#### オン状態の名称

接点出力がオン状態のときの名称を設定します。(工場出荷時：オン)

[入力] 5文字まで

#### オフ状態の名称

接点出力がオフ状態のときの名称を設定します。(工場出荷時：オフ)

[入力] 5文字まで

#### 動作モード

接点出力の動作モードを設定します。(工場出荷時：短絡(NO))

[選択]

短絡(NO)：オン状態のときに接点出力を短絡(クローズ)します。(オフ状態のときはオープン)

開放(NC)：オン状態のときに接点出力を開放(オープン)します。(オフ状態のときはクローズ)

#### 出力形式

接点出力の出力形式を設定します。(工場出荷時：ラッチ)

[選択]

ラッチ：以下の操作やイベントが発生するまでの間、オン状態を継続します。

- ・TOP画面などから接点出力をオフにする
- ・連動させた接点入力が入力になる
- ・連動させたリモート接点入力が入力になる

パルス：設定した時間だけ、オン状態を継続します。

以下の操作やイベントが発生しても設定した時間が経過するまでオン状態を継続します。

- ・TOP画面などから接点出力をオフにする
- ・連動させた接点入力が入力になる
- ・連動させたリモート接点入力が入力になる

メモ

連動設定に「モーションディテクト」、「いたずら検知」を設定するときは、「パルス」にすることをお勧めします。

## パルス保持時間

出力形式が「パルス」に設定されているとき、パルスの時間を設定します。(工場出荷時：1秒)

[選択] 1秒 / 2秒 / 3秒 / 5秒 / 10秒 / 15秒 / 20秒 / 30秒 / 60秒

## ● 連動設定

イベント発生時に連動して接点出力を行う場合に設定します。

[イベント連動動作(メニュー) → 接点出力(タブ)] をクリックします。

連動設定		通知先
接点入力	1	<input type="checkbox"/>
	2	<input type="checkbox"/>
	3	<input type="checkbox"/>
リモート接点入力	1	<input type="checkbox"/>
	2	<input type="checkbox"/>
	3	<input type="checkbox"/>
	4	<input type="checkbox"/>
	5	<input type="checkbox"/>
	6	<input type="checkbox"/>
	7	<input type="checkbox"/>
	8	<input type="checkbox"/>
エリア検知	エリア2	<input type="checkbox"/>
	エリア3	<input type="checkbox"/>
いたずら検知		<input type="checkbox"/>
定期タイマー	1	<input type="checkbox"/>
	2	<input type="checkbox"/>
ウィークリータイマー	1	連動しない ▼
	2	連動しない ▼
SDカード異常		<input type="checkbox"/>
オーバーヒート		<input type="checkbox"/>

設定

## 通知

チェックボックスにチェックを入れると、以下のイベントが発生したときに連動して接点出力を「オン」にします。(工場出荷時：チェックなし)

## [選択できるイベント]

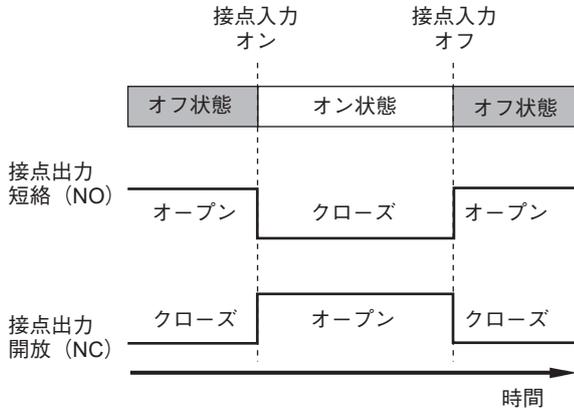
- ・接点入力 1～3
- ・リモート接点入力 1～16
- ・モーションディテクト(エリア 1～3)
- ・いたずら検知
- ・定期タイマー 1、2
- ・ウィークリータイマー 1、2
- ・SDカード異常
- ・オーバーヒート

[接点出力の補足図]

例：接点入力と連動して接点出力を行うとき

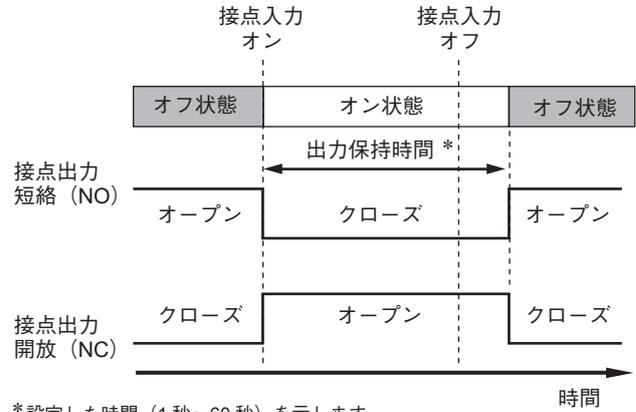
[ラッチ]

接点出力が接点入力のオンとオフに連動します。



[パルス]

接点出力が接点入力のオンに連動します。  
オフには連動しません。



\* 設定した時間 (1 秒~60 秒) を示します。

## ■ FTP

イベントに連動して指定したFTPサーバーに画像ファイルを送信するための設定をします。

### ● サーバー

[イベント連動動作(メニュー) → FTP (タブ)] をクリックします。

サーバー	
アドレス	<input type="text"/>
ポート	<input type="text" value="21"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
モード	<input type="radio"/> パッシブ <input checked="" type="radio"/> アクティブ
ディレクトリ名	<input type="text"/>
ファイル名	<input type="radio"/> タイムスタンプ <input type="radio"/> カウンタ <input type="radio"/> 固定
<input type="button" value="設定"/>	

#### アドレス

FTPサーバーのアドレスを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 256文字まで

#### ポート

FTPサーバーの制御ポートを設定します。(工場出荷時：21)

[入力] 1～65535

#### ユーザー名

FTPサーバーのユーザー名を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 31文字まで

メモ

- 記号「[」と「¥」はユーザー名に使用できません。
- 以下の記号をユーザー名に使用する場合、直前に「¥」をつける必要があります。  
&'()|`<>;  
たとえば、ユーザー名が「us&er」の場合、「us¥&er」となります。

#### パスワード

FTPサーバーのパスワードを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 31文字まで

メモ

- 記号「[」と「¥」はパスワードに使用できません。
- 以下の記号をパスワードに使用する場合、直前に「¥」をつける必要があります。  
&'()|`<>;  
たとえば、パスワードが「pa&ss」の場合、「pa¥&ss」となります。

#### モード

FTPサーバーのモードを設定します。(工場出荷時：パッシブ)

[選択] パッシブ/アクティブ

### ディレクトリ名

画像ファイルを送信する FTP サーバーのディレクトリを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 31 文字まで

メ モ

- 記号 "[ ]" はディレクトリ名に使用できません。
- "[ ]" の記号をディレクトリ名に使用する場合、直前に "[¥]" をつける必要があります。  
たとえば、ディレクトリ名が「di`r」の場合、「di¥r」となります。

### ファイル名

FTP サーバーに保存するファイル名を設定します。(工場出荷時：タイムスタンプ)

[選択]

タイムスタンプ : ファイル名「TRIFORA\_YYYYMMDD\_HHMMSS.jpg」で保存します。

(例)

カメラの日時が 2018 年 1 月 2 日 3 時 4 分 5 秒のとき

TRIFORA\_20180102\_030405.jpg

カウンタ : ファイル名「TRIFORA\_NNNNN.jpg」で保存します。

NNNNN は、00000 から始まり 99999 までの数字が入ります。99999 までカウントアップしたあとは 00000 に戻ります。

固定 : ファイル名は常に「TRIFORA.jpg」で上書き保存します。

## ● 連続送信

「接点入力」、「リモート接点入力」のイベント発生時に連動して、FTP サーバーへ画像ファイルの連続送信を行う場合に設定します。

[イベント連動動作(メニュー) → FTP (タブ)] をクリックします。



### 連続送信

FTP サーバーへのファイル連続送信機能を設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択]

オフ : 連動設定で選択したイベントが発生したときのみファイル送信を行います。

オン : 連動設定で選択した接点入力やリモート接点入力「オン」になったときに画像ファイルの送信を開始し、「オフ」になったときに画像ファイルの送信を停止します。

メ モ

- 連続送信のフレームレートは 1 fps です。
- 連続送信が「オン」のとき、「接点入力」、「リモート接点入力」以外のイベントとの連動はできません。

## ● 連動設定

イベント発生時に連動してFTPサーバーへ画像ファイルの送信を行うときに設定します。  
[イベント連動動作(メニュー) → FTP (タブ)] をクリックします。

メモ

イベントが短時間に連続して発生した場合、画像ファイルは間引いて送信されることがあります。

[連続送信が「オフ」のとき]

### 接点入力 1～3

#### 通知

接点入力との連動を設定します。(工場出荷時：連動しない)

[選択]

連動しない：接点入力が「オン」になってもFTPサーバーへ画像ファイルを送信しません。

オンのとき：「オン」になったときにFTPサーバーへ画像ファイルを送信します。

オフのとき：「オフ」になったときにFTPサーバーへ画像ファイルを送信します。

両方：「オン」または「オフ」になったときに、FTPサーバーへ画像ファイルを送信します。

### リモート接点入力 1～16

#### 通知

リモート接点入力との連動を設定します。(工場出荷時：連動しない)

[選択]

連動しない：リモート接点入力が「オン」になってもFTPサーバーへ画像ファイルを送信しません。

オンのとき：「オン」になったときにFTPサーバーへ画像ファイルを送信します。

オフのとき：「オフ」になったときにFTPサーバーへ画像ファイルを送信します。

両方：「オン」または「オフ」になったときに、FTPサーバーへ画像ファイルを送信します。

### モーションディテクト(エリア1～3)

#### 通知

チェックボックスにチェックを入れると、イベントが発生したときに連動してFTPサーバーへ画像ファイルの送信を行います。(工場出荷時：チェックなし)

### いたずら検知

#### 通知

チェックボックスにチェックを入れると、イベントが発生したときに連動してFTPサーバーへ画像ファイルの送信を行います。(工場出荷時：チェックなし)

### 定期タイマー

#### 通知

定期タイマーとの連動を設定します。(工場出荷時：オフ)

選択した定期タイマーのイベントが発生したときにFTPサーバーへ画像ファイルを送信します。

[選択] オフ／定期タイマー1／定期タイマー2

### ウィークリータイマー1、2

#### 通知

ウィークリータイマーとの連動を設定します。(工場出荷時：オフ)

選択したウィークリータイマーのイベントが発生したときにFTPサーバーへ画像ファイルを送信します。

### SDカード異常

#### 通知

チェックボックスにチェックを入れると、SDカードへの録画を継続できない異常が発生したときに、FTPサーバーへ画像ファイルの送信を行います。(工場出荷時：チェックなし)

### オーバーヒート

#### 通知

チェックボックスにチェックを入れると、カメラの周囲温度が上昇したときにFTPサーバーへ画像ファイルの送信を行います。

[連続送信が「オン」のとき]

連動設定		通知
接点入力	1	<input type="checkbox"/>
	2	<input type="checkbox"/>
	3	<input type="checkbox"/>
リモート接点入力	1	<input type="checkbox"/>
	2	<input type="checkbox"/>
	3	<input type="checkbox"/>
	4	<input type="checkbox"/>
	5	<input type="checkbox"/>
	6	<input type="checkbox"/>
モーションディテクト	エリア 1	-
	エリア 2	-
	エリア 3	-
いたずら検知		-
定期タイマー		-
ウィークリータイマー	1	-
	2	-
SDカード異常		-
オーバーヒート		-

設定

接点入力 1～3、リモート接点入力 1～16

**通知**

チェックボックスにチェックを入れると、接点入力やリモート接点入力が「オン」になったときに画像ファイルの送信を開始し、「オフ」になったときに画像ファイルの送信を停止します。(工場出荷時：チェックなし)

**メモ**

連続送信が「オン」のときは、「接点入力」、「リモート接点入力」以外のイベントとの連動はできません。

## ■ メール

イベントに連動して指定したメールアドレスにメールを送信するための設定をします。送信先のメールアドレスは4つまで設定することができます。

### ● サーバー

[イベント連動動作(メニュー) → メール(タブ)] をクリックします。

#### 認証

メールサーバー (SMTP)の認証について設定します。使用するメールサーバーに応じて設定してください。(工場出荷時：認証あり)

[選択]

認証なし：使用するメールサーバーに認証設定がされていない場合に選択します。

認証あり：使用する認証方式を設定します。使用するメールサーバーに応じて設定してください。(工場出荷時：自動)

[選択] 自動 / CRAM-MD5 / LOGIN / PLAIN

#### アドレス

メールサーバー (SMTP)のアドレスを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 2～62文字

#### ポート

メールサーバー (SMTP)のポート番号を設定します。(工場出荷時：587)

[入力] 1～65535

#### ユーザー名

メールサーバー (SMTP)のユーザー名を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 62文字まで

#### パスワード

メールサーバー (SMTP)のパスワードを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 62文字まで

メ モ

以下の記号を使用する場合、直前に「¥」をつける必要があります。

" & ' ( ) | ` ¥ < > ;

たとえば、パスワードが「pa&ss」の場合、「pa¥&ss」となります。

#### SSL

SSLにより暗号化してメールを送信するときは「オン」に設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ / オン

メ モ 利用するメールサーバーに応じて、SSL、ポート番号を設定してください。

## ● メール

[イベント連動動作(メニュー) → メール(タブ)] をクリックします。

### 送信元アドレス

メールの送信元アドレスを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 256 文字まで

### Bcc によるメール送信

「オン」に設定するとカメラからのメールは Bcc で送信され、「オフ」に設定すると宛先で送信されます。(工場出荷時：オン)

[選択] オフ／オン

### JPEG ファイル添付

メール送信時に画像を添付するときは「ライブ画像」に設定します。(工場出荷時：ライブ画像)

[選択] 添付しない／ライブ画像

## ● メールアドレスリスト

[イベント連動動作(メニュー) → メール(タブ)] をクリックします。

### メールアドレス 1～4

イベント発生時の送信先のメールアドレスを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 256 文字まで

## ● 連動設定

[イベント連動動作(メニュー) → メール(タブ)] をクリックします。

メモ

イベントが短時間に連続して発生した場合、メールは間引いて送信されることがあります。

	通知	件名	本文
1	連動しない	イベント発生 (\${NAME})	カメラ名: \${NAME} IPアドレス: \${IPADDR} 日時: \${DATE} イベント: \${EVENT} 状態: \${STATE} URL: http://\${IPADDR}
接点入力		イベント発生 (\${NAME})	カメラ名: \${NAME} IPアドレス: \${IPADDR} 日時: \${DATE} イベント: \${EVENT} 状態: \${STATE} URL: http://\${IPADDR}
SDカード異常	<input type="checkbox"/>	イベント発生 (\${NAME})	状態: \${STATE} URL: http://\${IPADDR}
オーバーヒート	<input type="checkbox"/>	イベント発生 (\${NAME})	カメラ名: \${NAME} IPアドレス: \${IPADDR} 日時: \${DATE} イベント: \${EVENT} 状態: \${STATE} URL: http://\${IPADDR}

### 接点入力 1～3

#### 通知

接点入力との連動を設定します。(工場出荷時：連動しない)

[選択]

連動しない：接点入力が「オン」になってもメールを送信しません。

オンのとき：「オン」になったときにメールアドレス 1～4 へメールを送信します。

オフのとき：「オフ」になったときにメールアドレス 1～4 へメールを送信します。

両方：「オン」または「オフ」になったときに、メールアドレス 1～4 へメールを送信します。

#### 件名

メールの件名を設定します。(工場出荷時：イベント発生 (\${NAME})

[入力] 50 バイトまで

メモ

「\${NAME}」にはカメラの名称が入ります。詳しくは P. 2-76 「メールの件名と本文について」を参照してください。

#### 本文

メールの本文を設定します。工場出荷時設定は以下のとおりです。

カメラ名：\${NAME}  
IP アドレス：\${IPADDR}  
日時：\${DATE}  
イベント：\${EVENT}  
状態：\${STATE}  
URL：http://\${IPADDR}

[入力] 150 バイトまで

メモ

「\${NAME}」、「\${IPADDR}」、「\${DATE}」、「\${EVENT}」、「\${STATE}」の詳細は、P. 2-76 「メールの件名と本文について」を参照してください。

## リモート接点入力1～16

## 通知

リモート接点入力との連動を設定します。(工場出荷時：連動しない)

[選択]

連動しない：リモート接点入力が「オン」になってもメールを送信しません。

オンのとき：「オン」になったときにメールアドレス1～4へメールを送信します。

オフのとき：「オフ」になったときにメールアドレス1～4へメールを送信します。

両方：「オン」または「オフ」になったときに、メールアドレス1～4へメールを送信します。

## 件名

メールの件名を設定します。(工場出荷時：イベント発生({NAME}))

[入力] 50バイトまで

メモ

「{NAME}」にはカメラの名称が入ります。詳しくは [P. 2-76「メールの件名と本文について」](#) を参照してください。

## 本文

メールの本文を設定します。工場出荷時設定は以下のとおりです。

カメラ名：{NAME}

IPアドレス：{IPADDR}

日時：{DATE}

イベント：{EVENT}

状態：{STATE}

URL：http://{IPADDR}

[入力] 150バイトまで

メモ

「{NAME}」、「{IPADDR}」、「{DATE}」、「{EVENT}」、「{STATE}」の詳細は、[P. 2-76「メールの件名と本文について」](#) を参照してください。

モーションディテクト(エリア1～3)、いたずら検知、定期タイマー1、定期タイマー2、ウィークリータイマー1、ウィークリータイマー2、SDカード異常、オーバーヒート

## 通知

チェックボックスにチェックを入れると、イベントが発生したときに連動してメールアドレス1～4へメールの送信を行います。(工場出荷時：チェックなし)

## 件名

メールの件名を設定します。(工場出荷時：イベント発生({NAME}))

[入力] 50バイトまで

メモ

「{NAME}」にはカメラの名称が入ります。詳しくは [P. 2-76「メールの件名と本文について」](#) を参照してください。

## 本文

メールの本文を設定します。工場出荷時設定は以下のとおりです。

カメラ名：{NAME}

IPアドレス：{IPADDR}

日時：{DATE}

イベント：{EVENT}

状態：{STATE}

URL：http://{IPADDR}

[入力] 150バイトまで

メモ

「{NAME}」、「{IPADDR}」、「{DATE}」、「{EVENT}」、「{STATE}」の詳細は、[P. 2-76「メールの件名と本文について」](#) を参照してください。

## [メールの件名と本文について]

件名と本文内に設定した以下の文字列は、設定内容や発生イベントに応じた文字列に自動的に置き換えられます。

<code>\$(NAME)</code>	カメラの名称																
<code>\$(IPADDR)</code>	カメラの IP アドレス																
<code>\$(DATE)</code>	イベントが発生した日時																
<code>\$(EVENT)</code>	<table> <tr> <td>接点入力するとき</td> <td>: 接点入力の端子名</td> </tr> <tr> <td>リモート接点入力 1 ~ 16 のとき</td> <td>: リモート接点入力 1 ~ 16 の端子名</td> </tr> <tr> <td>モーションディテクト(エリア 1 ~ 3) のとき</td> <td>: 「モーションディテクト」</td> </tr> <tr> <td>いたずら検知のとき</td> <td>: 「いたずら検知」</td> </tr> <tr> <td>定期タイマー 1、2 のとき</td> <td>: 「定期タイマー 1」または「定期タイマー 2」</td> </tr> <tr> <td>ウィークリータイマー 1、2 のとき</td> <td>: 「ウィークリータイマー 1」または「ウィークリータイマー 2」</td> </tr> <tr> <td>SD カード異常のとき</td> <td>: 「SD カード異常 1」、「SD カード異常 2」、 「SD カード異常 3」のいずれか</td> </tr> <tr> <td>オーバーヒートのとき</td> <td>: 「オーバーヒート」</td> </tr> </table>	接点入力するとき	: 接点入力の端子名	リモート接点入力 1 ~ 16 のとき	: リモート接点入力 1 ~ 16 の端子名	モーションディテクト(エリア 1 ~ 3) のとき	: 「モーションディテクト」	いたずら検知のとき	: 「いたずら検知」	定期タイマー 1、2 のとき	: 「定期タイマー 1」または「定期タイマー 2」	ウィークリータイマー 1、2 のとき	: 「ウィークリータイマー 1」または「ウィークリータイマー 2」	SD カード異常のとき	: 「SD カード異常 1」、「SD カード異常 2」、 「SD カード異常 3」のいずれか	オーバーヒートのとき	: 「オーバーヒート」
接点入力するとき	: 接点入力の端子名																
リモート接点入力 1 ~ 16 のとき	: リモート接点入力 1 ~ 16 の端子名																
モーションディテクト(エリア 1 ~ 3) のとき	: 「モーションディテクト」																
いたずら検知のとき	: 「いたずら検知」																
定期タイマー 1、2 のとき	: 「定期タイマー 1」または「定期タイマー 2」																
ウィークリータイマー 1、2 のとき	: 「ウィークリータイマー 1」または「ウィークリータイマー 2」																
SD カード異常のとき	: 「SD カード異常 1」、「SD カード異常 2」、 「SD カード異常 3」のいずれか																
オーバーヒートのとき	: 「オーバーヒート」																
<code>\$(STATE)</code>	<table> <tr> <td>接点入力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オンのとき</td> <td>: 接点入力のオン状態の名称</td> </tr> <tr> <td>オフのとき</td> <td>: 接点入力のオフ状態の名称</td> </tr> <tr> <td>リモート接点入力 1 ~ 16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オンのとき</td> <td>: リモート接点入力 1 ~ 16 のオン状態の名称</td> </tr> <tr> <td>オフのとき</td> <td>: リモート接点入力 1 ~ 16 のオフ状態の名称</td> </tr> </table> <p><b>メモ</b></p> <p>「接点入力」、「リモート接点入力」以外のイベントの件名や本文に <code>\$(STATE)</code> を設定した場合は置き換えられません。</p>	接点入力		オンのとき	: 接点入力のオン状態の名称	オフのとき	: 接点入力のオフ状態の名称	リモート接点入力 1 ~ 16		オンのとき	: リモート接点入力 1 ~ 16 のオン状態の名称	オフのとき	: リモート接点入力 1 ~ 16 のオフ状態の名称				
接点入力																	
オンのとき	: 接点入力のオン状態の名称																
オフのとき	: 接点入力のオフ状態の名称																
リモート接点入力 1 ~ 16																	
オンのとき	: リモート接点入力 1 ~ 16 のオン状態の名称																
オフのとき	: リモート接点入力 1 ~ 16 のオフ状態の名称																

## (使用例)

カメラの名称	: 正面玄関監視カメラ
カメラの IP アドレス	: 192.168.14.1
接点入力の端子名	: 玄関の照明
接点入力のオン状態の名称	: 点灯
件名	: <code>\$(NAME)</code> からのメール
本文	: <code>\$(DATE)</code> に <code>\$(EVENT)</code> が <code>\$(STATE)</code> しました。 映像はこちら → <code>http://\$(IPADDR)</code>

件名: 正面玄関監視カメラからのメール

2018/1/1 00:00:00 に玄関の照明が点灯しました。  
映像はこちら → `http://192.168.14.1`

**メモ**

置き換えられる各設定値については以下で設定します。

- カメラの名称 : [基本 (メニュー) → システム (タブ)] (P. 2-7)
- IP アドレス : [基本 (メニュー) → システム (タブ)] (P. 2-7)
- 接点入力の端子名と状態の名称 : [イベント (メニュー) → 接点入力 (タブ)] (P. 2-56)
- リモート接点入力 1 ~ 16 の端子名と状態の名称 : [イベント (メニュー) → 接点入力 (タブ)] (P. 2-56)

## ■ HTTP

イベントに連動して指定した HTTP (S) サーバーの URL に通知するための設定をします。  
通知する URL は 8 つまで設定することができ、イベントにより通知先を選択することができます。

### ● 通知先

[イベント連動動作(メニュー) → HTTP (タブ)] をクリックします。

The screenshot shows the '通知先' (Notification) configuration interface. It features two notification entries, '通知先 1' and '通知先 8'. Each entry is a form with the following fields: 'URL', 'メソッド' (Method) with radio buttons for GET, POST, and PUT, 'ユーザー名' (Username), 'パスワード' (Password), and '追加ヘッダー' (Add Headers) with a '+ 開く' (Open) button. A '設定' (Settings) button is located at the bottom of each entry's form.

[メソッドを「POST」、 「PUT」にしたとき]

This screenshot shows the '通知先 1' (Notification 1) configuration form. The 'メソッド' (Method) section has 'POST' and 'PUT' selected, which are circled in red. The '通知内容' (Notification Content) dropdown menu is set to 'ライブ画像' (Live Image). The 'メッセージボディ' (Message Body) text area is also highlighted with a red box. A '設定' (Settings) button is at the bottom.

[追加ヘッダーの項目を開いたとき]

This screenshot shows the '通知先 1' (Notification 1) configuration form with the '追加ヘッダー' (Add Headers) section expanded. A callout box above the form shows a transition from '+ 開く' (Open) to '- 閉じる' (Close). The expanded section shows four header entries, each with 'Key' and 'Value' fields. A '設定' (Settings) button is at the bottom.

## 通知先 1～8

## URL

イベント発生時に通知する HTTP (S) サーバーの URL を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 256 バイトまで

## メソッド

HTTP (S) サーバーに通知するメソッドを選択します。(工場出荷時：GET)

[選択] GET / POST / PUT

## ユーザー名

HTTP (S) サーバーのユーザー名を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 63 文字まで

## パスワード

HTTP (S) サーバーのパスワードを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 63 文字まで

## 追加ヘッダー 1～4

追加ヘッダーの項目を開いて設定します。

## Key

追加する HTTP ヘッダーの Key を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 256 文字まで

メモ

以下は Key に設定できません。

- ・ Content-Length
- ・ Character-Set
- ・ Authorization
- ・ Host

## Value

追加する HTTP ヘッダーの Value を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 256 文字まで

## 通知内容

メソッドが「POST」、「PUT」のときに通知する内容を設定します。(工場出荷時：ライブ画像)

[選択]

ライブ画像 : [映像・音声(メニュー) → 圧縮方式(タブ)] (P. 2-20)のストリーム3で設定した画像サイズ、画質のJPEG ファイルを送信します。

メッセージボディ：メッセージボディで設定した文字列を送信します。

メモ

メソッドが「GET」のときは表示されません。

## メッセージボディ

通知内容で「メッセージボディ」を選択したときに通知する文字列を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 256 バイトまで

メモ

メソッドが GET のときは表示されません。

## ● 連動設定

[イベント連動動作(メニュー) → HTTP (タブ)] をクリックします。

連動設定		通知先 1	通知先 2	通知先 3	通知先 4	通知先 5	通知先 6	通知先 7	通知先 8
接点入力	1	連動しない							
	2	連動しない							
	3	連動しない							
リモート接点入力	1	連動しない							
	2	連動しない							
	3	連動しない							
	4	連動しない							
	5	連動しない							
	6	連動しない							
	7	連動しない							
	8	連動しない							
	9	連動しない							
モーションディテクト	エリア 1	<input type="checkbox"/>							
	エリア 2	<input type="checkbox"/>							
	エリア 3	<input type="checkbox"/>							
いたずら検知	<input type="checkbox"/>								
定期タイマー	1	<input type="checkbox"/>							
	2	<input type="checkbox"/>							
ウィークリータイマー	1	<input type="checkbox"/>							
	2	<input type="checkbox"/>							
SDカード異常	<input type="checkbox"/>								
オーバーヒート	<input type="checkbox"/>								

設定

## 接点入力 1～3

## 通知先 1～8

接点入力との連動を設定します。(工場出荷時：連動しない)

[選択]

連動しない：接点入力「オン」になっても通知をしません。

オンのとき：「オン」になったときに選択した通知先に通知します。

オフのとき：「オフ」になったときに選択した通知先に通知します。

両方：「オン」または「オフ」になったときに、選択した通知先に通知します。

## リモート接点入力 1～16

## 通知先 1～8

リモート接点入力との連動を設定します。(工場出荷時：連動しない)

[選択]

連動しない：リモート接点入力「オン」になっても通知をしません。

オンのとき：「オン」になったときに選択した通知先に通知します。

オフのとき：「オフ」になったときに選択した通知先に通知します。

両方：「オン」または「オフ」になったときに、選択した通知先に通知します。

モーションディテクト(エリア 1～3)、いたずら検知、定期タイマー 1、定期タイマー 2、ウィークリータイマー 1、ウィークリータイマー 2、SD カード異常、オーバーヒート

## 通知先 1～8

イベントと連動して選択した通知先に通知を行うときはチェックボックスにチェックをいれます。(工場出荷時：チェックなし)

## ■ SNMP

イベントに連動して指定した SNMP マネージャに通知 (SNMP Trap) を行うための設定をします。  
通知する SNMP マネージャは 4 つまで設定することができ、イベントにより通知の送信先を選択できます。

### ● トラップ

[イベント連動動作(メニュー) → SNMP (タブ)] をクリックします。

#### モード

SNMP のモードを設定します。使用する SNMP マネージャに応じて設定してください。(工場出荷時: オフ)

[選択] オフ / SNMPv1 / SNMP v2c

#### コミュニティ

SNMP のコミュニティ名を設定します。(工場出荷時: public)

[入力] 62 文字まで

メモ

以下の記号を使用する場合、直前に「¥」をつける必要があります。

" & ' ( ) | ` ¥ < > ;

たとえば、コミュニティ名が「co&m」の場合、「co¥&m」となります。

#### 送信先アドレス 1～4

トラップの送信先の SNMP マネージャのアドレスを設定します。(工場出荷時: 空欄)

[入力] 空欄、2～62 文字

## ● 連動設定

[イベント連動動作(メニュー) → SNMP (タブ)] をクリックします。

連動設定		送信先アドレス 1	送信先アドレス 2	送信先アドレス 3	送信先アドレス 4
接点入力	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
リモート接点入力	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
モーションディテクト	16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エリア 1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エリア 2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	エリア 3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
いたずら検知		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
SDカード異常		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オーバーヒート		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

設定

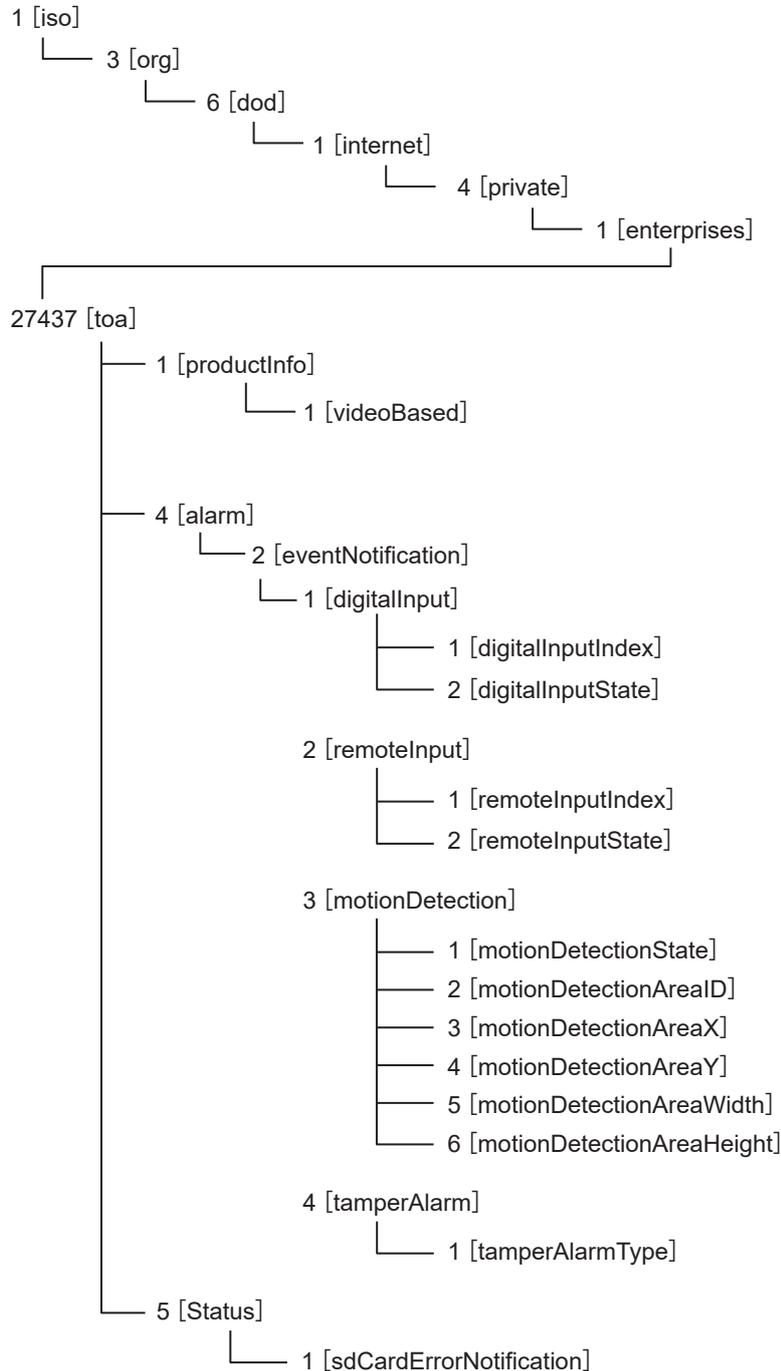
接点入力 1～3、リモート接点入力 1～16、モーションディテクト(エリア 1～3)、いたずら検知、SD カード異常、オーバーヒート

## 送信先アドレス 1～4

イベントと連動して選択した SNMP マネージャに通知を行うときはチェックボックスにチェックをいれます。(工場出荷時：チェックなし)

## ● MIB

本製品では専用のMIB (Management Information Base)があり、SNMP マネージャなどから監視を行うことができます。



OID	名前	型	MAX-ACCESS	説明
4	alarm	—	—	—
4.2	eventNotification	—	—	—
4.2.1	digitalInput	—	—	—
4.2.1.1	digitalInputIndex	Unsigned32	accessible-for-notify	接点入力の番号を格納します。 (1～3)
4.2.1.2	digitalInputState	Unsigned32	accessible-for-notify	接点入力の状態を格納します。 オフ(0)、オン(1)

OID	名前	型	MAX-ACCESS	説明
4.2.2	remoteInput	—	—	—
4.2.2.1	remoteInputIndex	Unsigned32	accessible-for-notify	リモート接点入力の番号を格納します。(1～16)
4.2.2.2	remoteInputState	Unsigned32	accessible-for-notify	リモート接点入力の状態を格納します。オフ(0)、オン(1)
4.2.3	motionDetection	—	—	—
4.2.3.1	motionDetectionState	Unsigned32	accessible-for-notify	モーションディテクトの検出状態を格納します。必ず1が格納されます。
4.2.3.2	motionDetectionAreaID	Unsigned32	accessible-for-notify	検出したエリアのIDを格納します。(1～3)
4.2.3.3	motionDetectionAreaX	Unsigned32	accessible-for-notify	検出したエリアのX座標を格納します。
4.2.3.4	motionDetectionAreaY	Unsigned32	accessible-for-notify	検出したエリアのY座標を格納します。
4.2.3.5	motionDetectionAreaWidth	Unsigned32	accessible-for-notify	検出したエリアの幅を格納します。
4.2.3.6	motionDetectionAreaHeight	Unsigned32	accessible-for-notify	検出したエリアの高さを格納します。
4.2.4	tamperAlarm	—	—	—
4.2.4.1	tamperAlarmType	Unsigned32	accessible-for-notify	いたずら検知の種別を格納します。Global Change (0)、Defocus (1)

## ■ 画面内文字表示

イベントに連動して指定したテキストを画面内に表示するための設定をします。

本項目で設定したテキストは、[映像・音声(メニュー) → 画面内文字表示(タブ)] (P. 2-28)のイベントで設定した文字位置、文字色、背景色で表示されます。

メモ

- 複数のイベントが発生したとき、新しいイベントに連動して表示を行います。  
たとえば、リモート接点入力1が「オン」になり、テキストを表示している間にモーションディテクト(エリア1)のイベントが発生したときは、リモート接点入力1の表示は消え、モーションディテクト(エリア1)で設定した時間、設定したテキストを表示します。
- 環境依存文字はテキストに設定できない場合があります。

### ● 連動設定

[イベント連動動作(メニュー) → 画面内文字表示(タブ)] をクリックします。

連動設定		表示時間	テキスト
接点入力	1	オンのとき	表示しない ▼ 接点入力1:オン
		オフのとき	表示しない ▼ 接点入力1:オフ
	2	オンのとき	表示しない ▼ 接点入力2:オン
		オフのとき	表示しない ▼ 接点入力2:オフ
	3	オンのとき	表示しない ▼ 接点入力3:オン
		オフのとき	表示しない ▼ 接点入力3:オフ
1	オンのとき	表示しない ▼ リモート接点入力1:オン	
			表示しない ▼ リモート接点入力1:オフ

#### 接点入力1～3

[オンのとき]

表示時間

接点入力「オン」になったときに画面内にテキストを表示する時間を設定します。(工場出荷時：表示しない)

[選択]

表示しない：「オン」になっても画面内にテキストを表示しません。

5秒間：「オン」になってから5秒間、画面内にテキストを表示します。

制限なし：「オン」状態の間、画面内にテキストを表示します。

テキスト

接点入力「オン」になったときに画面内に表示するテキストを設定します。

(工場出荷時：接点入力N\*：オン)

\*Nは接点入力の番号

[オフのとき]

表示時間

接点入力「オフ」になったときに画面内にテキストを表示する時間を設定します。(工場出荷時：表示しない)

[選択]

表示しない：「オフ」になっても画面内にテキストを表示しません。

5秒間：「オフ」になってから5秒間、画面内にテキストを表示します。

制限なし：「オフ」状態の間、画面内にテキストを表示します。

テキスト

接点入力「オフ」になったときに画面内に表示するテキストを設定します。

(工場出荷時：接点入力N\*：オフ)

\*Nは接点入力の番号

## リモート接点入力1～16

## [オンのとき]

## 表示時間

リモート接点入力1～16が「オン」になったときに画面内にテキストを表示する時間を設定します。(工場出荷時：表示しない)

## [選択]

表示しない：「オン」になっても画面内にテキストを表示しません。

5秒間：「オン」になってから5秒間、画面内にテキストを表示します。

制限なし：「オン」状態の間、画面内にテキストを表示します。

## テキスト

リモート接点入力1～16が「オン」になったときに画面内に表示するテキストを設定します。(工場出荷時：リモート接点入力N\*：オン)

\*Nはリモート接点入力の番号

## [オフのとき]

## 表示時間

リモート接点入力1～16が「オフ」になったときに画面内にテキストを表示する時間を設定します。(工場出荷時：表示しない)

## [選択]

表示しない：「オフ」になっても画面内にテキストを表示しません。

5秒間：「オフ」になってから5秒間、画面内にテキストを表示します。

制限なし：「オフ」状態の間、画面内にテキストを表示します。

## テキスト

リモート接点入力1～16が「オフ」になったときに画面内に表示するテキストを設定します。(工場出荷時：リモート接点入力N\*：オフ)

\*Nはリモート接点入力の番号

## モーションディテクト(エリア1～3)

## 表示時間

モーションディテクト(エリア1～3)のイベントが発生したときに画面内にテキストを表示する時間を設定します。(工場出荷時：表示しない)

## [選択]

表示しない：イベントが発生しても画面内にテキストを表示しません。

5秒間：イベントが発生してから5秒間、画面内にテキストを表示します。

## テキスト

モーションディテクト(エリア1～3)のイベントが発生したときに画面内に表示するテキストを設定します。(工場出荷時：モーションディテクト)

## いたずら検知

## 表示時間

いたずら検知のイベントが発生したときに画面内にテキストを表示する時間を設定します。(工場出荷時：表示しない)

## [選択]

表示しない：イベントが発生しても画面内にテキストを表示しません。

5秒間：イベントが発生してから5秒間、画面内にテキストを表示します。

## テキスト

いたずら検知のイベントが発生したときに画面内に表示するテキストを設定します。(工場出荷時：いたずら検知)

## ■ PTZ 連動

イベントに連動して PTZ 動作をするための設定をします。

### ● 連動設定

[イベント連動動作(メニュー) → PTZ 連動(タブ)] をクリックします。

設定項目	状態	動作	
接点入力	1	オンのとき	オフ
		オフのとき	オフ
	2	オンのとき	オフ
		オフのとき	オフ
	3	オンのとき	オフ
		オフのとき	オフ
モーションディテクト	1	オンのとき	オフ
		オフのとき	オフ
	2	オンのとき	オフ
		オフのとき	オフ
	14	オンのとき	オフ
		オフのとき	オフ
ウィークリータイマー	エリア 1	オンのとき	オフ
		オフのとき	オフ
	エリア 2	オンのとき	オフ
		オフのとき	オフ
エリア 3	オンのとき	オフ	
	オフのとき	オフ	
1	オンのとき	オフ	
	オフのとき	オフ	
2	オンのとき	オフ	
	オフのとき	オフ	

### 接点入力 1 ～ 3

#### [オンのとき]

接点入力 1 ～ 3 がオンになったときの PTZ 動作をそれぞれ設定します。

[選択] オフ / ホーム動作 / オートパン / ツアー 1 ～ 4 / オート動作の停止 / プリセット

メ モ

プリセットは設定済みのプリセットポジションのみが選択肢に表示されます。

#### [オフのとき]

接点入力 1 ～ 3 がオフになったときの PTZ 動作をそれぞれ設定します。

[選択] オフ / ホーム動作 / オートパン / ツアー 1 ～ 4 / オート動作の停止 / プリセット

メ モ

プリセットは設定済みのプリセットポジションのみが選択肢に表示されます。

## リモート接点入力1～16

[オンのとき]

リモート接点入力1～16がオンになったときのPTZ動作をそれぞれ設定します。

[選択] オフ／ホーム動作／オートパン／ツアー1～4／オート動作の停止／プリセット

プリセットは設定済みのプリセットポジションのみが選択肢に表示されます。

[オフのとき]

リモート接点入力1～16がオフになったときのPTZ動作をそれぞれ設定します。

[選択] オフ／ホーム動作／オートパン／ツアー1～4／オート動作の停止／プリセット

プリセットは設定済みのプリセットポジションのみが選択肢に表示されます。

## モーションディテクト(エリア1～3)

モーションディテクトのイベントが発生したときのPTZ動作をそれぞれ設定します。

[選択] オフ／検知エリアにズームイン／ホーム動作／オートパン／ツアー1～4／オート動作の停止／プリセット

プリセットは設定済みのプリセットポジションのみが選択肢に表示されます。

## ウィークリータイマー1、2

ウィークリータイマーイベントが発生したときのPTZ動作をそれぞれ設定します。

[選択] オフ／ホーム動作／オートパン／ツアー1～4／オート動作の停止／プリセット

プリセットは設定済みのプリセットポジションのみが選択肢に表示されます。

# Web ビューアー

## ■ 基本

Web ビューアーの基本動作について設定します。

### ● 基本

[Web ビューアー (メニュー) → 基本(タブ)] をクリックします。



#### 連続表示時間

設定した時間が経過すると自動的に接続を切断する機能です。Web ビューアーの連続使用により、ネットワークの通信帯域を長期間占有させたくないときに使用します。(工場出荷時：無制限)

[選択] 無制限 / 1分 / 5分

#### 自動全画面表示

Web ビューアー起動時に自動的に映像を全画面表示する機能です。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ / オン

#### ご注意

Edge を使用する場合、自動全画面表示機能は使用できません。

#### メモ

連続表示時間と自動全画面表示の設定は、TOP 画面、4 分割画面、16 分割画面に反映されます。

### ● JPEG

[Web ビューアー (メニュー) → 基本(タブ)] をクリックします。



#### 画像更新間隔

Web ビューアーでストリーム 3 の映像を表示するときの画像更新間隔を設定できます。(工場出荷時：ストリーム 3 の設定に従う)

[選択]

ストリーム 3 の設定に従う : ストリーム 3 のフレームレート設定(P. 2-20)に従って表示します。

低フレームレート : 選択した更新間隔で表示します。(工場出荷時：1 秒ごと)

[選択] 1 秒ごと / 5 秒ごと / 10 秒ごと / 30 秒ごと / 1 分ごと / 5 分ごと / 10 分ごと / 15 分ごと / 30 分ごと / 1 時間ごと

#### メモ

本項目は Edge でストリーム 3 を表示する場合にのみ適用されます。

Internet Explorer を使用する場合は、本設定にかかわらず「ストリーム 3 の設定に従う」になります。

## ■ 多画面表示

4 分割画面、16 分割画面に表示するカメラと配信方式の設定をします。

### ● カメラ 1 ～ 16

[Web ビューアー (メニュー) → 多画面表示(タブ)] をクリックします。

カメラ No	アドレス	配信方式 (4画面)
カメラ 1	<input type="text"/>	HTTP ▼
カメラ 2	<input type="text"/>	HTTP ▼
カメラ 3	<input type="text"/>	HTTP ▼
カメラ 14	<input type="text"/>	HTTP ▼
カメラ 15	<input type="text"/>	HTTP ▼
カメラ 16	<input type="text"/>	HTTP ▼

設定

#### アドレス

表示するカメラの IP アドレスやドメイン名を設定します。最大 16 台まで設定できます。(工場出荷時:空欄)

#### 配信方式(4 分割画面)

4 分割画面表示にしたときの配信方式を設定します。(工場出荷時: HTTP)

[選択] HTTP / ユニキャスト / マルチキャスト

#### ご注意

- Web サーバー動作モード (P. 2-91) を「HTTPS」に設定したカメラは、多画面表示することはできません。
- Edge を使用する場合、本設定にかかわらず HTTP で表示します。

# アドバンス

## ■ RTMP

RTMP 配信を行うための設定をします。

RTMP に対応したライブ配信サービスにカメラの映像を配信することができます。

### ■ ご注意

配信するストリームの画像サイズ、画質、フレームレートなどの設定やネットワーク環境、接続するライブ配信サービスにより、配信が切断されることがあります。

### ● ストリーム 1、2、4

[アドバンス(メニュー) → RTMP (タブ)] をクリックします。

The screenshot shows a dark-themed interface with three sections for stream configuration. Each section is titled 'ストリーム1', 'ストリーム2', and 'ストリーム4'. Each section contains three rows: '配信' with a checkbox, 'URL' with a text input field, and '音声' with a checkbox. Below each section is a '設定' button.

### 配信

RTMP 配信を行うときはチェックボックスにチェックを入れます。(工場出荷時：チェックなし)

メモ

- RTMP 配信は圧縮方式が「H.264/AVC」のときに使用できます。
- ストリーム 4 の RTMP 配信を使用するときは、SD カード録画機能を「オフ」に設定してください。

### URL

配信先の RTMP サーバーの URL を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 255 文字まで

メモ

使用する RTMP のサービスによっては、ストリーム URL とストリームキーが別で発行される場合があります。そのときは、ストリーム URL とストリームキーを「/ (スラッシュ)」で接続して設定してください。  
(例) ストリーム URL / ストリームキー

### 音声

RTMP 配信時に音声も配信するときはチェックボックスにチェックを入れます。(工場出荷時：チェックなし)

メモ

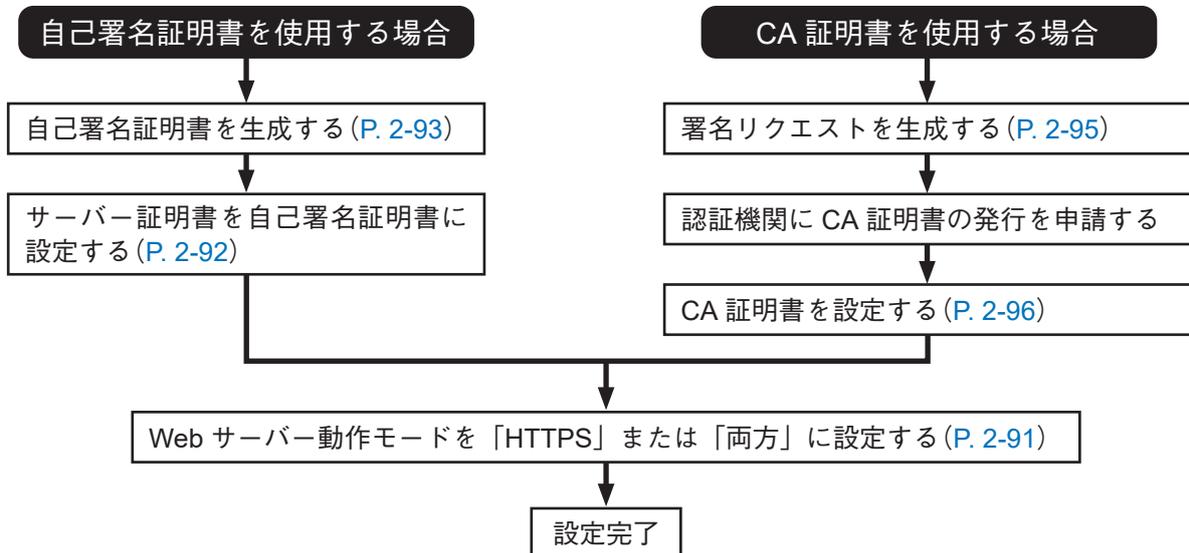
音声受話の圧縮方式が「AAC」で、音声機能が「受話(カメラ → PC)のみ」または「双方向」のときに使用できます。

## ■ HTTPS

HTTPS の設定を行います。

HTTPS 機能を使用することで本機との通信を暗号化し、通信の安全性を高めることができます。

本機能を使用するためには、サーバー証明書として自己署名証明書または CA 証明書をカメラに設定する必要があります。設定の流れは以下のようになります。



### ● 基本

[アドバンス(メニュー) → HTTPS (タブ)] をクリックします。



#### Web サーバー動作モード

Web サーバーの動作モードを設定します。(工場出荷時：HTTP)

[選択]

HTTP : HTTP で本機にアクセスできます。

HTTPS : HTTPS で本機にアクセスできます。

両方 : HTTP と HTTPS の両方の方式で本機にアクセスできます。

#### ご注意

- Web サーバー動作モードを「HTTPS」または「両方」に設定すると、配信数および配信ビットレートの最大値が低下します。(☞ P. 3-19 「動作状況」)
- 音声機能が「送話 (PC → カメラ) のみ」または「双方向」の場合、HTTP のみ設定できます。

#### メモ

- Web サーバー動作モードの設定を変更すると本機は自動的に再起動します。
- 自己署名証明書の生成または CA 証明書のアップロードがされていない場合、HTTPS に設定することはできません。

### HTTPS ポート

本機の HTTPS サーバーポートの番号を設定します。通常は工場出荷時設定のままを使用することをお勧めします。(工場出荷時：443)

[入力] 443、1025 ～ 65535

### サーバー証明書

HTTPS 通信に使用するデジタル証明書を選択します。(工場出荷時：自己署名証明書)

[選択]

自己署名証明書：本機で署名した証明書を使用します。

CA 証明書：認証機関が発行した証明書を使用します。

#### ご注意

- 自己署名証明書では実在性の証明を行うことができません。動作テストなど実在性の証明が不要な場合に使用してください。
- 自己署名証明書を使用して HTTPS で本機にアクセスすると証明書のエラーになり、ブラウザの警告が表示される場合があります。そのときは、ご使用の PC に自己署名証明書をインストールしてください。  
([P. 5-5](#))

## ● 自己署名証明書

[アドバンス(メニュー) → HTTPS (タブ)] をクリックします。



### コモンネーム

自己署名証明書に使用するコモンネームを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 3 ～ 64 文字

### 生成

「実行」ボタンをクリックすると、自己署名証明書を生成します。

メ モ

- 自己署名証明書の有効期限は 1 年です。
- 生成した自己署名証明書は設定を初期化しても削除されません。

### 削除

「実行」ボタンをクリックすると、生成済みの自己署名証明書を削除します。

メ モ

Web サーバー動作モードが「HTTPS」で、サーバー証明書が「自己署名証明書」の場合、自己署名証明書は削除できません。

### 確認

本機にインストールされている自己署名証明書の状態を表示します。

未インストール：自己署名証明書が本機にインストールされていません。

インストール済み：自己署名証明書が本機にインストールされています。

期限切れ：自己署名証明書が本機にインストールされていますが、有効期限が切れています。

### ダウンロード

本機で生成した自己署名証明書を PC にダウンロードします。

自己署名証明書を PC にインストールする場合に使用します。

[自己署名証明書を生成する]

## 1 コモンネームを入力する。

空欄のまま「実行」ボタンをクリックすると、本機の IP アドレスが設定されます。

## 2 生成の「実行」ボタンをクリックする。

自己署名証明書が生成されます。

生成後、本機は自動的に再起動し、自己署名証明書が本機にインストールされます。

[自己署名証明書を削除する]

手順：削除の「実行」ボタンをクリックする。

インストールされた自己署名証明書が削除されます。

メモ

Web サーバー動作モードが「HTTPS」で、サーバー証明書を「自己署名証明書」に設定しているときは削除できません。

## ● CA 証明書

認証機関で発行された CA 証明書を本機にインストールすることができます。  
[アドバンス(メニュー) → HTTPS (タブ)] をクリックします。

### ご注意

本機で生成した秘密鍵(CRT 鍵)と署名リクエスト(CSR)の組み合わせに対して、証明書が発行されます。認証機関に申請したあとに、秘密鍵(CRT 鍵)、署名リクエスト(CSR)を再生成すると、発行される証明書が使用できなくなります。

### 秘密鍵(CRT 鍵)生成

本機に秘密鍵を生成します。

#### メモ

- サーバー証明書が CA 証明書に設定されている場合は、秘密鍵を生成できません。
- 生成した秘密鍵は設定を初期化しても削除されません。

### 署名リクエスト(CSR)

認証機関に CA 証明書の発行を申請するために必要な署名リクエストを生成します。署名リクエストの生成にはディスタングイッシュネーム(証明書情報)が必要です。

ディスタングイッシュネーム項目一覧(工場出荷時：すべて空欄)

コモンネーム	証明書に記載するコモンネームを設定します。 [入力] 3～64文字
国名コード	国別記号を入力します。 [入力] 2文字 (例) JP
都道府県名	都道府県名を入力します。 [入力] 3～64文字 (例) Hyogo
市区町村名	市区町村名を入力します。 [入力] 3～64文字 (例) Kobe
組織名	組織名を入力します。 [入力] 3～64文字 (例) TOA Corporation
部署名	部署名を入力します。 [入力] 3～64文字 (例) Technical Division

### アップロード

認証機関から発行された CA 証明書を本機にアップロードし、インストールします。  
「参照」ボタンをクリックして CA 証明書を選択し、「実行」ボタンをクリックしてください。

#### メモ

- PEM 形式の CA 証明書を使用してください。
- アップロードされた CA 証明書は設定を初期化しても削除されません。

## 削除

インストールされた CA 証明書を削除します。

メモ

Web サーバー動作モードが「HTTPS」で、サーバー証明書を「CA 証明書」に設定しているときは削除できません。

## 確認

本機にインストールされている CA 証明書の状態を表示します。

未インストール : CA 証明書が本機にインストールされていません。

インストール済み : CA 証明書が本機にインストールされています。署名リクエスト生成時に入力したディレクトリ構造も合わせて表示されます。

期限切れ : CA 証明書が本機にインストールされていますが、有効期限が切れています。

## [署名リクエストを生成する]

### 1 秘密鍵 (CRT 鍵) 生成の「実行」ボタンをクリックする。

生成中の画面が表示され、生成が完了すると元の画面に戻ります。

#### ご注意

秘密鍵の生成には最大2分かかります。その間、本機の電源は絶対に切らないでください。



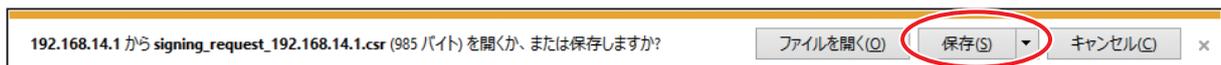
### 2 署名リクエスト (CSR : Certificate Signing Request) の情報をすべて入力する。

入力項目の詳細は P. 2-94 を参照してください。

### 3 署名リクエスト生成の「実行」ボタンをクリックする。

署名リクエストの生成が完了するとポップアップが表示されます。

### 4 クリックする



### 4 「保存」をクリックする。

ダウンロードを開始します。

ダウンロードが完了するとポップアップが表示されます。

### 5 クリックする



### 5 「×」をクリックする。

ダウンロードされた署名リクエストを使用して、認証機関に CA 証明書の発行を申請してください。

## [CA 証明書を設定する]



- 1 アップロードの「参照」ボタンをクリックする。
- 2 認証機関から発行された CA 証明書を選択し、アップロードの「実行」ボタンをクリックする。CA 証明書をアップロードし、インストールします。
- 3 CA 証明書の状態を確認する。  
インストールが完了すると「インストール済み」と表示されます。
- 4 サーバー証明書の「CA 証明書」を選択する。



- 5 「設定」ボタンをクリックする。

## [CA 証明書を削除する]

- 手順：削除の「実行」ボタンをクリックする。  
インストールされた CA 証明書が削除されます。

## メモ

Web サーバー動作モードが「HTTPS」で、サーバー証明書を「CA 証明書」に設定しているときは削除できません。

## ■ ONVIF

ONVIF に関する設定をします。通常は変更の必要はありません。

### ● ONVIF

[アドバンス(メニュー) → ONVIF (タブ)] をクリックします。

#### JPEG 最大解像度

ONVIF に対応した外部機器に応答する JPEG の最大解像度を設定します。(工場出荷時：1920 × 1080)

[選択] 自動 / 1920 × 1080

#### ■ ご注意

JPEG 最大解像度の設定を変更すると、自動的にカメラが再起動します。

メモ

撮影モードが「16:9」以外の場合は、自動(固定)となります。

#### 使用可能圧縮方式

ONVIF に対応した外部機器が使用可能な圧縮方式を設定します。(工場出荷時：H.264・JPEG)

[選択] H.265・H.264・JPEG / H.264・JPEG

#### Event Property

ONVIF の Event Property 機能を設定します。(工場出荷時：無効)

[選択] 無効 / 有効

## ■ クラウドサービス

クラウドサービスを使用するための設定をします。

### ● Safie

Safie 機能を使用するためには、セーフィー株式会社とクラウドサービスを契約後、Safie 機能を有効化(アクティベート)する必要があります。(P. 3-13)

#### ご注意

- Safie 機能を有効化すると以下の機能に制限がかかります。
  - ・撮影モードは「16:9」のみ使用可能
  - ・SD カード録画機能は使用不可
- Safie 機能を有効化すると最大配信数と最大ビットレートは、以下のとおりに制限されます。

Web サーバー動作モード	最大配信数	最大配信ビットレート
HTTP	10	30720 kbps
HTTPS または両方	4	8192 kbps

- Safie 機能ではストリーム4の映像を使用します。そのため、Safie 機能を有効化すると、[映像 (メニュー) → 圧縮方式 (タブ)] からストリーム4の設定変更はできなくなります。

[アドバンス(メニュー) → クラウドサービス(タブ)] をクリックし、Safie 機能の設定を行います。



#### Safie 機能

Safie 機能を使用する場合は、「オン」に設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ／オン

#### ご注意

- 認証方式 (P. 2-11) を「認証なし」に設定していると、Safie 機能を「オン」にできません。
- ユーザーリスト (P. 2-11) のユーザー名：admin のパスワードが「guest (工場出荷時設定)」になっていると、Safie 機能を「オン」にできません。他人に推測されにくいパスワードに変更してください。

# 第3章

---

メンテナンスのしかた

# メンテナンス

## ■ ログ

ログ保存モードの設定、ログの表示、ダウンロード、消去を行います。

### ● ログ

[メンテナンス(メニュー) → ログ(タブ)] をクリックします。



#### ログ保存モード

ログ保存モードを設定します。(工場出荷時：全てのログを保存)

[選択] 全てのログを保存 : すべてのシステムログと動作ログを保存します。

エラーログのみ保存 : 種別が [ERROR] のログのみ保存します。

メモ

ログの種類、種別については [P. 3-3「システムログ」](#) と [P. 3-6「動作ログ」](#) を参照してください。

#### ログファイルダウンロード

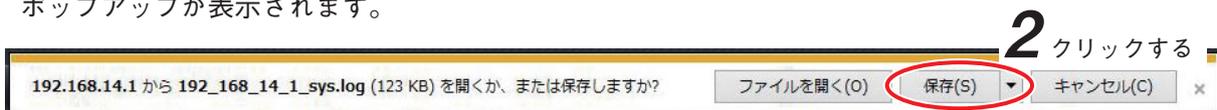
システムログ、動作ログ、テクニカルログのダウンロードを行います。

#### [ログをダウンロードする]

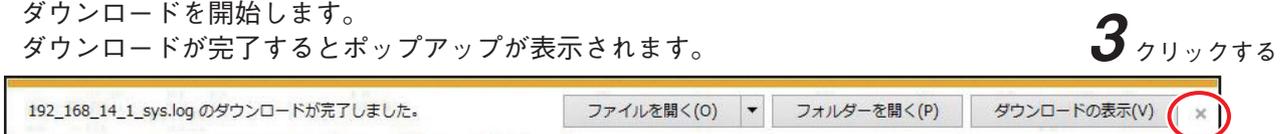
システムログ、動作ログ、テクニカルログのダウンロードを行います。ダウンロード手順はすべて同じです。以下はシステムログの手順で説明します。



- 1 ログファイルダウンロードの「システムログ」ボタンをクリックする。  
ポップアップが表示されます。



- 2 「保存」をクリックする。  
ダウンロードを開始します。  
ダウンロードが完了するとポップアップが表示されます。



- 3 「×」をクリックする。

## ● システムログ

システムに関するログの表示、ログの消去を行います。  
 [メンテナンス(メニュー) → ログ(タブ)] をクリックします。

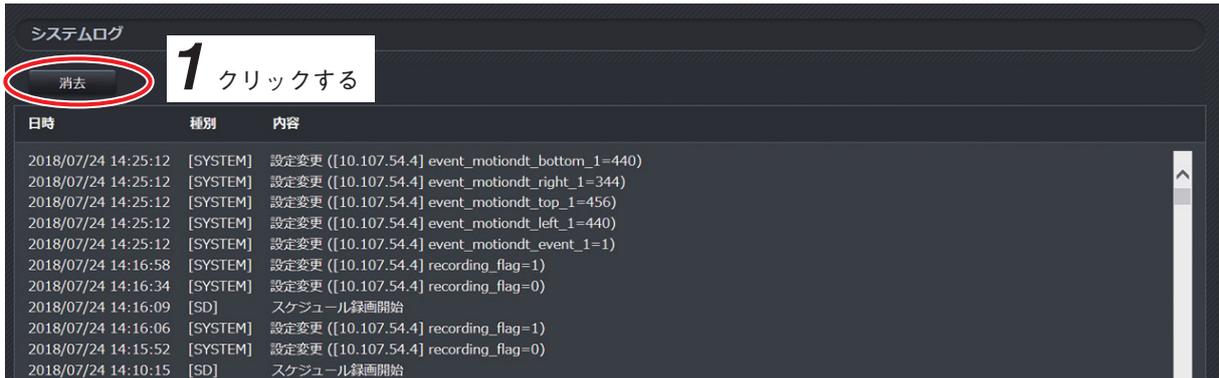
メ モ

システムログは最大 1,000 件の表示と保存ができます。1,000 件を超えた場合、古いものから順に削除されます。

[システムログをすべて消去する]

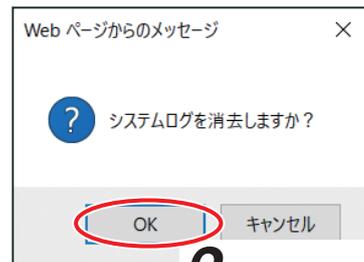
**ご注意**

一度消去したログは、元に戻すことはできません。



**1** 「消去」 ボタンをクリックする。  
 確認のポップアップが表示されます。

**2** 「OK」 をクリックする。  
 すべてのログが消去されます。



**2** クリックする

[システムログの種類]

種別	表示内容	説明
[SYSTEM]	起動(ファームウェアバージョン/ MAC アドレス)	起動したときに表示されます。
	シャットダウン	再起動したときに表示されます。
	DHCP	DHCP サーバーから IP アドレスを正常に取得できたときに表示されます。
	設定ファイルアップロード	設定ファイルのアップロードを行ったときに表示されます。
	ファームウェアアップデート (Ver. X → Ver. Y)	ファームウェアのアップデートを行ったときに表示されます。
	マイコンファームウェアアップ デート(Ver. X → Ver. Y)	PTZ マイコンまたは PTZ サブマイコンのファームウェアのアップデートを行ったときに表示されます。
	設定初期化	設定を初期化したときに表示されます。
	日時のマニュアル変更	ユーザーの操作により日時を変更したときに表示されます。
	設定ファイルダウンロード	設定ファイルをダウンロードしたときに表示されます。
	設定変更([IPAddress]key=value)	設定変更があったときに表示されます。
	不正アクセス遮断(IP アドレス)	複数回認証に失敗した IP アドレスからの、カメラへのアクセスを遮断するときに表示されます。

種別	表示内容	説明
[SYSTEM]	拡張機能アクティベート(機能名)	拡張機能を有効化(アクティベート)したときに表示されます。
	拡張機能のアクティベート解除	拡張機能を無効化したときに表示されます。
	オーバーヒート復旧	オーバーヒート状態から復旧したときに表示されます。
	ポジションリフレッシュ	ポジションリフレッシュ実行時に表示されます。
	自己署名証明書生成	自己署名証明書を生成したときに表示されます。
	自己署名証明書削除	自己署名証明書を削除したときに表示されます。
	秘密鍵(CRT 鍵)生成	秘密鍵(CRT 鍵)を生成したときに表示されます。
	署名リクエスト(CSR)生成	署名リクエスト(CSR)を生成したときに表示されます。
	CA 証明書インストール	CA 証明書をカメラにインストールしたときに表示されます。
	CA 証明書削除	CA 証明書をカメラから削除したときに表示されます。
	Safie 機能動作開始	Safie 機能の動作を開始したときに表示されます。
	Safie 機能動作停止	Safie 機能の動作を停止したときに表示されます。
	Safie サービス認証開始	Safie 機能を初めて使用する場合、クラウドサービスとの自動認証手続きを開始するときに表示されます。
	Safie サービス認証完了	Safie 機能を初めて使用する場合、クラウドサービスとの自動認証手続きが正常に完了したときに表示されます。
	Safie サービス契約終了	セーフイー株式会社とのクラウドサービス契約を解約し、使用期間が満了したときに表示されます。
[SD]	SD カード挿入	SD カードを挿入したときに表示されます。
	SD カード抜去	SD カードを抜いたときに表示されます。
	マニュアル録画開始	ユーザーの操作により録画を開始したときに表示されます。
	スケジュール録画開始	スケジュール録画機能により録画を開始したときに表示されます。
	マニュアル録画停止	ユーザーの操作により録画を停止したときに表示されます。
	スケジュール録画停止	スケジュール録画機能により録画を停止したときに表示されます。
	録画停止	カメラのSD カード録画停止スイッチまたは [SD カード (メニュー) → メンテナンス(タブ)] (P. 2-55)のメンテナンスの録画停止の「実行」ボタンにより、録画を停止したときに表示されます。
	フォーマット	SD カードのフォーマットを実行したときに表示されます。
	フォーマット完了	SD カードのフォーマットが正常に完了したときに表示されます。
	SD カードリセット	SD カードの異常を検知し、自動で復旧するためSD カードをリセットしたときに表示されます。
[ERROR]	DHCP 失敗	DHCP サーバーから IP アドレスを取得または更新できなかったときに表示されます。
	ファームウェアアップデート失敗	ファームウェアのアップデートに失敗したときに表示されます。
	設定ファイルアップロード失敗	設定ファイルのアップロードに失敗したときに表示されます。
	録画開始失敗	録画の開始に失敗したときに表示されます。
	録画開始失敗(容量不足)	SD カードの空き容量不足(1 GB 未満)により、録画の開始に失敗したときに表示されます。
	録画開始失敗(未フォーマット)	SD カードが FAT32 以外のフォーマットのため、録画の開始に失敗したときに表示されます。

種別	表示内容	説明
[ERROR]	録画開始失敗(ライトプロテクト)	SD カードにライトプロテクトがかかっていることにより、録画の開始に失敗したときに表示されます。
	フォーマット失敗	フォーマットに失敗したときに表示されます。
	フォーマット失敗(ライトプロテクト)	SD カードにライトプロテクトがかかっていることにより、フォーマットに失敗したときに表示されます。
	SD カード構成異常	SD カード内のフォルダー構成が異常なときに表示されます。通常は表示されることはありません。
	SD カード異常 1	SD カードを認識できないときに表示されます。 弊社で動作確認済みの SD カードについては、TOA 商品データダウンロードサイト ( <a href="https://www.toa-products.com/download/">https://www.toa-products.com/download/</a> ) からカメラの品番を検索し、「推奨品 SDXC カード一覧」をご確認ください。
	SD カード異常 2	SD カードを認識できるが、録画データを保存できないときに表示されます。SD カードをフォーマットすると改善することがあります。
	SD カード異常 3	SD カードへの書き込みが不安定なときに表示されます。SD カードをフォーマットすると改善することがあります。
	SD カード書き込みエラー	録画中、SD カードに録画データを書き込めなくなるときに表示します。
	パスワードロック解除失敗	パスワードロックの解除に失敗したときに表示されます。
	ビデオエンコーダー異常	機器の異常により映像配信、SD カード録画ができないときに表示されます。
	初期動作失敗 (機能名称)	初期動作に失敗したときに表示されます。 ※下線部は初期動作に失敗した機能の名称が表示されます。
	マイコン再起動 1～4	動作中、機器の異常により PTZ マイコンを再起動させたときに表示されます。
	マイコン異常 1～2	機器の異常により、PTZ 動作ができないときに表示されます。
	拡張機能アクティベートエラー	拡張機能の有効化(アクティベート)ができなかったときに表示されます。

**ご注意**

SD カードの挿入ログ、抜去ログは、SD カードの抜き差しを行っていない以下の場合にも表示されます。

- ・機器の起動時
- ・機器が録画中に録画を継続できない異常を検知し、自己復旧機能により SD カードをリセットしたとき

## ● 動作ログ

動作に関するログの表示、ログの消去を行います。

[メンテナンス(メニュー) → ログ(タブ)] をクリックします。

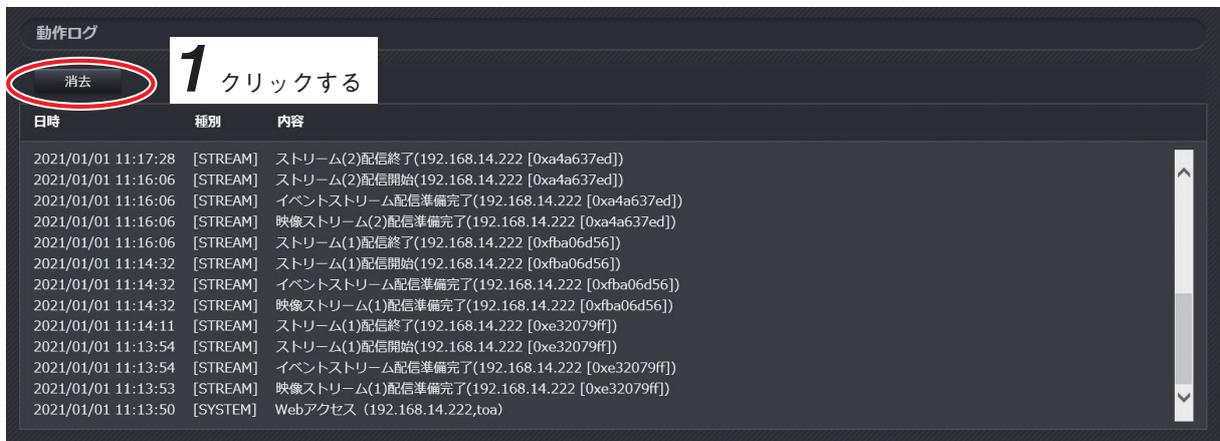
メ モ

- 動作ログは最大 1,000 件の表示と保存ができます。1,000 件を超えた場合、古いものから順に削除されます。
- 動作ログは定期的 (約 1 時間) に保存しているため、最終の保存から次の保存タイミングまでの間にカメラの電源を切ったり、カメラの再起動ボタンを押したりした場合、その間に発生したログは保存されません。再起動 (Web ビューアーや IP 設定ツールからの再起動、ファームウェアアップデート、設定ファイルアップロード、設定の初期化) の場合、それまでに発生した動作ログは保存されます。

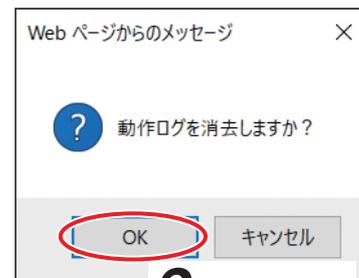
[動作ログをすべて消去する]

**ご注意**

一度消去したログは、元に戻すことはできません。



- 1 「消去」 ボタンをクリックする。  
確認のポップアップが表示されます。



2 クリックする

- 2 「OK」 をクリックする。  
すべてのログが消去されます。

[動作ログの種類]

種別	表示内容	説明
[SYSTEM]	起動(ファームウェアバージョン/ MAC アドレス)	起動したときに表示されます。
	リンクアップ(リンクモード)	本機が PoE 対応スイッチなどのネットワーク機器に接続され、通信可能な状態になったときに表示されます。リンクモードには、ネットワーク機器との通信速度、通信モードが表示されます。 (例) リンクアップ(100M Full Duplex)
	リンクダウン	本機とネットワーク機器との接続が切断され、通信できない状態になったときに表示されます。
	Web アクセス(IP アドレス、ユーザー名)	Web 画面にアクセスされたときに表示されます。

種別	表示内容	説明
[SYSTEM]	疎通確認(Ping)開始(宛先アドレス)	実行回数指定なしの疎通確認を開始したときに表示されます。
	疎通確認(Ping)終了(宛先アドレス)	実行回数指定なしの疎通確認を終了したときに表示されます。
[STREAM]	映像ストリーム(N)配信準備完了 (IP アドレス [SessionID])	対象ストリームの配信要求を受信したときに表示されます。(RTSP SETUP)
	音声ストリーム配信セットアップ (IP アドレス [SessionID])	※ N は 1～4 を表します。 ※ イベントストリームとは接点状態の変化などのカメラで発生したイベントを送信するストリームです。
	音声送話ストリーム配信セットアップ(IP アドレス [SessionID])	
	イベントストリーム配信セットアップ(IP アドレス [SessionID])	
	ストリーム(N)配信開始(IP アドレス [SessionID])	配信を開始したときに表示されます。 ※ N は 1～4 を表します。
	ストリーム(N)配信終了(IP アドレス [SessionID])	ストリーム配信が正常に終了したときに表示されます。 メモ
	ストリーム(N)配信強制終了(IP アドレス [SessionID])	ストリーム配信先の機器の仕様によって、どちらかのログが出力されます。
	ストリーム(N)配信切断(IP アドレス [SessionID])	映像ストリーム、音声ストリームの設定変更やファームウェアアップデートの実行により、ストリームの配信を継続できず、配信を切断したときに表示されます。 ※ N は 1～4 を表します。
	ストリーム(N) RTMP 配信開始	RTMP 配信を開始したときに表示されます。 ※ N は 1、2、4 を表します。
	ストリーム(N) RTMP 配信停止	RTMP 配信を停止したときに表示されます。 ※ N は 1、2、4 を表します。
	ストリーム(N) RTMP 配信中断	設定変更などにより RTMP 配信を中断したときに表示されます。 ※ N は 1、2、4 を表します。
	Safie ストリームの配信開始	Safie ストリームの配信を開始したときに表示されます。
	Safie ストリームの配信停止	Safie ストリームの配信を停止したときに表示されます。
[SD]	録画データダウンロード(ファイル名)	SD カードに記録された録画データをダウンロードしたときにダウンロードしたファイルごとに表示されます。
[EVENT]	メール送信	メールを送信したときに表示されます。
	FTP 送信	FTP スナップショットを送信したときに表示されます。
	HTTP イベント通知(レスポンスステータスコード) URL	HTTP (S) サーバーに通知を行ったときに表示されません。
	接点入力オン	接点入力が入ったときに、接点入力の端子名と状態名に応じて表示されます。
	接点入力オフ	接点入力が入らなくなったときに、接点入力の端子名と状態名に応じて表示されます。
	接点出力オン	接点出力が入ったときに、接点出力の端子名と状態名に応じて表示されます。
	接点出力オフ	接点出力が入らなくなったときに、接点出力の端子名と状態名に応じて表示されます。
	リモート接点入力 N オン	リモート接点入力が入ったときに、リモート接点入力の端子名と状態名に応じて表示されます。 ※ N は 1～16 を表します。

種別	表示内容	説明
[EVENT]	リモート接点入力 N オフ	リモート接点入力が入力オフになったときに、リモート接点入力の端子名と状態名に応じて表示されます。 ※ N は 1～16 を表します。
	モーションディテクト	モーションディテクトを検知したときに表示されます。
	いたずら検知	いたずらを検知したときに表示されます。
[ERROR]	ストリーム(N) 配信開始失敗(理由) (IP アドレス [SessionID])	配信開始に失敗したときに表示されます。 ※ N は 1～4 を表します。 ※(理由) は配信失敗の要因を表します。詳細は P. 3-9 「配信開始失敗の理由」を参照してください。
	ストリーム(N) 配信終了(理由) (IP アドレス [SessionID])	配信が異常終了したときに表示されます。 ※ N は 1～4 を表します。 ※(理由) は異常終了の要因を表します。詳細は P. 3-9 「配信終了の理由」を参照してください。
	映像信号異常	本機の故障または外来ノイズなどにより、映像信号の異常を検出したときに表示されます。
	認証失敗(IP アドレス、ユーザー名)	認証に失敗したときに表示されます。
	FTP エラー 1 (接続不可)	FTP サーバーに接続できなかったときに表示されます。
	FTP エラー 2 (認証失敗)	FTP サーバーとの認証に失敗したときに表示されます。
	FTP エラー 3 (転送不可 [レスポンスステータスコード])	FTP サーバー側の要因(書き込み権限がない、FTP サーバーのディスク容量不足など)で FTP アップロードができなかったときに表示されます。
	FTP エラー 4 (強制終了)	処理が時間内に完了せず、FTP アップロードができなかったときに表示されます。
	FTP エラー 5 (設定値不正)	ユーザー名やパスワードに使用できない文字を設定しているため、FTP アップロードができなかったときに表示されます。
	FTP エラー (その他)	FTP エラー 1～5 のいずれにも該当しないときに表示されます。
	メールエラー 1 (接続不可)	メールサーバーに接続できなかったときに表示されます。
	メールエラー 2 (認証失敗)	メールサーバーとの認証に失敗したときに表示されます。
	メールエラー 3 (設定値不正)	ユーザー名、パスワード、または宛先メールアドレスに使用できない文字を設定しているため、メール送信ができなかったときに表示されます。
	メールエラー (その他)	何らかの理由により、メール送信に失敗したときに表示されます。
	HTTP イベント通知失敗(レスポンスステータスコード*) URL	HTTP (S)サーバーへの通知に失敗したときに表示されます。HTTP (S)サーバーからエラー応答があった場合はレスポンスステータスコードを表示します。
	ストリーム(N) RTMP 配信開始失敗 1	RTMP サーバーに接続できないため RTMP 配信を開始できなかったときに表示されます。 ※ N は 1、2、4 を表します。
ストリーム(N) RTMP 配信開始失敗 2	RTMP サーバーとの通信エラーにより RTMP 配信を開始できなかったときに表示されます。 ※ N は 1、2、4 を表します。	
疎通確認(Ping)失敗(宛先アドレス)	実行回数指定なしの疎通確認に失敗したときに表示されます。	

\* HTTP (S) サーバーに送信できなかった場合はエラーコード(負数)を表示します。

## [配信開始失敗の理由]

映像信号異常	本機の故障または外来ノイズなどにより、映像信号の異常を検出し、配信を開始できないときに表示されます。
配信上限超過	アクセスが集中して本機の最大配信可能数または最大配信可能ビットレートに達したため、配信を開始できないときに表示されます。
認証失敗	ユーザー認証に失敗して配信を開始できないときに表示されます。 ※ 認証失敗ではストリーム番号は表示されません。

## [配信終了の理由]

タイムアウト	映像、音声の配信中に配信先と一定時間通信ができなかったときに表示されます。
バッファオーバーフロー	ネットワークの通信状態が悪く、安定して映像配信を継続できなくなったときに表示されます。
映像信号異常	本機の故障または外来ノイズなどにより、映像信号の異常を検出したため、配信を継続できないときに表示されます。
その他	上記以外の理由により、配信を継続できなくなったときに表示されます。

## ■ ファームウェア

機器情報の表示、ファームウェアのアップデート、TRIFORA VIEW のダウンロードを行います。

### ● システム情報

機器情報の表示を行います。

[メンテナンス(メニュー) → ファームウェア(タブ)] をクリックします。

システム情報	
品名	フルHDネットワークPTZカメラ
品番	N-C5500
MACアドレス	00-05-F9-11-FA-5F
ハードウェアバージョン	51
メインファームウェアバージョン	1.7.0.4.105
PTZマイコンファームウェアバージョン	2.0.2.39 / 2.0.1.22
カメラモジュールバージョン	7.0 / 111
FPGAバージョン	2

品名	: 本機の品名を表示します。
品番	: 本機の品番を表示します。
MAC アドレス	: 本機の MAC アドレスを表示します。
ハードウェアバージョン	: 本機のハードウェアバージョンを表示します。
メインファームウェアバージョン	: 本機のメインファームウェアバージョンを表示します。
PTZ マイコンファームウェアバージョン	: 本機の PTZ マイコン、PTZ サブマイコンファームウェアバージョンを表示します。
カメラモジュールバージョン	: 本機のカメラモジュールバージョンを表示します。
FPGA バージョン	: 本機の FPGA バージョンを表示します。

## ● ファームウェア

メインファームウェアまたはマイコンファームウェアのアップデートを行います。  
[メンテナンス(メニュー) → ファームウェア(タブ)] をクリックします。

メモ

ファームウェアのアップデートは IP 設定ツールからも行うことができます。IP 設定ツールから行うと複数のカメラを一度に操作することができます。詳しくは P. 4-2 [IP 設定ツール] を参照してください。

[ファームウェアをアップデートする]

ご注意

ファームウェアのアップデート中は、再起動や電源の切断を行わないでください。  
アップデート中に再起動したり電源を切断したりすると、ファームウェアが破損して正常に起動できなくなるおそれがあります。

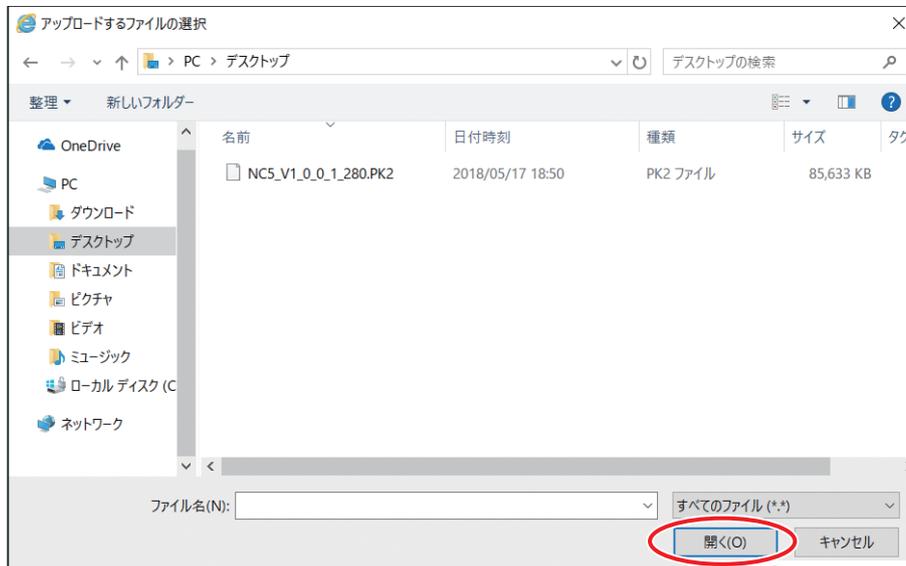
メモ

以下の TOA 商品データダウンロードサイトからカメラの品番を検索して「ファームウェア」をダウンロードしてください。

<https://www.toa-products.com/download/>



- 1 ファームウェアアップデートの「参照」ボタンをクリックする。  
ファイル選択画面が表示されます。



- 2 ファイルを選択し、「開く」をクリックする。

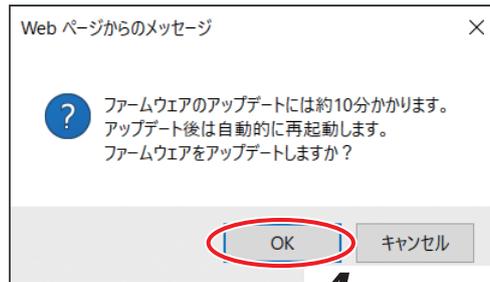
メモ

本機のファームウェアファイルの拡張子は以下のとおりです。

メインファームウェアの拡張子 : [.PK2]、[.PA2]  
 マイコンファームウェアの拡張子(N-C5500、N-C5700) : [.PM2]  
 マイコンファームウェアの拡張子(N-C5500A、N-C5700A) : [.PN2]

- 3 ファームウェアアップデートの「実行」ボタンをクリックする。

確認のポップアップが表示されます。



**4** クリックする

## 4 「OK」をクリックする。

ファームウェアのアップデートを開始します。  
アップデート後は自動的に再起動します。

## ● ソフトウェアのダウンロード

本機から PC に TRIFORA VIEW をダウンロードします。  
[メンテナンス(メニュー) → ファームウェア(タブ)] をクリックします。

メモ

本項目は、Internet Explorer を使用する場合のみ表示されます。

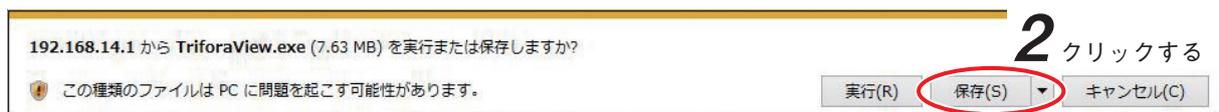
[TRIFORA VIEW を PC にダウンロードする]



**1** クリックする

## 1 TRIFORA VIEW の「実行」ボタンをクリックする。

ポップアップが表示されます。



**2** クリックする

## 2 「保存」をクリックする。

ダウンロードを開始します。  
ダウンロードが完了するとポップアップが表示されます。

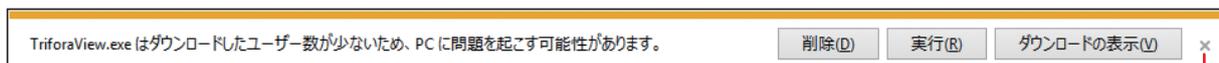
**3** クリックする



## 3 「x」をクリックする。

メモ

ダウンロードが完了したときに以下の画面が表示されることがありますが、ダウンロードしたソフトウェアに問題はありませので、「x」をクリックして閉じてください。



クリックする

## ● アクティベート

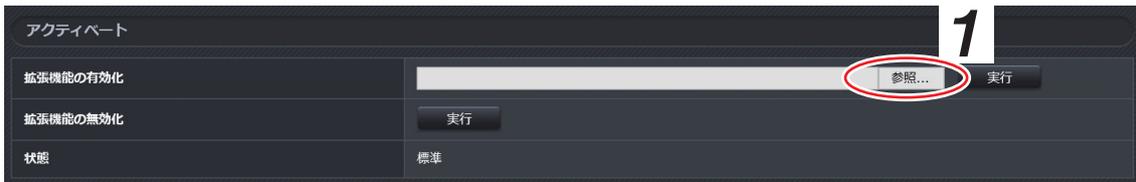
拡張機能の有効化または無効化を行います。

[メンテナンス(メニュー) → ファームウェア(タブ)] をクリックします。

メモ

拡張機能の有効化にはアクティベーションファイルが必要です。

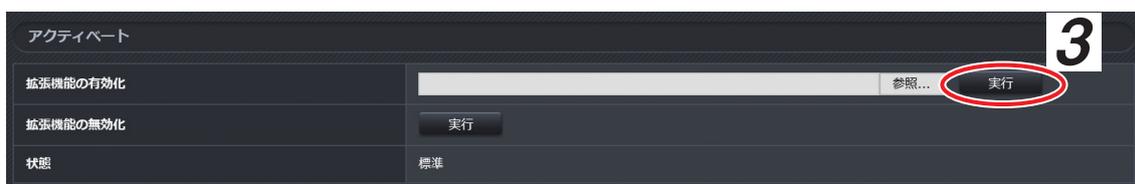
アクティベーションファイルの入手については、[P. 5-11](#) を参照してください。



- 1 拡張機能の有効化の「参照」ボタンをクリックする。  
ファイル選択画面が表示されます。

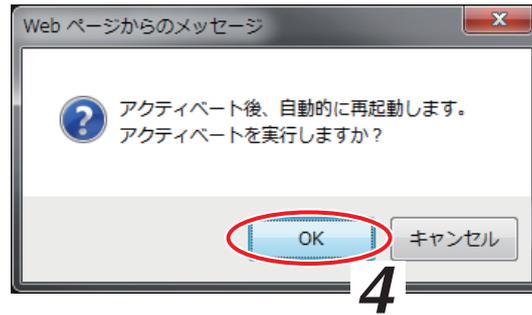


- 2 ファイルを選択し、「開く」をクリックする。  
アクティベーションファイルの拡張子は「lic」です。



- 3 拡張機能の有効化の「実行」ボタンをクリックする。

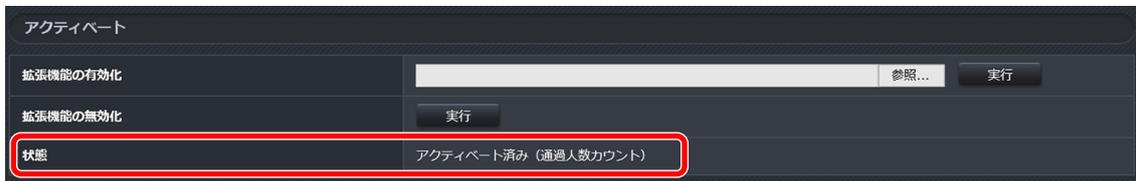
確認のポップアップが表示されます。



#### 4 「OK」をクリックする。

カメラが自動的に再起動します。

アクティベートが完了すると、再起動したあと「状態」にアクティベートされた機能名が表示されます。



#### メモ

アクティベートされた機能の使用方法については、各機能の説明書をご覧ください。

## ■ 設 定

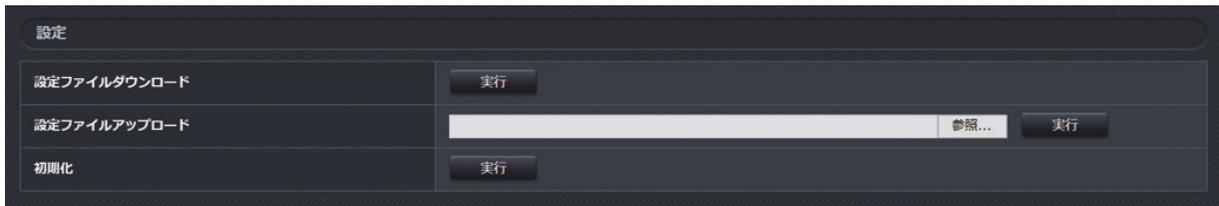
設定ファイルのダウンロード、設定ファイルのアップロード、設定の初期化、再起動を行います。

### メモ

設定ファイルのダウンロード、アップロード、再起動は IP 設定ツールからも行うことができます。  
設定ファイルのダウンロード、再起動は、IP 設定ツールから行くと、複数のカメラを一度に操作することができます。詳しくは P.4-2 「IP 設定ツール」を参照してください。

### ● 設定

[メンテナンス(メニュー) → 設定(タブ)] をクリックします。



[設定ファイルをダウンロードする]

### ご注意

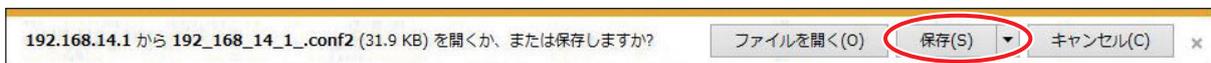
設定ファイルのダウンロード中は、再起動や電源の切断を行わないでください。  
ダウンロード中に再起動したり電源を切断したりすると、設定ファイルが破損して正常に保存できないことがあります。

### メモ

- 設定ファイルのダウンロードで反映されない設定値は以下のとおりです。
  - ・[基本 (メニュー) → ユーザー (タブ)] : ユーザー名、パスワード、権限レベル
  - ・[基本 (メニュー) → アクセス制限 (タブ)] : ネットワークアドレス 1～5、サブネット 1～5
- 保存される設定ファイルのファイル名は「IP アドレス\_名称.conf2」です。

**1** 設定ファイルダウンロードの「実行」ボタンをクリックする。  
ポップアップが表示されます。

**2** クリックする



**2** 「保存」をクリックする。  
ダウンロードを開始します。  
ダウンロードが完了するとポップアップが表示されます。

**3** クリックする



**3** 「×」をクリックする。

## [設定ファイルをアップロードする]

## ご注意

- 設定ファイルのアップロード中は、再起動や電源の切断を行わないでください。  
アップロード中に再起動したり電源を切断したりすると、設定ファイルが破損して正常に起動できなくなるおそれがあります。
- 品番の異なる機器の設定ファイルはアップロードできません。

## メモ

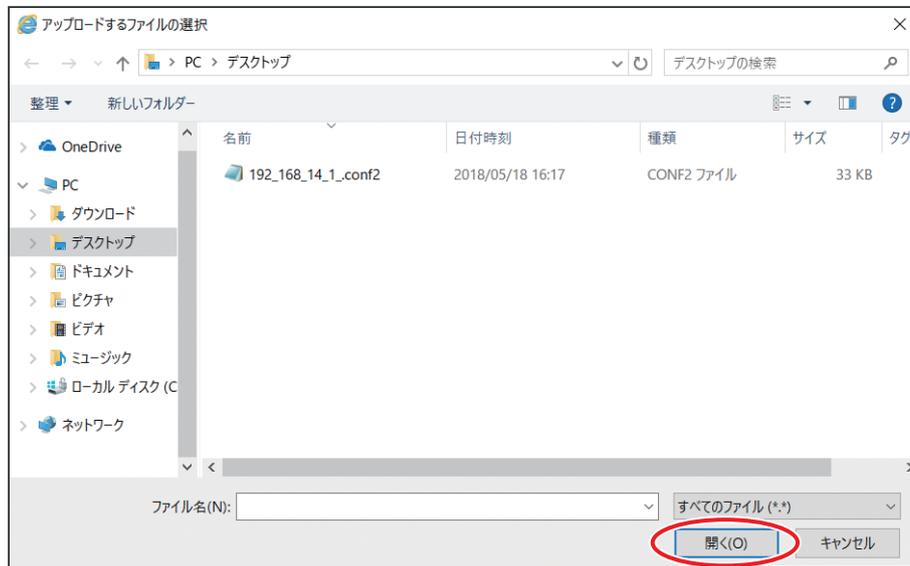
設定ファイルのアップロードで反映されない設定値は以下のとおりです。

- [基本 (メニュー) → ユーザー (タブ)] : ユーザー名、パスワード、権限レベル
- [基本 (メニュー) → アクセス制限 (タブ)] : ネットワークアドレス 1～5、サブネット 1～5

## 1 設定ファイルアップロードの「参照」ボタンをクリックする。

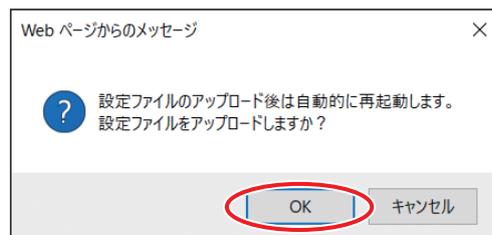
## メモ

本機の設定ファイルの拡張子は「.conf2」です。



## 2 クリックする

## 2 ファイルを選択し、「開く」をクリックする。

3 設定ファイルアップロードの「実行」ボタンをクリックする。  
確認のポップアップが表示されます。

## 4 クリックする

## 4 「OK」をクリックする。

設定ファイルのアップロードを開始します。  
アップロード後は自動的に再起動します。

[設定を初期化する (工場出荷時に戻す)]

### ご注意

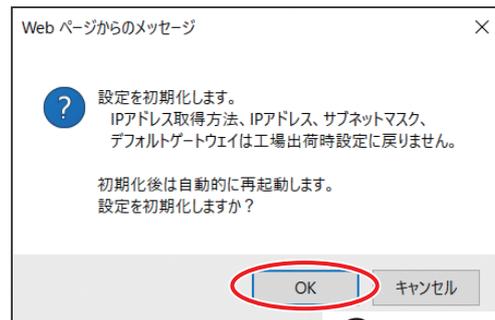
IP アドレス取得方法、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは工場出荷時の設定に戻りません。

**1** 初期化の「実行」ボタンをクリックする。

**2** 確認のポップアップが表示されるので、「OK」をクリックする。

初期化を開始します。

初期化後は自動的に再起動します。



**2** クリックする

### メモ

再起動完了後は、Web ブラウザーを再起動してください。

## ● 再起動

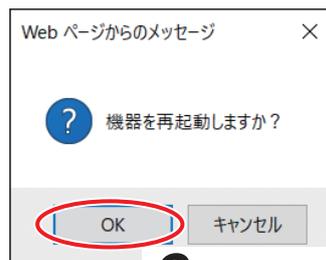
[メンテナンス(メニュー) → 設定(タブ)] をクリックします。

[再起動する]



**1** 再起動の「実行」ボタンをクリックする。

確認のポップアップが表示されます。



**2** クリックする

**2** 「OK」をクリックする。

再起動を開始します。

## ● ポジションリフレッシュ

長時間使用していると、プリセット位置がずれることがあります。  
リフレッシュをすることでプリセット位置を補正する効果があるため、定期的な実行をお勧めします。  
リフレッシュは手動で行う方法と定期的に自動で行う方法があります。

[メンテナンス(メニュー) → 設定(タブ)] をクリックします。

[手動でポジションリフレッシュを行う]

### 1 手動の「実行」ボタンをクリックする。



### 2 確認のポップアップが表示されるので、「OK」をクリックする。 ポジションリフレッシュを開始します。

[自動でポジションリフレッシュを行う]

### 1 自動を「オン」にする。(工場出荷時：オフ)



### 2 ポジションリフレッシュを行う時刻を選択する。 時刻は 00 時 00 分 ~ 23 時 45 分まで 15 分間隔で設定できます。(工場出荷時：00 時 00 分)

### 3 「設定」ボタンをクリックする。

☒ ☒

- ポジションリフレッシュ中は画面全体が黒色で表示されますが、故障ではありません。
- ポジションリフレッシュ中(約1分間)はカメラの操作ができません。

## ■ 動作状況

本機が映像配信している機器の情報を表示します。

### ● 配信情報

[メンテナンス(メニュー) → 動作状況(タブ)] をクリックします。

配信情報	
配信数	0 / 14
配信数 (マルチキャスト)	0 / 64
配信ビットレート	0 kbps / 40960 kbps
空きビットレート	40960 kbps

#### 配信数

現在の配信数を表示します。

#### 配信数(マルチキャスト)

現在のマルチキャストによる配信数を表示します。  
マルチキャストは最大 64 カ所まで配信できます。

#### 配信ビットレート

現在の配信ビットレートを表示します。

#### 空きビットレート

現在の空きビットレートを表示します。  
最大配信ビットレートから、現在の配信ビットレートを引いた値になります。

#### メモ

最大配信数と最大配信ビットレートは音声の機能 (P. 2-30) および Web サーバー動作モード (P. 2-91) の設定によって以下のように変わります。

Web サーバー動作モード	音声機能	最大配信数	最大配信ビットレート
HTTP	オフ	14	40960 kbps
	オフ以外	14	20480 kbps
HTTPS または両方	オフ	8	16384 kbps
	オフ以外	8	16384 kbps

## ● 配信一覧

本機が映像配信している機器の IP アドレス、ユーザー名、ストリーム、およびビットレートを表示します。  
[メンテナンス(メニュー) → 動作状況(タブ)] をクリックします。

配信一覧				
No	IPアドレス	ユーザー名	ストリーム	ビットレート
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

## ● 音声送話元

本機が音声を受信しているとき、音声の送話元の IP アドレス、ユーザー名を表示します。  
[メンテナンス(メニュー) → 動作状況(タブ)] をクリックします。

音声送話元	
IPアドレス	
ユーザー名	

## ● 電源 (N-C5700、N-C5700A のみ)

PoE 給電の状態を表示します。  
[メンテナンス(メニュー) → 動作状況(タブ)] をクリックします。

電源	
PoE (60W)	×

### PoE (60 W)

- : PoE (60 W) で動作しています。
- × : PoE (60 W) 以外で動作しています。

## ■ ネットワーク

他のネットワーク機器との疎通確認を行います。

### ● 疎通確認 (Ping)

[メンテナンス(メニュー) → ネットワーク(タブ)] をクリックします。

#### 宛先アドレス

宛先アドレスを設定します。(工場出荷時：空欄)

#### データサイズ

送信するデータサイズを設定します。(工場出荷時：32)

[入力] 32 ~ 1460 (Byte)

メモ

- ネットワーク上には、本設定で設定したデータサイズに ICMP ヘッダー (8 Byte) と IP ヘッダー (20 Byte) に加えたサイズのデータを送信します。
- MTU の設定 (P. 2-7) を工場出荷時から変更している場合は、データサイズによってはファイルが分割される場合があります (IP フラグメント)。MTU の値より小さいデータサイズに設定してください。

#### 実行回数指定

疎通確認の実行回数を設定します。実行方法は 2 種類あり、本設定で切り換えることができます。(工場出荷時：2 回)

[選択]

なし / 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回

メモ

- なしを選択すると、カメラから宛先アドレスに 10 秒間隔で Ping を送り続けます。疎通確認欄に Ping を送信する「開始」ボタンと停止するための「停止」ボタンが表示されます。
- 1 回～4 回を選択すると、カメラから宛先アドレスに対して 1 秒間隔で指定した回数の Ping 送信を行います。疎通確認欄に「実行」ボタンが表示されます。

#### タイムアウト

タイムアウトするまでの時間を設定します。(工場出荷時：2 秒)

[選択] 2 秒 / 3 秒 / 4 秒 / 5 秒

#### 疎通確認

[実行回数指定を「なし」にしたとき]

##### 開始

ボタンをクリックすると、カメラから宛先アドレスに 10 秒間隔で Ping を送り続けます。

メモ

カメラが再起動した場合は、起動完了時から送信を再開します。

##### 停止

ボタンをクリックすると、Ping の送信を停止します。疎通確認の実行結果 (Ping 応答) は確認できません。開始時、停止時、失敗時のみ動作ログに記録されます。P. 3-6「[動作ログ](#)」を参照してください。

[実行回数を指定したとき]

#### 実行

ボタンをクリックすると、カメラから宛先アドレスに対して1秒間隔で指定した回数のPing送信を行います。結果欄に疎通確認の実行結果(Ping 応答)が表示されます。

メモ

指定した回数の送信が完了するまで待機状態になります。

#### 結果

実行回数を指定して実行したときのみ表示されます。以下は実行結果の例です。

- 応答があった場合の例

```
PING 192.168.1.2 (192.168.1.2): 1460 data bytes
1468 bytes from 192.168.1.2: seq=0 ttl=64 time=2.093 ms
1468 bytes from 192.168.1.2: seq=1 ttl=64 time=3.552 ms
1468 bytes from 192.168.1.2: seq=2 ttl=64 time=2.180 ms
1468 bytes from 192.168.1.2: seq=3 ttl=64 time=2.131 ms

--- 192.168.1.2 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 2.093/2.489/3.552 ms
```

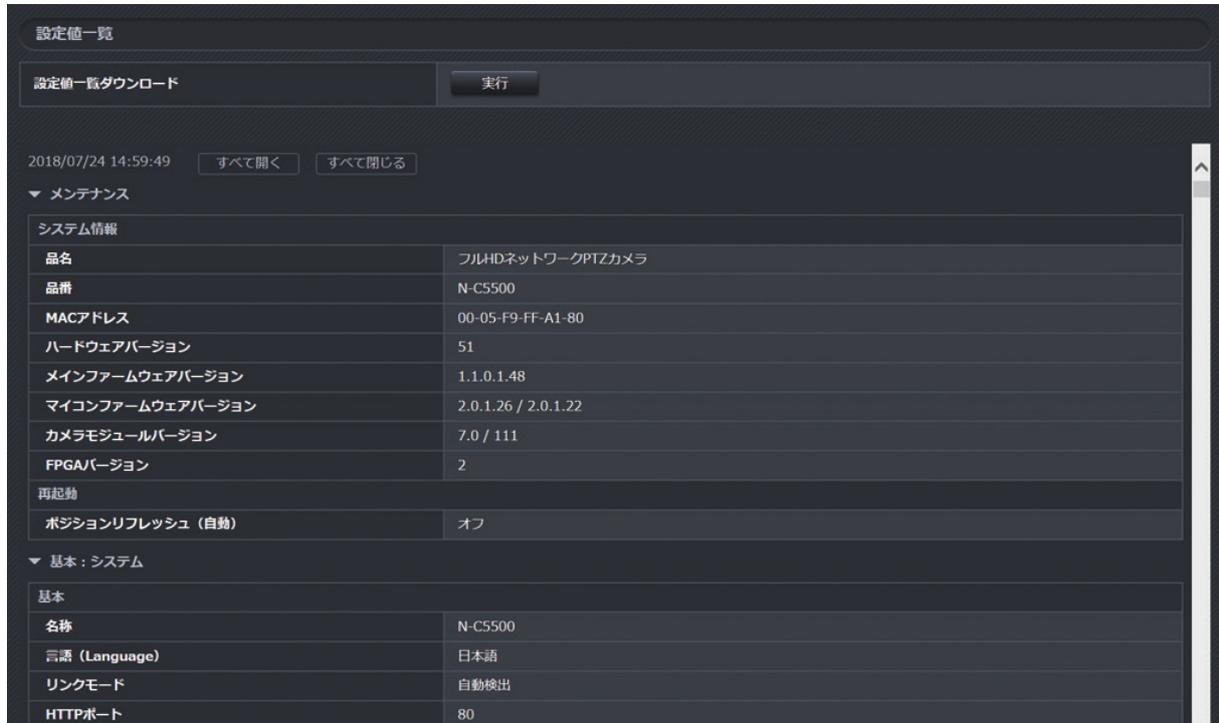
- ネットワーク環境が不安定な場合

```
PING 192.168.1.3 (192.168.1.3): 32 data bytes
40 bytes from 192.168.1.3: seq=0 ttl=64 time=0.905 ms
40 bytes from 192.168.1.3: seq=1 ttl=64 time=1.066 ms

--- 192.168.1.3 ping statistics ---
4 packets transmitted, 2 packets received, 50% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.905/0.985/1.066 ms
```

## ■ 設定値一覧

Web ビューアで設定した項目の内容の表示、保存を行います。  
 [メンテナンス(メニュー) → 設定値一覧(タブ)] をクリックします。



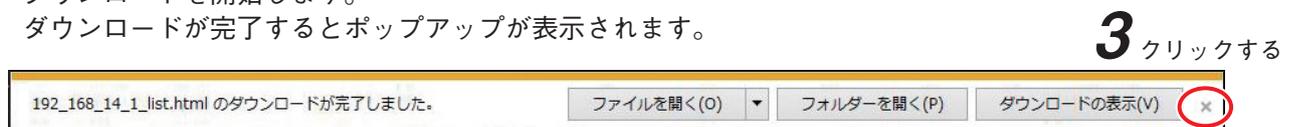
### ● 設定値一覧をダウンロードする



- 1** 設定値一覧ダウンロードの「実行」ボタンをクリックする。  
 ポップアップが表示されます。



- 2** 「保存」をクリックする。  
 ダウンロードを開始します。  
 ダウンロードが完了するとポップアップが表示されます。



- 3** 「x」をクリックする。

# 第4章

---

ツールの使いかた

# IP 設定ツール

## ■ 使用する前に

付属 CD を PC に挿入し、「IPSettingTool.exe (IP 設定ツール)」をデスクトップなどに保存してください。

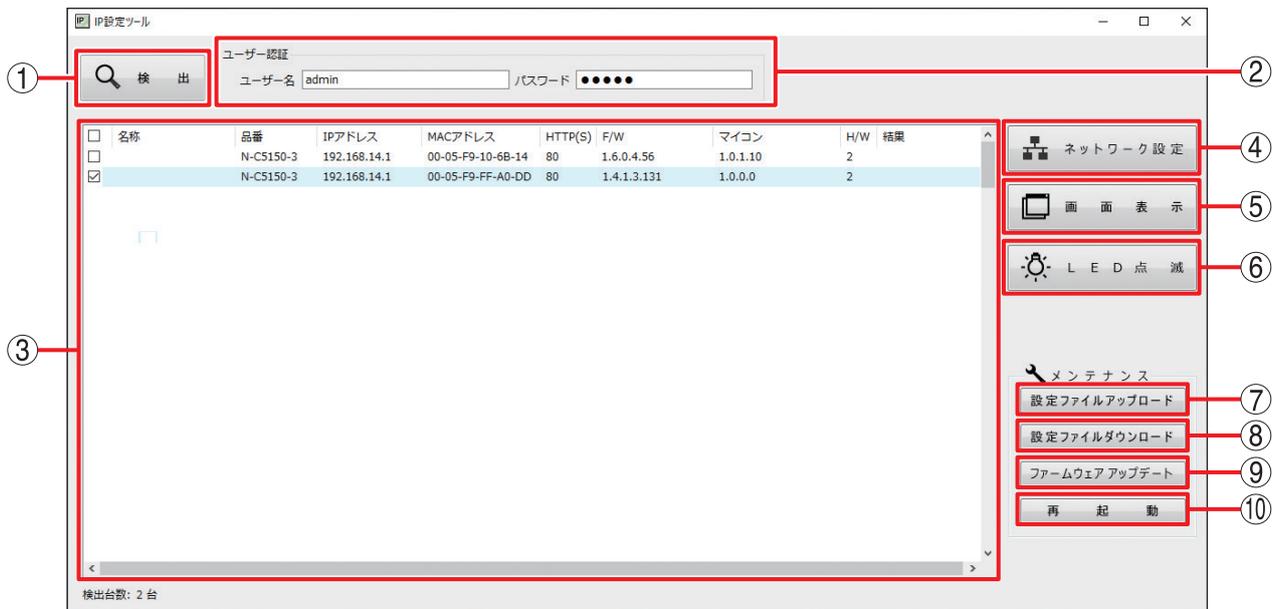


### ご注意

Web サーバー動作モードが「HTTPS」に設定されたカメラと通信する場合は、事前にご使用の PC に対象のカメラのサーバー証明書をインストールしてください。

## ■ 名称とはたらき

付属 CD 内の「IPSettingTool.exe (IP 設定ツール)」の名称とはたらきについて説明します。



- ① 検出  
ネットワークに接続されているカメラを検出します。
  - ② ユーザー名、パスワード  
操作を行うカメラのユーザー名とパスワードを入力してください。  
IP 設定ツールを起動したときは、カメラの工場出荷時のユーザー名(admin)とパスワード(guest)が入力されています。
  - ③ 表示画面  
検出されたカメラの詳細を表示します。
- メモ
- ④～⑩の操作は、表示画面内のチェックボックスでカメラを選択してから行ってください。ただし、複数のカメラを選択したときは、⑤～⑦の操作はできません。これらの操作は個別に操作してください。
  - ④、⑥、⑦～⑩の操作結果は、表示画面の「結果」欄に表示されます。
  - ネットワーク設定をしたときは、「検出」ボタンをクリックして表示画面を更新してください。
  - 設定ファイルアップロード、ファームウェアアップデートを行ったときは、しばらくしてから「検出」ボタンをクリックして表示画面を更新してください。
  - 再起動中の機器は表示されません。

## ④ ネットワーク設定

表示画面内のチェックボックスで、カメラを1台のみ選択したときは「個別設定画面」が表示されます。複数のカメラを選択したときは「一括設定画面」が表示されます。

[IP]

**名称**

カメラの名称を設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 15文字まで

**IP アドレス取得方法**

IP アドレス取得方法を設定します。(工場出荷時：手動)

[選択] 手動／自動(DHCP)

**IP アドレス**

カメラの IP アドレスを設定します。(工場出荷時：192.168.14.1)

**サブネットマスク**

サブネットマスクを設定します。(工場出荷時：255.255.255.0)

**デフォルトゲートウェイ**

デフォルトゲートウェイを設定します。(工場出荷時：0.0.0.0)

**HTTP (S) ポート**

カメラの HTTP または HTTPS サーバーポートの番号を設定します。通常は工場出荷時設定のままで使用することをお勧めします。(工場出荷時：80)

[入力] 80、443、1025 ～ 65535

メモ

Web サーバー動作モード(P. 2-91)が「HTTP」または「両方」のときは HTTP ポートの値(P. 2-7)、「HTTPS」のときは HTTPS ポートの値(P. 2-91)を設定します。

**IP アドレスの競合を確認する**

IP アドレスが重複していないかを確認するときにチェックを入れます。

メモ

- 複数のカメラを選択したときは、表示画面内の一番上の IP アドレスを元に、通し番号で割り当てられます。
- 「IP アドレスの競合を確認する」にチェックを入れても、使用しているネットワークアダプターと異なるネットワークの IP アドレスについては競合の確認はできません。
- IP アドレスの競合を検出した場合は、表示画面の結果欄に「IP アドレス競合」と表示されます。

## [外部サーバー]

**DNS サーバー**

## アドレス取得方法

DNS サーバーアドレスの取得方法を設定します。(工場出荷時：手動)

[選択] 手動 / DHCP (自動)

## プライマリ DNS サーバー

プライマリ DNS サーバーを設定します。(工場出荷時：空欄)

## セカンダリ DNS サーバー

セカンダリ DNS サーバーを設定します。(工場出荷時：空欄)

**NTP サーバー**

## 調時機能

NTP サーバーを利用して調時するときは「オン」に設定します。(工場出荷時：オフ)

[選択] オフ / オン

## アドレス取得方法

NTP サーバーアドレスの取得方法を設定します。(工場出荷時：手動)

[選択] 手動 / DHCP (自動)

## プライマリ NTP サーバー

プライマリ NTP サーバーを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 62 文字まで

## セカンダリ NTP サーバー

セカンダリ NTP サーバーを設定します。(工場出荷時：空欄)

[入力] 62 文字まで

**⑤ 画面表示**

Internet Explorer が起動します。カメラのユーザー名とパスワード(工場出荷時：ユーザー名「admin」パスワード「guest」)を入力すると、Web ビューアーが表示されます。

メ モ

Windows のバージョンによっては、Edge が起動することがあります。

**⑥ LED 点滅**

起動 LED が数秒間点滅します。

⑦ 設定ファイルアップロード

設定ファイルのアップロードを行います。

詳しくは P. 4-6「[設定ファイルをアップロードする](#)」を参照してください。

⑧ 設定ファイルダウンロード

設定ファイルのダウンロードを行います。

詳しくは P. 4-7「[設定ファイルをダウンロードする](#)」を参照してください。

⑨ ファームウェアアップデート

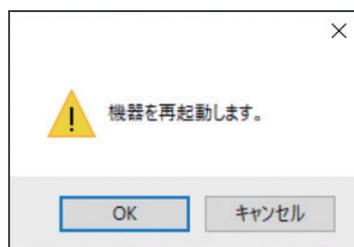
ファームウェアアップデートを行います。

詳しくは P. 4-8「[ファームウェアをアップデートする](#)」を参照してください。

⑩ 再起動

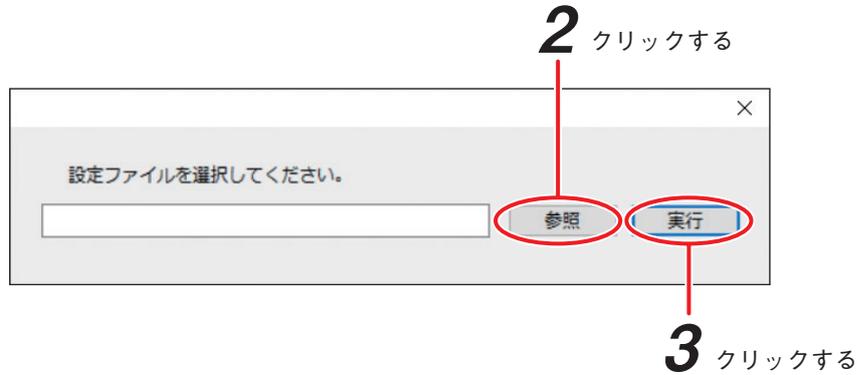
カメラを選択し、「再起動」ボタンをクリックすると、確認のポップアップが表示されます。

「OK」をクリックするとカメラが再起動します。



## ■ 設定ファイルをアップロードする

- 1 カメラを選択し、「設定ファイルアップロード」ボタンをクリックする。  
ファイル選択画面が表示されます。



- 2 「参照」をクリックしてアップロードする設定ファイル（拡張子 .conf2）を選択する。

- 3 「実行」をクリックする。

設定ファイルのアップロードを開始します。

結果欄に「OK」と表示されるとカメラが自動的に再起動します。

しばらくしてから「検出」ボタンをクリックして表示画面を更新してください。

### ■ ご注意

- 設定ファイルのアップロード中は、再起動や電源の切断を行わないでください。  
アップロード中に再起動したり電源を切断したりすると、設定ファイルが破損して正常に起動できなくなるおそれがあります。
- カメラやネットワークの負荷が高い状況では、表示画面の結果欄に「応答なし」と表示されることがあります。しばらくしてから設定を確認して更新されていない場合は再度実行してください。
- 品番の異なる機器の設定ファイルはアップロードできません。

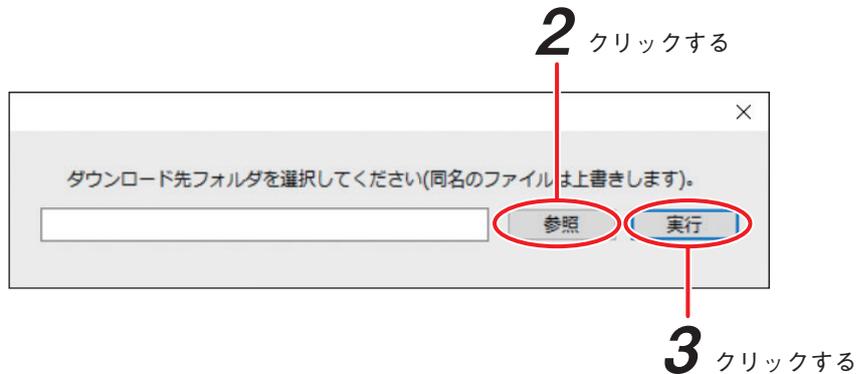
### ■ メモ

以下の設定値はダウンロードした設定ファイルに含まれません。

- [基本(メニュー) → ユーザー (タブ)] : ユーザー名、パスワード、権限レベル
- [基本(メニュー) → アクセス制限(タブ)] : ネットワークアドレス1～5、サブネット1～5

## ■ 設定ファイルをダウンロードする

- 1 カメラを選択し、「設定ファイルダウンロード」ボタンをクリックする。  
ダウンロード先のフォルダーを選択する画面が表示されます。



- 2 「参照」をクリックしてダウンロード先のフォルダーを選択する。

- 3 「実行」をクリックする。

設定ファイルのダウンロードを開始します。  
ダウンロードが完了すると結果欄に「OK」と表示されます。  
保存される設定ファイルのファイル名は「IP アドレス\_名称.conf2」です。

### ■ ご注意

設定ファイルのダウンロード中は、再起動や電源の切断を行わないでください。  
ダウンロード中に再起動したり電源を切断したりすると、設定ファイルが破損して正常に保存できないことがあります。

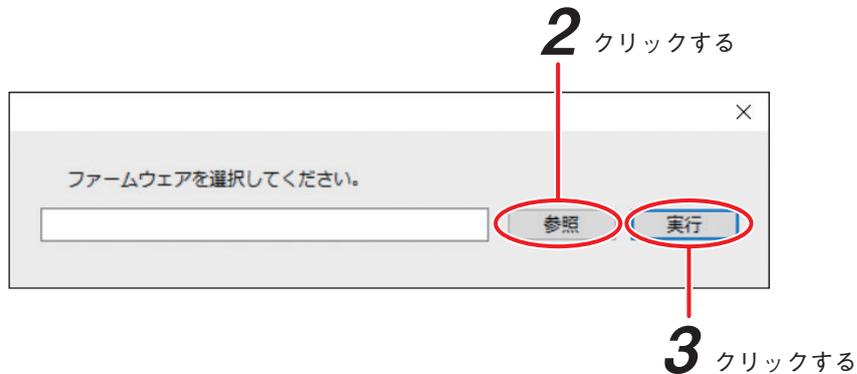
### ■ メモ

以下の設定値はダウンロードした設定ファイルには含まれません。

- [基本(メニュー) → ユーザー (タブ)] : ユーザー名、パスワード、権限レベル
- [基本(メニュー) → アクセス制限(タブ)] : ネットワークアドレス1～5、サブネット1～5

## ■ ファームウェアをアップデートする

- 1** カメラを選択し、「ファームウェアアップデート」ボタンをクリックする。  
ファイル選択画面が表示されます。



- 2** 「参照」をクリックしてアップデートするファームウェアファイルを選択する。

メインファームウェア拡張子 : 「.PK2」、 「.PA2」  
 マイコンファームウェアの拡張子 (N-C5500、N-C5700) : 「.PM2」  
 マイコンファームウェアの拡張子 (N-C5500A、N-C5700A) : 「.PN2」

- 3** 「実行」をクリックするとファームウェアアップデートを開始します。

結果欄に「100%」と表示されるとカメラが自動的に再起動します。  
 しばらくしてから「検出」ボタンをクリックして表示画面を更新してください。

### ご注意

- ファームウェアのアップデート中は、再起動や電源の切断を行わないでください。  
アップデート中に再起動したり電源を切断したりすると、ファームウェアが破損して正常に起動できなくなるおそれがあります。
- カメラやネットワークの負荷が高い状況では、表示画面の結果欄に「応答なし」と表示されることがあります。しばらくしてからバージョンを確認して、更新されていない場合は再度実行してください。

### メモ

以下の TOA 商品データダウンロードサイトからカメラの品番を検索して「ファームウェア」をダウンロードしてください。

<https://www.toa-products.com/download/>

# SD カードパスワード解除ツール

パスワードロック機能に対応した SD カードの場合、SD カードにパスワードを設定し、録画データを保護することができます。(参照 P. 2-53 「パスワードロック」)

パスワードが設定されている SD カードを PC に挿入しても認識されません。

専用の SD カードリーダーを PC に接続し、このツールを使用してパスワードを解除または削除することで認識可能になります。専用の SD カードリーダーについては、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/download/>) からカメラの品番を検索し、「推奨品 SDXC カード一覧」をご確認ください。

## [パスワードの解除]

SD カードに設定されているパスワードを一時的に解除して PC が SD カードを認識できるようにします。

SD カードを再度抜き差しすると、再度ロックがかかります。

カメラから取り出した SD カードを、再度カメラに挿入する際に使用します。

## [パスワードの削除]

SD カードに設定されているパスワードを完全に削除します。

パスワードを削除することで、どの PC でも SD カードを認識することができるようになります。

## メモ

パスワードの削除は P. 2-53 「パスワードロック」 から行うことができます。

## ■ 使用する前に

付属 CD を PC に挿入し、「コンピューター」から以下をデスクトップなどに保存してください。

- SD カードパスワード解除ツール .exe
- SD カードリーダードライバー (0007-RtsXStor\_10.0.370.188)

### ● ドライバーをインストールする

**1** SD カードリーダードライバー「0007-RtsXStor\_10.0.370.188」のフォルダー直下にある「setup.exe」をクリックする。

**2** PC 内のセキュリティソフトが起動するので、以下のポップアップで「はい」をクリックする。



**2** クリックする

- 3** インストールが始まり、完了すると以下のポップアップが表示されるので、「完了」をクリックする。



## ■ SD カードパスワード解除ツールを起動する

- 1** PC に専用の SD カードリーダーを接続する。
- 2** 専用の SD カードリーダーに、カメラの設定画面でパスワードロックを設定した SD カードを挿入する。
- 3** PC に保存した「SD カードパスワード解除ツール.exe」をダブルクリックする。

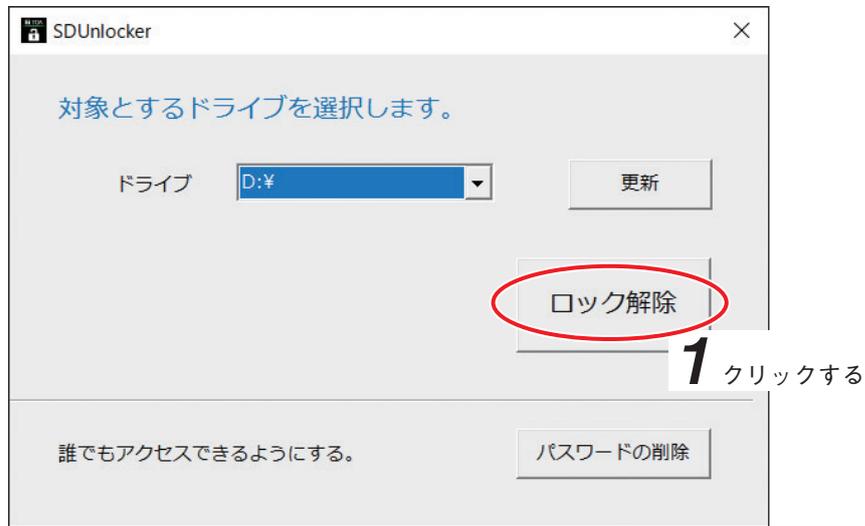


- 4** パスワードのロック解除または削除を行う。

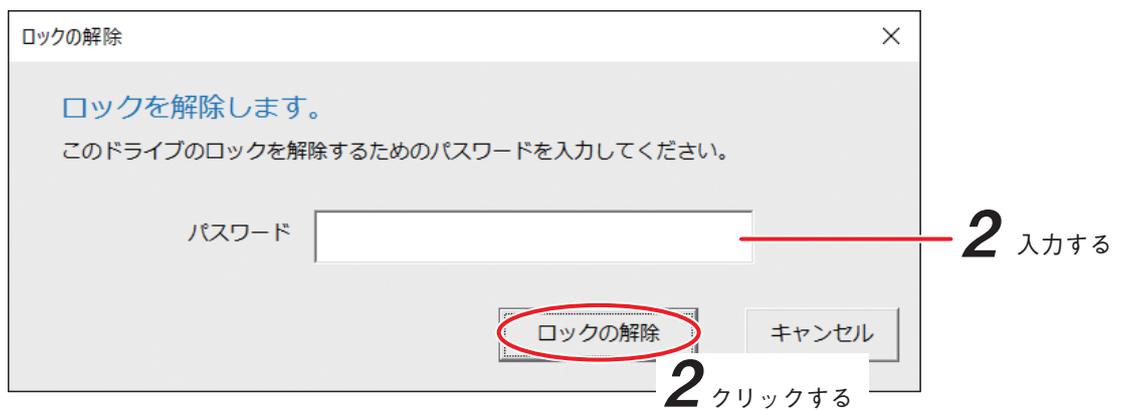


## ■ SD カードのパスワードを解除する

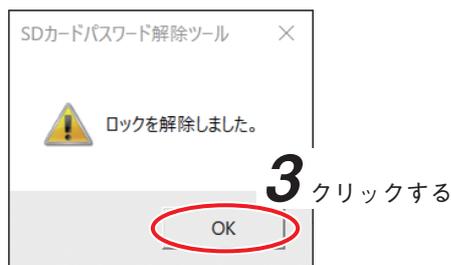
**1** SD カードパスワード解除ツールの「ロック解除」をクリックする。



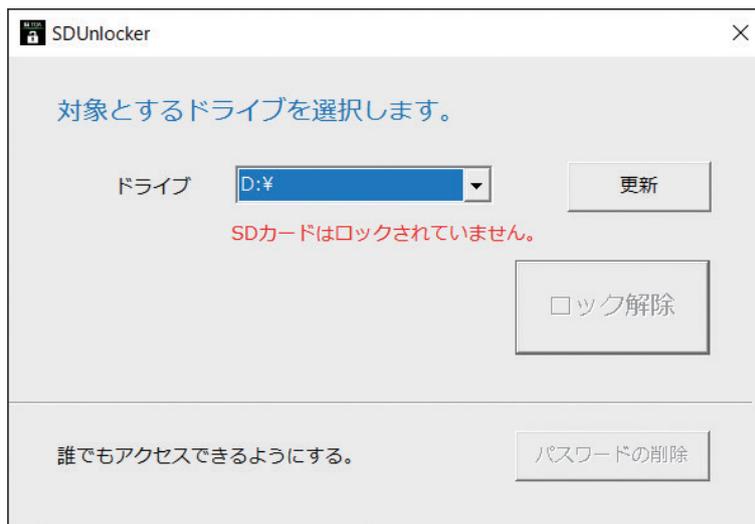
**2** カメラで設定したパスワードを入力し、「ロックの解除」をクリックする。  
パスワードが一時的に解除されます。



**3** 「OK」をクリックする。



パスワードロック解除後は以下のように表示されます。

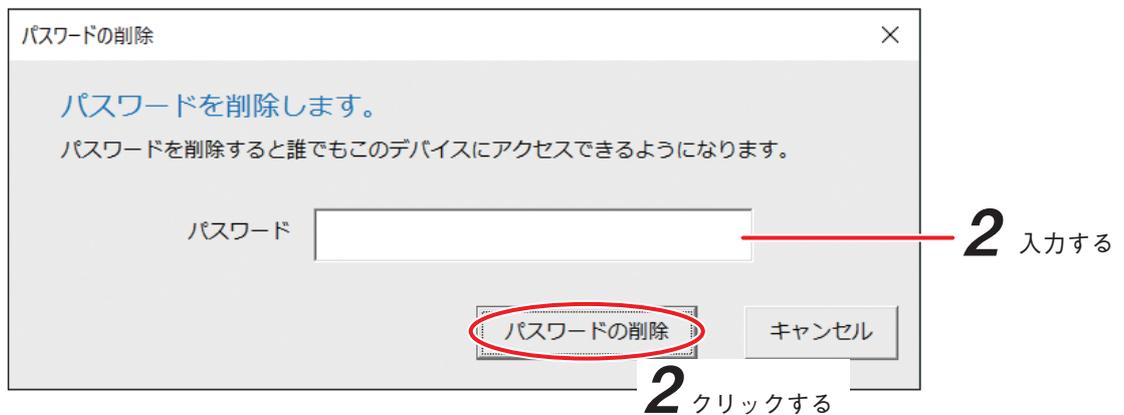


## ■ SD カードのパスワードを削除する

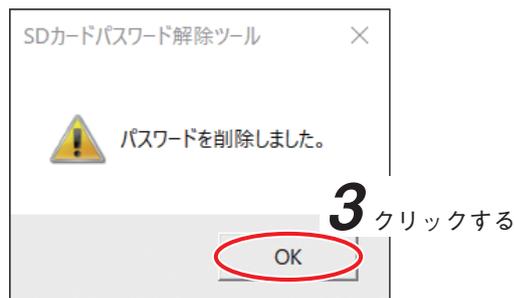
**1** SD カードパスワード解除ツールの「パスワードの削除」をクリックする。



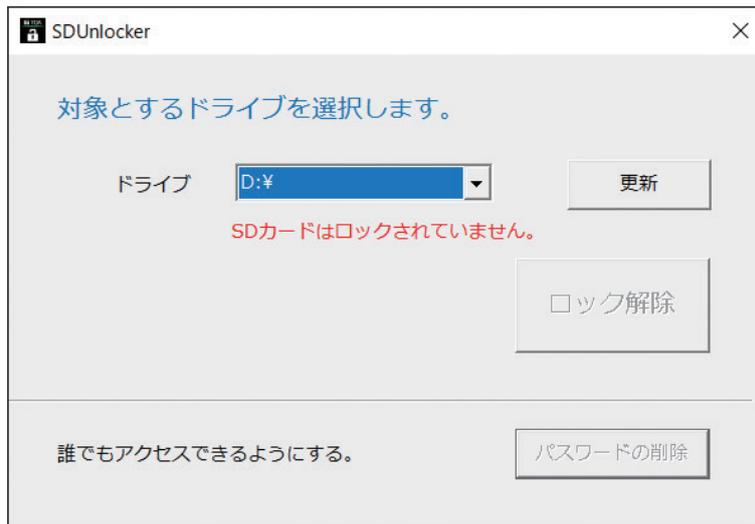
**2** カメラで設定したパスワードを入力し、「パスワードの削除」をクリックする。  
パスワードが削除されます。



**3** 「OK」をクリックする。



パスワード削除後は以下のように表示されます。



# 第5章

---

その他

# Web ビューアーの起動時間短縮について

LAN の設定を変更して TRIFORA VIEW のインストール、および Web ビューアーの起動時間を短縮することができます。

メモ

本項目は Internet Explorer を使用する場合の設定です。Edge を使用する場合は設定は不要です。

**1** Internet Explorer を起動する。

**2** 「ツール」メニューをクリックし、「インターネットオプション」をクリックする。

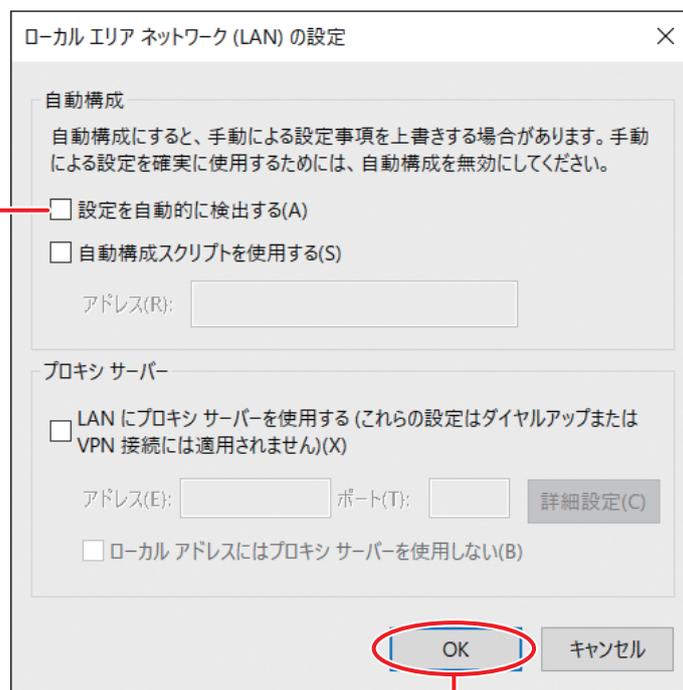
**3** 「接続」のタブをクリックし、「LAN の設定」をクリックする。

**4** 自動構成の「設定を自動的に検出する」のチェックを外し、「OK」をクリックする。

メモ

TRIFORA VIEW のインストール、および Web ビューアーには、安全性を確保するため、デジタル署名を付加しています。LAN の設定で「設定を自動的に検出する」が有効になっていると、ネットワーク接続時にプロキシの自動検出を行います。検出には数十秒かかる場合があります。

**4** チェックを外す



**4** クリックする

ご注意

PC をインターネット接続環境にするときは、LAN の設定を変更前に戻してください。

# TRIFORA VIEW の設定について

TRIFORA VIEW の設定をすると、TOP 画面で表示される映像や送受信される音声の品質を PC ごとに調整できます。

ネットワーク環境や PC 固有の問題で映像や音声の品質が劣化する場合に、TRIFORA VIEW の設定を変更すると改善されることがあります。

TRIFORA VIEW は、PC の [コントロールパネル → プログラム] カテゴリにある「TRIFORA VIEW」で設定できます。

メモ

本項目は Internet Explorer を使用する場合の設定です。Edge を使用する場合は設定は不要です。

## ● バッファリング

### 映像

映像が滑らかに再生されない場合は、映像バッファリングを大きくすることで改善できます。ただし、映像バッファリングで指定した時間、映像再生が遅延します。(工場出荷時：0.1 秒)

[選択] 0.1 秒 ~ 2.0 秒

メモ

映像バッファリングは、圧縮方式が H.265、H.264 の場合に有効です。圧縮方式が JPEG の場合は映像をバッファリングしません。

### 音声

受話音声途切れる場合、音声バッファリングを大きくすることで改善できます。

ただし、音声バッファリングで指定した時間、音声再生が遅延します。(工場出荷時：0.1 秒)

[選択] 0.1 秒 ~ 2.0 秒

## ● グラフィック

### ハードウェアアクセラレーション

通常は工場出荷時設定のままを使用することをお勧めします。

映像が遅延したり、コマ落ちしたりする場合は、「低」または「オフ」に設定すると改善されることがあります。(工場出荷時：高)

[選択] 高 / 低 / オフ

メモ

- 「高」は映像を縮小したときのジャギー（斜め線のギザギザ）を軽減します。
- 「低」および「オフ」は映像を縮小した際にジャギーが発生します。
- 「オフ」ではスナップショットとオーバーレイ\*は使用できません。

\* オーバーレイとは映像に図形や文字などを重ねて表示する機能です。Web ビューアーでは次の画面で使用しています。

- ・ モーションディテクトの発生エリア枠表示
- ・ 映像上のヒント、警告表示

「ダブルクリックでフルスクリーン解除」

「アクセスが集中しています。動作状況を確認してください。」など

## TRIFORA VIEW をアンインストールする

TRIFORA VIEW をアンインストールする方法です。

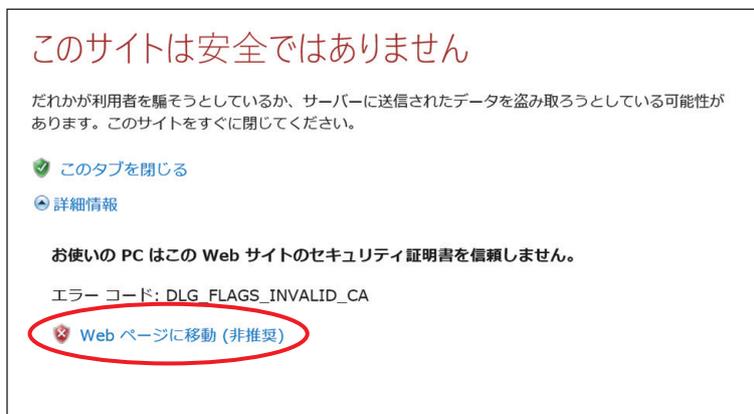
### ご注意

TRIFORA VIEW をアンインストールすると、Internet Explorer を使用したライブ映像の表示ができません。アンインストールする前に、Internet Explorer を終了させてください。

- 1 [コントロールパネル] から [プログラムのアンインストールまたは変更] を選択する。
- 2 「TRIFORA VIEW」をクリックする。
- 3 「アンインストール」をクリックする。  
「TRIFORA VIEW をアンインストールしますか？」という確認画面が表示されます。
- 4 「はい」をクリックする。

# 自己署名証明書を PC にインストールする

自己署名証明書を使用して HTTPS で本機にアクセスすると、証明書のエラーでブラウザの警告が表示される場合があります。



警告が表示された場合でも、「Web ページに移動(非推奨)」をクリックすると、本機にアクセスできますが、自己署名証明書を PC にインストールすることで、警告を非表示にすることができます。

以下の手順で作成した自己署名証明書のインストールを行ってください。



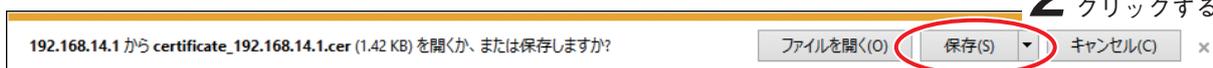
1 クリックする

1 自己署名証明書のダウンロード「実行」ボタンをクリックする。

メモ

ダウンロードを行うためには、あらかじめ自己署名証明書を生成 (P. 2-93) しておく必要があります。

ポップアップが表示されます。



2 クリックする

2 「保存」をクリックする。

ダウンロードを開始します。

ダウンロードが完了するとポップアップが表示されます。



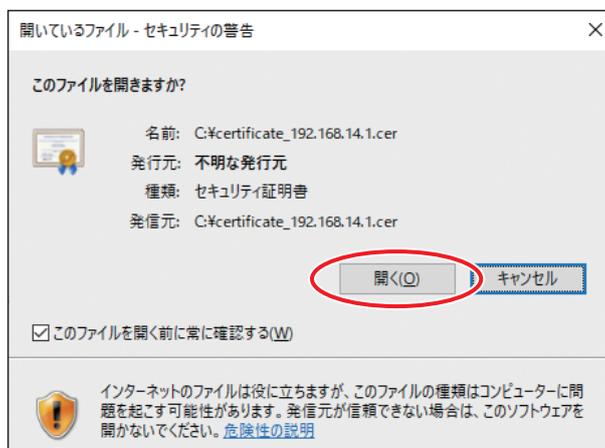
3 クリックする

3 「×」をクリックする。

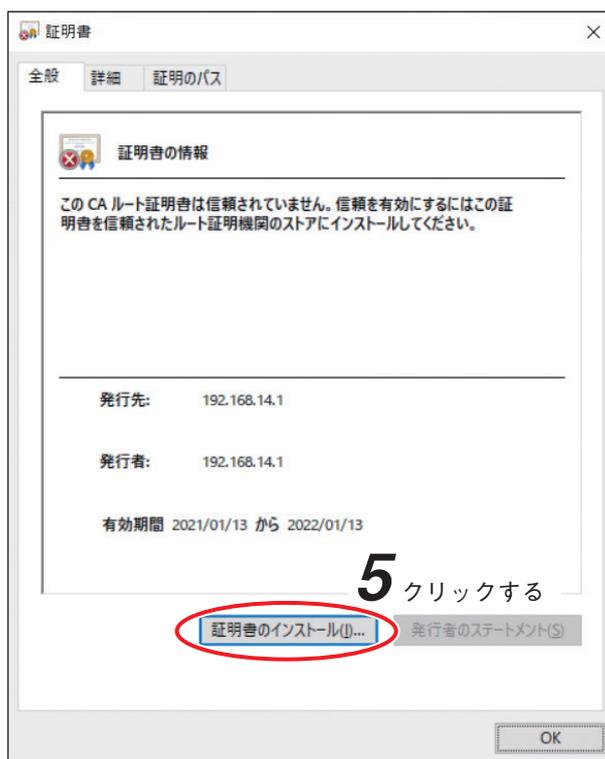
## 4 ダウンロードした自己署名証明書をダブルクリックする。

メモ

セキュリティ警告が表示された場合は「開く」をクリックしてください。

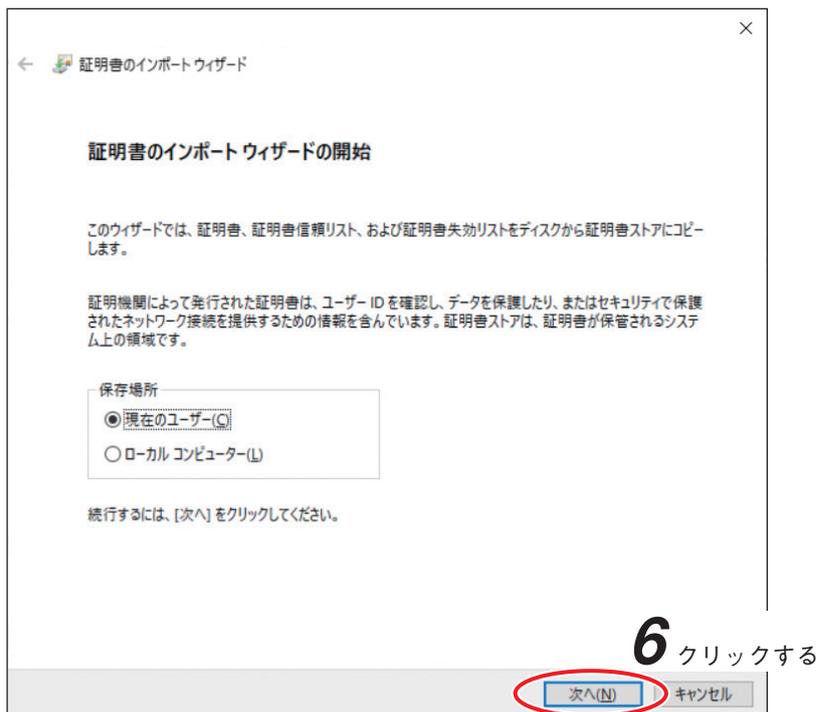


証明書ウィンドウが開きます。

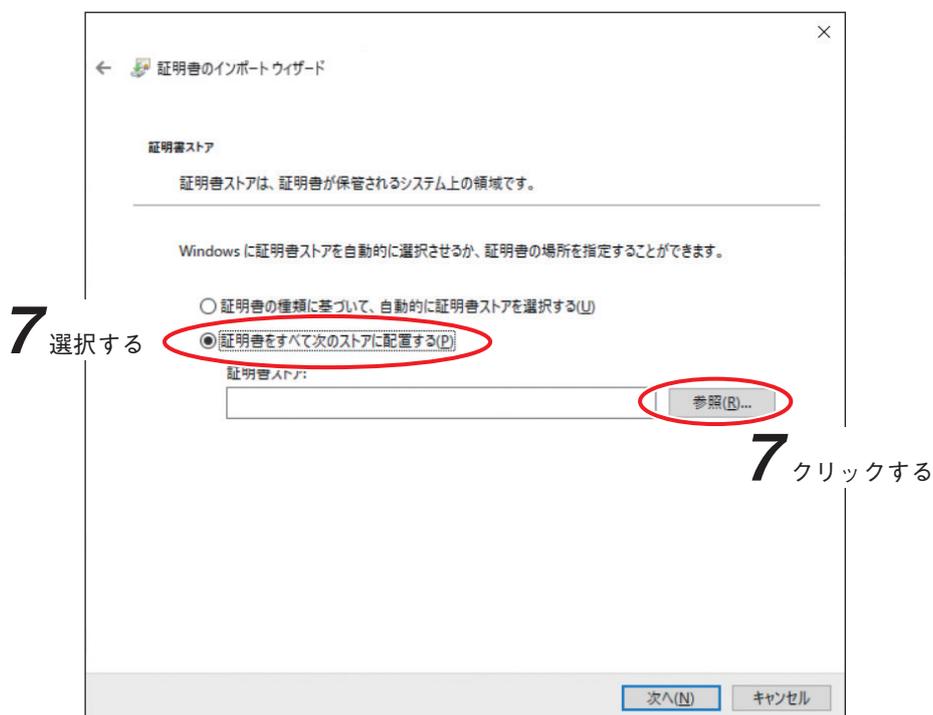


## 5 「証明書のインストール」をクリックする。

証明書のインポートウィザードが開きます。

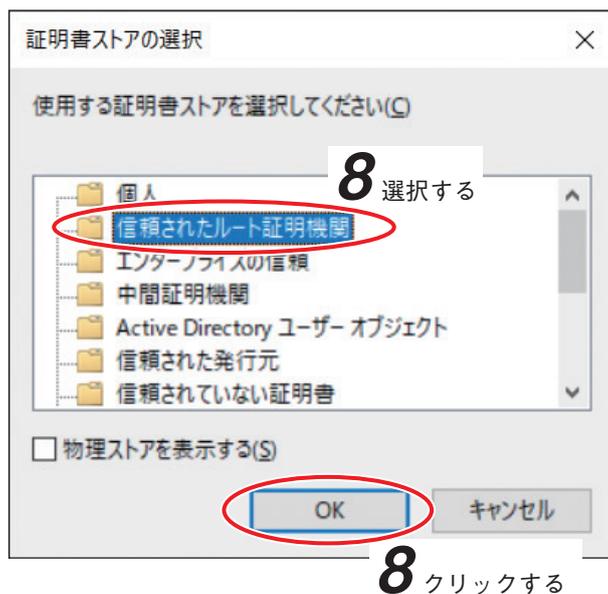


6 「次へ」をクリックする。

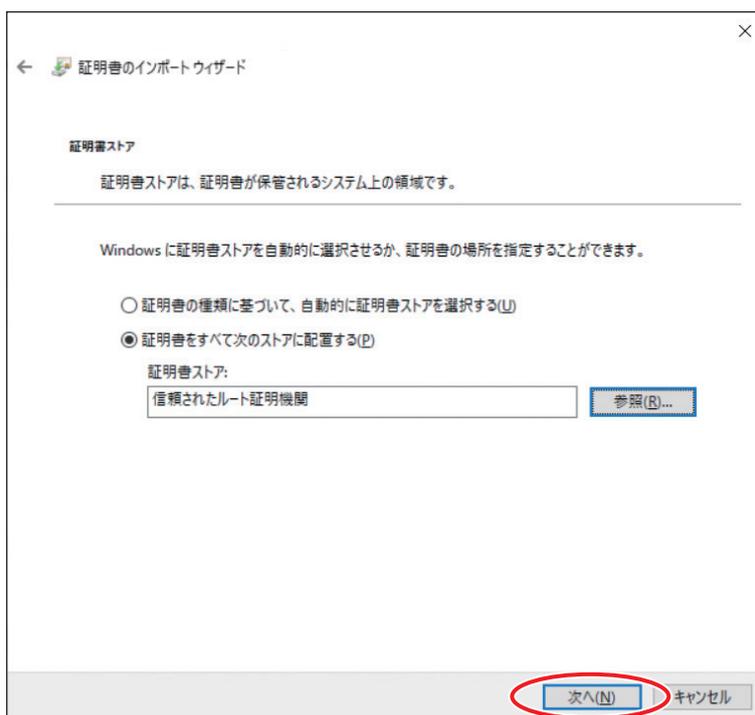


7 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「参照」をクリックする。

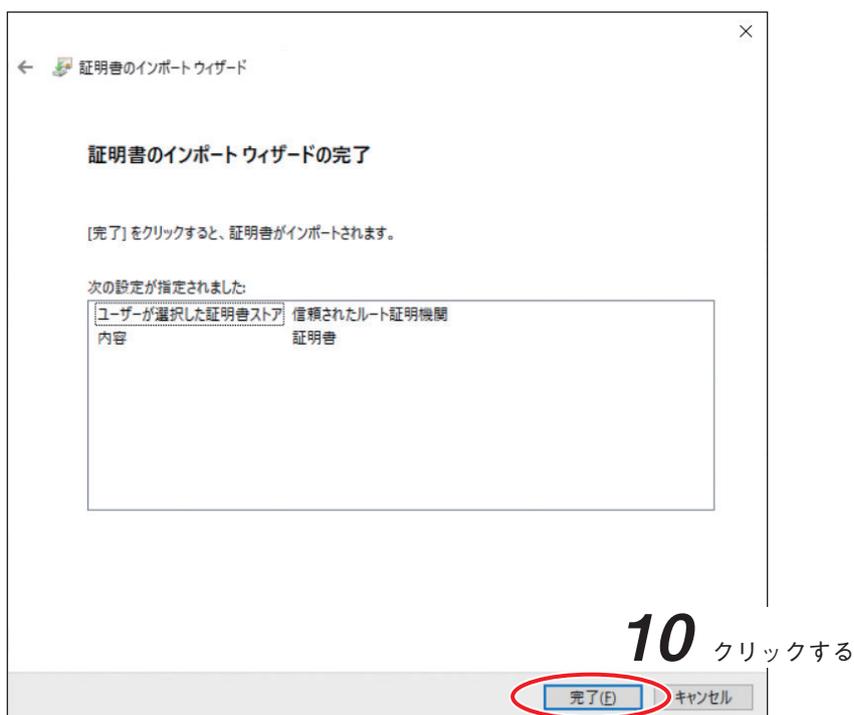
証明書ストアの選択ウィンドウが開きます。



- 8** 「信頼されたルート証明機関」を選択し、「OK」をクリックする。  
証明書ストアの選択ウィンドウが閉じます。



- 9** 「次へ」をクリックする。



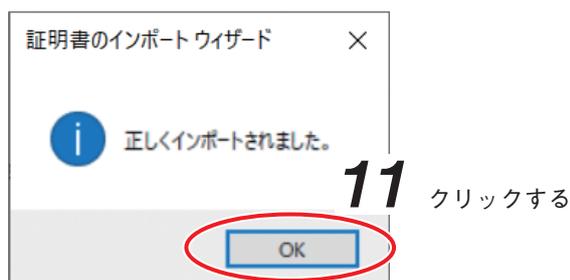
## 10 「完了」をクリックする。

メモ

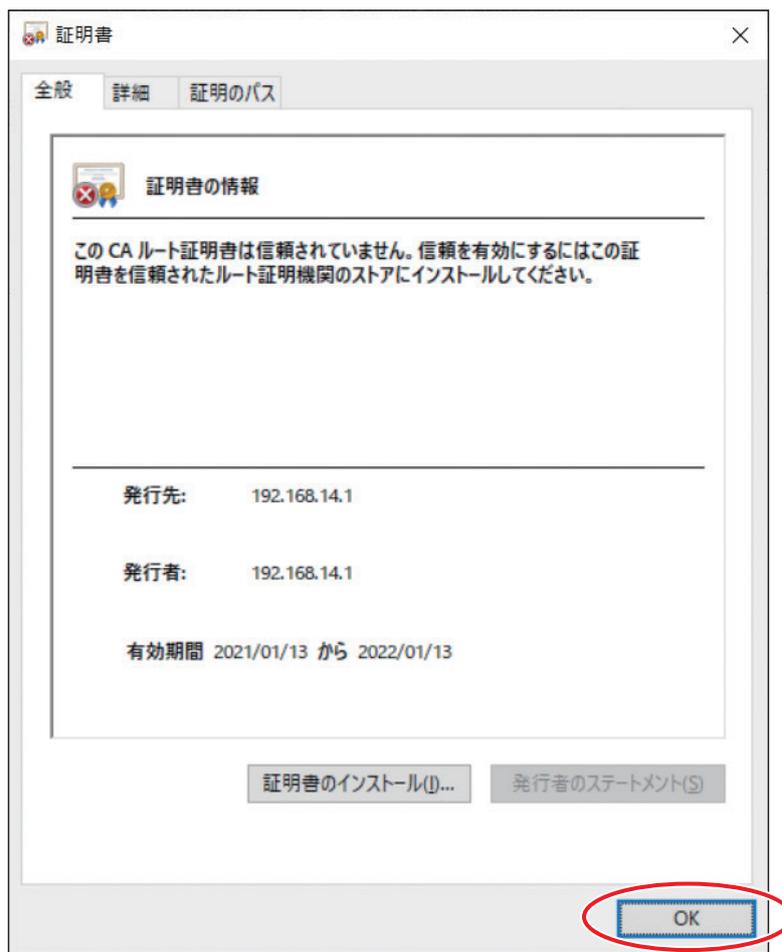
セキュリティ警告が表示された場合は「はい」をクリックしてください。



以下の画面が表示されます。



## 11 「OK」をクリックする。



**12** クリックする

## 12 「OK」をクリックする。

自己署名証明書のインストールが完了すると、証明書ウィンドウが閉じます。  
HTTPS で本機にアクセスし、ブラウザの警告が表示されないことを確認してください。

## アクティベーションファイルを手にする

拡張機能のアクティベーションファイルを手にするには、アクティベーションファイル発行方法 (<https://www.toa.co.jp/products/activation/>) に従い、アクティベーション申請を行ってください。



### メモ

申請にはカメラの MAC アドレスの情報が 필요합니다。あらかじめご確認ください。

### ご注意

アクティベーションファイルはカメラ 1 台につき 1 つが必要です。1 つのアクティベーションファイルを複数のカメラに適用することはできません。

## 工場出荷時設定に戻す

カメラの設定を工場出荷時に戻す方法は、以下の 2 通りがあります。

### ● カメラの初期化スイッチで行う

すべての設定項目を工場出荷時の設定に戻すことができます。

[電源を投入していない状態のとき]

カメラの初期化スイッチを押しながら電源を投入したあと、初期化スイッチを離します。

[電源を投入している状態のとき]

カメラの初期化スイッチを押しながら再起動スイッチを押したあと、初期化スイッチを離します。

### ● Web ビューアーから行う

Web ビューアーの [メンテナンス(メニュー) → 設定(タブ)] (P. 3-15) の設定の初期化の「実行」ボタンをクリックすると初期化が開始され、その後カメラは自動的に再起動します。

### メモ

以下の項目は工場出荷時の設定に戻りません。

- ・ IP アドレス取得方法
- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ

## 故障かな？と思ったら (設定編)

症 状	調べるところ	対 処
夜中などで被写体が暗くなったときに、残像が出る。	カメラのスローシャッター機能が動作していませんか？	残像が気になるときは、スローシャッターの倍率を下げてください。
時計の年月日が大きくずれている。	—	販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所にご相談ください。
TOP 画面が表示されない。	[ルーターを介していない場合] 本機と PC の IP アドレスのサブネットマスクが機器と一致していますか？ [ルーターを介している場合] 本機または PC のデフォルトゲートウェイが正しく設定されていますか？	本機および PC の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを適切に設定してください。
Web ブラウザーでアクセスしたとき、アドレスバーが赤くなったり、警告が表示されたりする。	サーバー証明書を「自己署名証明書」に設定している場合、PC に自己署名証明書をインストールしていますか？	ご使用の PC に自己署名証明書をインストールしてください。(☞ P. 5-5)
	サーバー証明書の共通ネームと、Web ブラウザーのアドレスバーに表示されているドメイン名または IP アドレスは一致していますか？	Web ブラウザーのアドレスバーに表示されているドメイン名または IP アドレスを共通ネームにして、HTTPS の設定を最初からやり直してください。(☞ P. 2-91 [HTTPS])
	自己署名証明書を使用している場合、確認欄(P. 2-92)に期限切れと表示されていませんか？	再度自己署名証明書を生成してください。(☞ P. 2-93)
	CA 証明書を使用している場合、確認欄(P. 2-95)に期限切れと表示されていませんか？	有効な CA 証明書をカメラに設定してください。(☞ P. 2-96)
インストール中に「コピー中にエラーが発生しました。」と表示される。	管理者でログインしていますか？	管理者でログインしてください。 <b>メモ</b> インストールには PC の管理者権限が必要です。UAC の設定が規定以上であれば、標準ユーザーでもインストール時に管理者のアカウントとパスワードを入力してインストールすることができます。
カメラの映像が表示されない。	配信数および配信ビットレートが最大配信数、最大配信ビットレートを超えていませんか？	配信数および配信ビットレートは、最大配信数、最大配信ビットレート(P. 3-19)の範囲内で使用してください。
映像を表示していると、自動的に切断される。	ファームウェアのアップデートが開始されていませんか？	ファームウェアのアップデートが完了するまでお待ちください。
映像がコマ落ちする。	複数の Web ブラウザーで映像を表示していませんか？	1つの Web ブラウザーで表示をしてください。
	10BASE-T で接続していませんか？	ネットワークの帯域が不足している可能性があります。 PoE 対応スイッチの仕様および通信設定を確認してください。
映像がちらつく。	Aero テーマになっていますか？	PC の設定 [コントロールパネル → デスクトップのカスタマイズ → 個人設定] で、Aero テーマを選択してください。 <b>メモ</b> Aero テーマ以外を選択すると、撮影シーンが大きく変化したときに、画面の表示がずれる現象(ティアリング)が発生することがあります。

症 状	調べるところ	対 処
映像が数秒間更新されず、静止したままになっている。	画像サイズ、画質、フレームレートは正しく設定されていますか？	ご使用のネットワーク帯域を確認して、画像サイズ、画質、フレームレートを調整し、適切なビットレートを設定してください。
	I フレーム間隔が長くありませんか？	I フレーム間隔を短くしてください。
	—	TRIFORA VIEW の設定 (P. 5-3) を変更すると改善されることがあります。
映像に黄色や青色の横方向のノイズが出る。	シャッタースピードは正しく設定されていますか？	シャッタースピードの設定変更と画角の変更をしてください。
多画面表示で映像が表示されないカメラがある。	Web サーバー動作モードが「HTTPS」に設定されたカメラを使用していますか？	対象のカメラの Web サーバー動作モードを「HTTP」または「両方」に設定してください。
N-C3 シリーズカメラの Web ビューアーの 16 分割画面に N-C5 シリーズカメラの映像を表示できない。	PC に最新の TRIFORA VIEW をインストールしましたか？	N-C5 シリーズのカメラを使用し、PC に最新の TRIFORA VIEW をインストールしてください。(P. 1-5)
TRIFORA VIEW のインストールが始まらない。	—	Internet Explorer の LAN の設定を行ってください。(P. 5-2 「Web ビューアーの起動時間短縮について」)
録画のダウンロードに失敗する。	ディスクの空き容量が不足していませんか？	ダウンロード先のディスクの空き容量を確保して再度ダウンロードしてください。
	ダウンロードできない保存先*1 を選択していませんか？	ユーザーアカウント制御(UAC)や保護モードを適切に設定してダウンロードしなおしてください。(P. 1-20 「録画映像をダウンロードできないとき」)
	ユーザーアカウント制御(UAC)や保護モードは適切に設定されていますか？	ユーザーアカウント制御(UAC)や保護モードを適切に設定してください。(P. 1-20 「録画映像をダウンロードできないとき」)
ダウンロードしたはずの録画データがフォルダーに存在しない。	保存先にユーザーフォルダー*2 を選択していませんか？	ユーザーアカウント制御(UAC)や保護モードを適切に設定しダウンロードしてください。(P. 1-20 「録画映像をダウンロードできないとき」)
プリセット位置がずれる。	—	ポジションリフレッシュ (P. 3-18) を実行してください。

\*1 保存先によっては、録画データをダウンロードできない場合があります。  
(例) C:\Program Files

\*2 デスクトップ、ドキュメントなど

<b>TOA お客様相談センター</b>	フリーダイヤル (固定電話専用) <b>0120-108-117</b>	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

**TOA 株式会社**

133-02-00717-03